

第三回衆議院議事速記録第二十號

帝國議會 衆議院議事速記録第二十號

明治二十五年六月六日(月曜日)午後一時十五分開議

議事日程 第二十一號 明治二十五年六月六日

午後一時開議

第一 鐵道公債法案(政府提出)

第二 區裁判所檢察局檢察補設置ニ關スル法律案(政府提出)

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算

第五 愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算

第六 府縣制第二十七條修正法律案(島田三郎君外三名提出)

第七 地租條例改正案

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ報道ヲ致シマス
(水野書記官長朗讀)
內務省警備局長小松原英太郎君ハ內務省所管事務政府委員仰付ラレタル旨
松方內閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ
民法商法施行延期法律案審査特別委員長ニ河野廣中君、同理事ニ三崎龜之
助君當選セラレタリ
小包郵便法案審査特別委員ニ長尾四郎右衛門君小野隆助君木下莊平君松澤
光憲君上田農夫君中村彦次君堤猷久君前田篤之介君牛島秀一郎君當選セラ
レタリ

○紫藤寬治君(百六十番) 諸君、是ヨリ會議ニ取掛リマス
(紫藤寬治君演壇ニ登ル)
○議長(星亨君) ハー、是ヨリ會議ニ取掛リマス

○紫藤寬治君(百六十番) 諸君、請願委員第三回ノ御報告ヲ致シマス
請願委員デハ一昨四日ニ第三回ノ會議ヲ開キマシタ、百一十一號ヨリ百九十九
號マデノ文書表ヲ拵ヘマシテ、六十七號ヨリ會議ヲ開キマシタ、其中沖繩縣
海底電信架設ノ件ガ三通デゴザイマス、此三件ハ願意各同一ノモノデアリマ
ス、此三件ハ必ズ議院ニ付スベキモノト議決ヲ致シマシタ、郡名存稱ノ件ガ
一ツデアリマス、其請願ハ院議ニ付スルヲ要セヌモノト審査致シマシタルモ
ノ、參考トシテ政府ニ轉送スルコトニ議決ヲ致シマシタ、其他菓子稅則全廢
菓子稅地方稅ニ編入ノ件、明治二十三年法律第三十五號改正ノ件、震災ニ

就イテ事業資金貸與ノ件特別地價修正ノ件是ガ十四通デアリマス、明治六年第
八十二號公布第一項改正及第五項第十八項取消ノ件一通デアリマス、四大川
治水費ヲ國庫支辨ニ舊復スルノ件一通デアリマス、三河國ノ置縣ノ件一通デ
アリマス、酒造稅則改正及北海道酒造特別稅率廢除ノ件一通デアリマス、蠶業
保護ノ件一通、甲武鐵道布設ヲ請フ件一通、菓子稅則廢止ノ件一通、菓子稅則
改正ノ件一通、北陸鐵道官設ノ件一通、租稅免除ノ件一通、國庫剩餘金處分、地
租輕減、登記法改正、及自家用料酒鑑札料廢止ノ件一通デアリマス、ソレト
選舉干渉ノ件一通、是等ハ各、院議ニ付スルヲ要セヌコト、議決ヲ致シマシ
テゴザイマス、其餘此文書表ヲ百一十一號ヨリ百九十九號マデノ文書表ハ是ハ
議長ノ手許ニ差出シテ置キマス、追テ議長ヨリ配付ニナルコト、存ジマス、
其餘ハ次回ニ讓リマシテ御報道ヲ致シマス

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 誰ニデスカ
○議長(星亨君) 誰ニデスカ
○岩崎萬次郎君(百九十四番) 質問デス、委員會ノ報告ニ對シテ
○議長(星亨君) 鐵道デスカ、ソレナラ是カラ取掛ッテカラ……
○岩崎萬次郎君(百九十四番) 今質問シテ宜シウゴザイマスカ
○議長(星亨君) マダ取掛ッテ居ラナイ、取掛ッテカラ、——是ヨリ本日ノ
議事日程ノ第一即チ鐵道公債法案ノ第二讀會ノ前回ノ續キニ取掛リマス

第一 鐵道公債法案政府提出 第二讀會(前會ノ續)
○議長(星亨君) ソレデ第三章丈ヲ會議ニ付シマス
○田中正造君(三十一番) 議長ノ御都合デ宜シウゴザイマスガ、昨日提出シ
マシタ質問書ノ要領ヲ簡單ニ述ベタイデゴザイマス、議事ノ都合デ宜シウゴ
ザイマス

○議長(星亨君) ソレナラバ左様、今ハ此會議ノ本日ノ何ニ掛リマシタカラ、
之ヲ終ヘテ鐵道ノ何ガ終ヘタラバ、スルコトニ致シマセウ
○岩崎萬次郎君(百九十四番) 此委員ノ報告ノ理由書ニ、政府提出ノ私設鐵道
買収法案ヲ不可トシタト云フコトノ理由ノ中ニ、種々ノ腐敗ヲ讓シ讓カニ除
カントセル情實ノ弊害ヲ助長スルニ過ギザルヤト云フコト、其末文ノ方
へ行ッテ諸種ノ弊害ヲ恐ル、トノ故ヲ以テ本案ヲ不可ナリトス、ト云フコト
ガアリマス、此趣意ノ文カラ申セバ弊害ヲ恐レルト云フコトハ、ドウ云フ點
ニ感覺シテ此事ヲ言フタノデアアルカ、之ヲ聽キタイト言フノデゴザイマス

○議長(星亨君) ソレハ委員長ニ質問スルノデスカ、ソレハ鐵道修正案ノ委
員長ニ質問スルノデスカ
○岩崎萬次郎君(百九十四番) サウデス、委員長デモ委員デモ誰デモ宜シイ
○伊藤大八君(九十七番) 委員長ニ代リマシテ本員ヨリ御答辯ヲ仕リマス
○伊藤大八君(九十七番) 唯今岩崎君ノ御問ニ對シマシテ御答辯ヲ仕リマ

○伊藤大八君(九十七番) 唯今岩崎君ノ御問ニ對シマシテ御答辯ヲ仕リマ
○議長(星亨君) 唯今岩崎君ノ御問ニ對シマシテ御答辯ヲ仕リマ

ス、此御問ハ實ニ御尤至極ノ御問デゴザイマシテ、本員ニ於キマシテモ喜ンテ御答辯ヲ仕リタイト存シテ居リマスルノデゴザイマス、サリナガラ已ニ此會ハ第二讀會ニ移リマシテ、半ヲ過去ツテ第三章ニ及ンデ居リマスルノデゴザイマス、故ニ是等ノ委員會ノ即チ報告ハ大體議即チ一讀會ニ於テ御質問アルベキコト、考ヘル、其一讀會ヲ過去ツテ、此第三章ヲ議スルニ當ツテ此御質問ヲ爲サル、ニ至リマシテハ、答辯ヲセヤウト思ヒマシテモ如何セン規則ノ許サヤルヲ、故ニ本員ニ於キマシテ答辯スルノ限ニアラズト云フノ一言ヲ以テ、政府ノ所謂慣例語ヲ遣ヒマシテ、御答へ申スヨリ外ニ仕様ガナイ

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 私ハサウ思ハナイ、矢張一讀會ニ於テ質問ヲ仕落ニナツテ、其箇條ニ至ツテ其質問ヲ必要スル場合ハ、今日マデ慣例ノ上ニ於テ何時モ質問ヲ來シテ居ル、斯ウ云フコトヲ委員會ニ於テ決議ヲセラレテ、其精神ヲ質問シナイト云フコトハ甚タ不親切ノコトデアアルト思フ、如何ニモ必要ノコトデアアルカラ、規則ニサウ云フコトニ答ヘルコトハナラヌツト云フ箇條ガナイ限リハ、之ヲ許シテ差支ナイ、ソレトモ何か都合ガアツテ事情ガアツテ答辯スルコトガ出來ナイ、唯徒ニ無責任ノコトヲ掲ケラレタト云フコトナラバ宜シイ、ソレデモ答ヘルコトガ出來ヌト云フナラバ宜シイガ、今日マデノ例ニ於テハ一讀會ニバカリ、一讀會バカリニ於テ質問シタ限デナイ、其場合ニ於テ時々質問シテ答ヘラレタコトハ例ノアルコトデアアル、ソレトモ答ヘルコトガ出來ヌト云フナラバ、再ヒ答辯セヨト云フテモ出來ヌト云ハ止ムヲ得ヌ

○伊藤大八君(九十七番) 御答致シマス、拙者ハ御尋ノコトニ就イテ御答ガ出來ナイト云フ様ナ未熟ナ者デハナイ、御答ハ十分出來ルノデアアル、御答ヲシタイケレドモ本員ノ考ヘル所デアツテ見レバ、逐條審議ニナツテ其第三章ニ至ツテ今日議シテ居ルノデアアル、其第三章ノコトニ就イテ分ラナイコトガアリマスレバ、喜ンデ御答ヲ致スノデアアル、ソレヲ溯ツテ第一讀會ニ質問セヌケレバナラヌ所ヲ、今日ニ至ツテ質問ニ答ヘルコトガアツタナラバ、此惡弊ヲ援ヒテ非常ナ弊害ガ後來ニ起ルト考ヘマスカラ、何デモ之ニ答ヘロト云フコトデアアル、此議決ノ上デ何デモ答ヘロト云フコトニナリマシタラバ、ソレマデナレドモ拙者ハ答ヘナイノデアアル、殊ニ一讀會ノ折ニ質問フタ所ガ其餘ヘ行ツテ問フト云フ譯カラ差控ヘテ居ルタト云ハレマスガ、其様ナコトハゴザイマセヌ、此項二讀會ノ折第一條ヲ議スル折ニ當ツテ、此說ヲ持出シタカラシテ、此說デハナイ、買収ノ事ニ就イテ御尋ネ致シタイト云フコトデアアル、買収第三章ノ處分ト云フコトニ就イテデアアルカラ、其折ニ至ツテ質問ナサルガエ、此處デハ所謂問題デアアルト云フコトヲ茲デ御答ヲ致シテ置イタノデアアル、決シテ此様ナコトニ就イテ御答ガ出來ナイノデハナイノデアアル

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 能ク分リマシタ、御答ヘニナラヌト云フコトハ、モウ私ハ問ヒマセヌ

○長谷川泰君(百七十二番) 此……

○議長(星亨君) 通告ノ順ガゴザイマスカラ……

○長谷川泰君(百七十二番) 唯今特別修正委員ハ、御答ガナイト云フコトデアリマシタガ

○議長(星亨君) アレハ議長ニ於テハサウ議論ガナケレバ答ヘルモ宜イガ、

本當ヲ言ヘバ規則ニ違フノデアリマスカラ、アノ事ニ附イテ御聽ニナルト云フコトナラ、總體議ノ事ヲ逐條審議ニ於テハ許シマセヌ、其外ノ事デ逐條審議中ノ事ナラバ許シマセヌ

○長谷川泰君(百七十二番) 一寸議長ニ伺ヒマスガ、實ハ本員等ハ矢張第三章私設鐵道處分ノ條ニ至リマシテ、特別修正委員ノ意見ヲ尋ネマシタ上デ、此修正ニ同意スルヤ否ノ精神ヲ定メル考デアリマシタ、然ルニ説明ヲスルコトガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、併ナガラ今特別修正委員ガ申サレマシタ所デアハ、若シ議場ガ答辯シテモ宜シイト云フコトデアアルナラバ、答辯シテモ宜イ、斯ウ云フコトデアリマス、願クハ第三章ニ至リマシテ質問ヲ御許アラント云フ、實ハ本員ハ希望致シマス

○議長(星亨君) 議場ガ許セト云フデアリマスガ

○議長(星亨君) 議場ガ許シテモ、議長ハ許シマセヌ、規則ニ違フテ居レバ議論ガ起ラナケレバ大抵ノ事ハ……、規則ニ從ツテ議論ガ起ツタ以上ハ規則ニ從フ、規則通ニ致シマス、好シ議場ガドウ言ツテモ規則通ニシナケレバ、議長ハ許シマセヌ

○伊藤大八君(九十七番) 宜シウゴザリマスガ、知リマセヌガ……

○議長(星亨君) イヤ、百七十六番

○高須峯造君(二百九番) 質疑ヲ許サヌト云フコトデアリマス、ソレハ全體ニ係ル質疑ヲ許サヌト云フコトデアリマス、此唯今討議ニ掛ツテ居ル所ノ條項ニ就イテノ質疑ヲ許サヌト云フ、斯ウ云フ譯デアハナイノデアリマスガ

○議長(星亨君) ソレハサウデアハナイ、今ノ百九十四番デアリマスガ、總體議ノ事ノ質問ヲ此處ニ繰返ヘスコトハ許サヌト云フノデアアル、條項ニ就イテノ質疑ガアレバ許シマス

○高須峯造君(二百九番) 此條項ニ就イテ質疑ガアリマスガ

○議長(星亨君) 併シ今通告ノ順序ニ依ツテ既ニ壇ニ登ツテ居リマスカラ、其後デ宜シケレバ

○石田貫之助君(百七十六番) 私ノ修正說ハ第三章中ニ於テ、第十一條第十二條第十三條、此三箇條ヲ全ク削除セウト云フノ修正デゴザリマス、先ツ此第十一條ハ即チ「既成私設鐵道ニシテ第二條ニ依リ布設スヘキ線路ノ爲メ買収ノ必要アリト認ムルモノハ政府ハ其會社ト協議ノ上價格ヲ豫定シ帝國議會ノ協贊ヲ求ムヘシ」ト云フコトハ、此買収ノ理由書ニゴザリマス、ソレハ先ツ此案ヲ提出致シタル特別委員ノ報告ノ理由ニ依ツテ見ルト云フト、自家撞著スルト私ハ考ヘル、必ズシモ此委員ノ報告ハ私ハ固ヨリ是ナリトシテ居ラヌケレドモ、假ニ之ヲ正當ナリトスルモ、其事ハ先刻百九十四番ノ質問ノアリマシタル報告書ノ理由ノ第一項ニ就キマシテ、鐵道買収案ヲ不可トスルノ理由中ノ未段ノ「本案ノ結果タル徒ラ一種ヤノ腐敗ヲ醸シ總カニ除カントセル情實ノ弊害ヲ助長スルニ過キサルヲヤ」ト云フコトガアルノデアアル、既ニ是ハ政府ガ昨年以來又本年ニ至リマシテ、提出シタル鐵道買収案ナルモノハ、ソレニ就イテ委員ハ如何ノ意見ヲ付シタカ、即チ不可トスル、其不可トシタ理由ハ今陳述シタル所ガ重ニナツテ居リマス、大ニ是ハ種ヤノ弊害ガアル、情實ガ行レル、此腐敗ヲ纔ニ除カントスル場合ニ、其事柄ニ至ツテ、此買収ヲ

スルコトハイケナイト云フコトハ、即チ買収スル事柄ニ附イテ不可ナリトスル骨子トナシテ居リマス、固ヨリ此買収案デモ政府ガ出シタ買収案ト、此第十一條ノ精神トハ多少ハ違フ、違フケレドモ兎ニモ角ニモ既成ノ私設鐵道ヲ政府ニ買取ルト云フ一點ニ至ッテハ、即チ其理由ハ決シテ動クコトハ出來ナイノデアリマス、一方ニ於テ買取ルト云フ、一方ニ於テ買取ルナラバ、大ニ情實ノ弊ヲ起スト云フ、大ニ腐敗ヲ醸スト云フコトハ、第一論理ガ立タナイ、斯ノ如キ大問題ニ就イテ揚足ヲ取ルト云フヤウナ議論ハ唱ヘナイ、ケレドモ私ノ議論トシテモ此理由書ガ私ノ意見ト合フガ故ニ、此論ヲ先ヅ先キニ述ベテ置クノデアリマス、ソレカラ次ニ私ハ此不可トスル所以ハ買収ノ必要アリト認ムルトキハ「認ムル」ト云フコトガアリマス、委員ハ如何ナル場合ニ如何ナル線路ト云フコトヲ必要ト認ムルカハ知りマセヌガ、此外ハ書イテ居ラナイカラ併シ思フニ是ハ必要アリト云フコトハ即チ此政府ガ鐵道買収案ト云フコトヲ提出致シタル理由カラ基因シタル事ヲヤラヨリ思フ、其政府ガ買収案第一：數項ニ之ガ分ツテ居リマス、先ヅ第一項ハ格別必要ガナイカラ言ハナイ、第二項ト云フモノハドウ云フコトガ書イテアルカト言ツタラ、既成私設鐵道ニシテ國有線ヲ布設スルトキハ云々ト云フコトガ書イテアリマス、是ガ即チ鐵道ヲ買上ゲヤウト云フ所ノ第二項ニナツテ居ル主眼デアアル、是丈デ即チ必要ト云フコトガ起ルトキハ、ソレハドウ云フコトカト言ヘバ、即チ民設ノ鐵道ヲ布設シテ居ル、然ルニ是ヨリ政府ガ擴張ヲスル、擴張ヲスルニ就イテハ是迄ノ鐵道線路ヲ買上ゲテ仕舞ハヌト鐵道ヲ延長スルニ從ッテ利益ヲ増加スルト云フコトハ、鐵道ノ歴史上ニ於テ明ナルコトデアアルカラ以テ、先キノ利益ノ少イ所バカリ政府ガシテ延長シタル結果ノ幸福ハ民設ノ既設ノ鐵道ニ歸セシムル、是レ特殊ノ恩典ヲ僅ノ株主僅ノ少數ノ人民ニ與ヘル、政府ガ提出シテ居ル所ノ理由デアアル、是ハ實ニ政府ニモ似合ハザル誠ニ淺見ナル議論ナルト私ハ考ヘル、世ノ中ノ者ガ實ニ算盤モ知ラナイ、經濟社會ノ事モ知ラナイ、今日鐵道ヲ買収スルハ如何ナルコトデ買収ガ出來ル、如何ナル結果ニ依ッテ此事ガ行ル、ヤ否ヤト云フコトヲ知ラヌ者ニ聞カシタナラバ、如何ニモ尤ト云フダラウ、併シ經濟社會ノ事、又今ヤ鐵道ヲ買上ゲル場合ノ事ヲ觀察スル者ナラバ、抱腹絶倒ニ耐ヘラレナイ事柄デアリマス、何トナレバ買上ゲルト其餘分ノ利益ヲ之ニ與ヘル、鐵道ヲ買上ゲルニシテモ先キニ敷設スル所ノ利益ハ平均ヲシテ來ル、今日ノ利益ニ相當スル所ノ値ヲ買上ゲルト思ヘバコソ、斯様ナ事ガ出來ル、是ハ實ニ間違デアアル、左様ナ事ハ出來ル譯ハナイ、早ク例ヲ取ッテ言ヘバ一番宜ク分リマス、五朱ノ公債證デ鐵道ノ五百万圓ノ鐵道ヲ買取リマシタ、然ル處ガ其鐵道ハ二朱五厘ヨリ他ニ純益ガナイ、其五百万圓ノ資本金額ニ於テ二朱五厘ヨリ利益ガナイ、斯ウシマスルト云フト、此五朱ト云フモノヲ公債證ニ當テマシタナラバ、其實價ハ二百五十万圓トナツテシマウノデアアル、是ハ分リ易イ話デアアル、鐵道ノ價值ト云フモノハ何ガ價值カ失張私設鐵道ヲ買上ゲルナラバ、純益ト云フコトガ價值ニ出テ來ルノデアアル、同シ鐵道ガ持チタイト云フ鐵道ノ株主ハ利益ノ配當ニ依ッテ儲ケケノタメニ鐵道ヲ布クノデアアル、社會ニ幸福ヲ與ヘルト同時ニ利益ヲ得ルト云フガ最も主眼デアアル、スレバ二千五百万圓買上ゲルト見マスルナレバ、如何ニモ政府ガ言フ通ニナツテ五百万圓入レタモノガ、二分五厘ノ配當ヨリ出來テ居ラヌ、シマスルト云フト利益ノ延長ニ從ッテ増加スルモノ

ハ、其鐵道ニヤラスシテ此方ノ利益ノ薄イ將來擴張スル所ニ餘澤ヲ及ボシテ平均スルコトガ出來マス、其元ハ二百五十万圓ノモノヲ五百万圓買上ゲバ、ハナデ二百五十万圓ハ實價ニハナイ費ヤシテ仕舞フ、其事ハ言ハナイ、元ノ金ノ餘計ニ要ツタ事ヲ、——今五百万圓ノモノヲ千万圓買上ゲテ其事ヲ抛テ置イテ價格ニ影響ヲ及ボスト云フハ、實ニ淺墓ナ話デアアル、馬鹿氣ヲ話デアアル、政府ハ五朱ノ公債證ヲ相當ノ鐵道ガ買ヘルコトナレバ、私ハ此言ヲ大ニ謝スル、サウ云フ御手際ガアレバ、——サウ云フ協議ガアレバ——其位ノ事ヲ觀察ガ出來ナイデ、鐵道ヲ買上ゲルト云フハ實ニ不法ナ話デアアル、シマスレバ第二項ト云フモノハ最早價值ノナイ、議論ノナイ、笑フベキ必要ダト私ハ考ヘマス、第二ノ必要ハ、何カト言ヘバ、之ヲ摘録スレバ「運賃額ガ一定ナラズ或ハ會社ノ費用ハ割合ニ高ク純益配當薄ク車輛其他ノ改良ヲ加フルコトヲ得ス」ト云フガ主眼デアアル、幾哩官設、幾哩民設鐵道ガアル、其經濟ガ——賃錢ガ一定セナイ、又社費ト云フモノガ餘計ニ要ル、一ツノ會ガ立ッテ居ルヤウナ譯デ、一線路デ……此方ニモ頭取ヲ置キ費用ガ要ル、之ヲ一定致シマスレバ利益ガ餘計ニナル、從ッテ車輛其他ノ改良ガ出來ルトアリマス、如何ニモ議論デ云フト其通デアリマス、併シ百年先ハイザ知ラズ、五十年先キハイザ知ラズ、今日ノ場合ニ於テ斯ウ云フコトヲ唱フル政府ガヤツテ居ルノハドウウデカト言フト、丁度反對ノ結果ヲ來シテ居ル、諸君モ御承知ノ通昨年ノ買収法案ニ於キマシテ、我々ガ委員ニ爲ッテ所ヲ陳ベタ所ガアリマス、凡ソ全國ニ經濟ノ最モ惡ルイ最モ費用ヲ餘計ニ使フ鐵道ハ、ドレデアアルカト言ヘバ、即チ官設鐵道デアアル、官設鐵道ハ收入ノ六分六厘ト云フモノヲ入用ニ使ッテ居ル、百万圓ノ收入ガアレバ六十六万圓官設鐵道ハ使ッテ居ルノデアアル、其次ニ何處ガ餘計デアアルカト云フト、炭礦鐵道デアアル、炭礦鐵道ハ澤山ナ百九十万圓入レタ、鐵道ヲシテ三十万圓ヲ拂下ゲテ、其上二十何万圓ヲ毎年補助スルト云フノハ、實ニ局外人——外國人デモ聞イタナラバ、信用ヲシナイ、妙ナコトヲヤツテ居ル程炭礦鐵道ハ餘計ニ入用ガ要ツテ居ル、然レドモ五分六厘デアアル、其次ハ日本鐵道最モ妙ナ利子ノ補給ノ仕方デ、一割八分、二割ヲ配當シテ、其配當ノナイ所モ八朱ノ補給ガシテアル、是ハ又約束トハ言ヒナガラ、誠ニ不可思議ナ金ヲヤツタモノデアアル、其位補給ガアルカラ、自ラ經濟ハ裕カナルハ當然デアアル、其鐵道ニシテモ五分八厘デアアル、是ハ私ガ昨年ノ調べ故、今ハ多少一厘ヤ二厘ノ違ガアルカモ知レヌガ、サウ云フ有様デアアル、サテ收入カラ何程取ッテ何程入用ガ要ルト云フニ就キマシテハ、線路ノ如何ヲ顧ミナケレバナラヌ、儲蓄ケハ一哩ニ就イテ一日十圓上リ二十圓上リ入費ガ倍要ルカト云フト、決シテサウ云フ譯ノモノデアナイ、然ルニ其政府ガ持ッテ居ル官設鐵道——最モ儲蓄ケノ多イ此位ノ線路ヲ持ッテ居ルモノハ、即チ今日日本ノ私設鐵道ニハナイノデアアル、線路ガ割ニ短カウテ儲蓄ケガ一哩ニ附イテ餘計アル線路ヲ持ッテサウシテツレシノ金ヲ使ッテ居ル、昨年私ガ概算シタニ一哩二十圓ノ利益ガアル、今迄ニ無イ將來ニ無イソシナ澤山ノ儲蓄ケノ出來ル線路ヲ持ッテ、ソシナ金ヲ使ッテ居ル、實ニ驚入ツタコトデアアル、私ハ昨年豫算委員會ニ於テ其事ヲ申シタ、即チ此處ニ居ラレマスルガ、鐵道局ノ松本君モ其時居ラレマシタ、私ハ其時驚入ツタト申シマシタ、ソレガ僅ニ……本年一月又鐵道局ニテハ一千餘人ノ役員ヲ沙汰シタト云フトデゴザリマス、サウシテハ日本鐵道會社バ

カリデナイ、製鋼所へモ手傳シタカ知ラナイガ、ソレヲ向フニ移シタト云フコトモアルノデアリマス、然レドモ多少此官設鐵道ガ非常ナル費用ヲ入レテ居ルト云フコトハ、昨年ヨリシテ天下ニ公ニシタコトデアアル、多少此原因カラデ、今ノ大層ナ人員ノ減シ方モシタコト、思フ、サウスレバ政府ガ言ッテ居ル所ノモノハ丁度反對デアアル、理論デハサウデアアル、斯様ナ理屈ニシテ政府ガ置ケバ、今日三朱ノ配當ノ所ハ必ズ政府ニ合併シテ買上ケレバ、二朱トカ一朱八分トカ云フコトニナルノハ、私ハ自然事柄ノ状態ニ照シテ見レバ、斯ウ云フコトガ算盤上ニ如何ニモ出ル譯デアアル、スレバ必要ト認メルト云フ様ナ事柄ハ最早ナクナツテ、又車輛ノ改良、錢儲ケガ出來ヌカラ車輛ノ改良ガ出來ヌト云フコトデアアルガ、私設鐵道悉クトモ行キマセヌガ、官設トモ云フベキ鐵道ナレバ、或ハ政府ノ鐵道ヨリハ今日ノ車輛其他ノ器械ト云フモノハ整フテ居ル所モアリマス、現ニ山陽鐵道ハ政府ノ車輛ヨリズツト宜シイ、是ハ實地ノ話、スレバ第三項ト云フモノハ政府ガ言ッテ居ルガ、丸デ間違ッタ話、然ル時ニ於テハ此鐵道ノ買收ノ理アリト認ムルト云フコトハ悉ク無クナアル、サウシテ私ハ好シヤ擴張ヲシマスルト雖モ大體昨年カラノ議論ヲ以テアツテ、此買收スルト云フコトニハ不同意デアアル、不可デアアル、今申シマスル様ニ如何ニモ議論上カラ言ヒマシテ、之ヲ……經濟モ甚ダ善イ、其事ハ實際行カナイガ、現ニ行ッテ居ル、政府ガ其通澤山ニ入用ヲ使フト云フ事實ガ舉ッテ居ル、又荷物ノ取扱ニ至ッテモ官設ノ取扱ガ宜イカ、私設鐵道ガ荷物乗客ノ取扱ガ宜カラウト、諸君ハ私ガ大抵深ク論究セズトモ思半ニ過ギルデアラウト思フ、スレバ之ヲ殊更買取ッテ五百萬圓ノモノヲ七百萬圓、一千萬圓ト云フモノデ高價ナルモノヲ買取ッテシナラヌト云フ必要ガアルト云フコトハ、私ハ大體認メンノデアリマス、若シ好シヤ其場合ガアルト云フ幸ニ私ハ左様ナ事ハナイト思フ、ケレドモ之ヲ實價ニテ買取レト云フコトナラバ私ハ何ゾ否マン、サウ云フ場合ガアルナラバ、其際ニ於テ帝國議會ニ此擴張案——買收案ト云フモノト、一度ニ之ヲ提出スルモ何ゾ遅カラヌ事柄デアアル、今日ヨリ必ズシモ此條項ヲ置クト云フコトハ、唯今ドノ様ナ線路ヲ買取ルヤラ分ラヌノニ、法律ニ斯様ナ條項ヲ置クノハ、音ニ必要ナキノミナラス、經濟上害ヲ與ヘル、又特別委員ノ報告シテ居ル通ニ種々ノ腐敗ヲ醸シテ、種種ノ情實ヲ來シテ、國家ノ不利益ヲ、來スカラ、第十一條ハ削除シテ差支ナイノミナラス、削除シナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアアル、從ッテ第十二條ハ第十一條ヲ削除シマスレバ、最早此事ハ茲ニ揭ゲルノ必要ハナイ、又第十三條ハ今述ベタル所ノ事柄デアツテ、格別喋々スルニハ私ハ及バヌ、唯此買收ニ關係シテ以テ之ヲ受ケテ來テ居ル第十三條デアアルカラ、私ハ長ク述ベマセヌ、又序ニ是モチヨイト述ベテ置キマスガ、昨日委員長ノ佐藤君ガ述ベラレテ我國ノ私設鐵道ノ利益ヲ平均スレバ、折田君ハ政府カラ入レテアル利子ヲ合シテ四分六厘ト云フカヲト云フ御尋モアリマシタガ、サウデアナイト云フ答ガアリマシタ……、昨年鐵道買收案ノ時ニ大藏渡邊次官ガ山陽鐵道會社ノ純益ハ何程、九州鐵道ガ何程、日本鐵道炭礦鐵道ガ何程ト書取ッタ物ヲ我ニ示シテ、速記録ニ示シテアリマス、之ヲ平均スルト三分二厘ト云フコトガ現レテ居ル、其後二三箇月ノ間ニサウ變ハル譯ハナイ、若シ是ガ確實ナレバ昨年大藏次官ガ言フタノハ嘘デアアル、私モ政府ハ悉ク信ジナイガ、アノ計算ハ相當ナリト認メタ、果シテ相當ナレバ佐藤君ノ報告ハ間違ッテ居ルト云

フコトヲ一言シテ置キマス、ソレカラ私ハ此案ニ就イテ述べ終ツタノデゴザイマスガ、終ニ臨ンデ今日大臣モ一二ハ出席ニナツテ居ルヤウデゴザイマスガ、私ノ議論ガ萬一成立タズシテ第十一條其他此買收ニ係ル所ノ條項ガ可決スルトスルモ、内閣諸公ハ昨年ノ買收案ハ本年ノ買收案ガ貫徹シタノデアアル、多少趣ハ違ッテ居ル、ケレドモ今日政府ノ意ハ徹底シタノデアアルト云フヤウナ御考ガアルト、大ナル間違デアアルト云フコトヲ一言シ、何トナレバ政府ハ先日此問題ニ就イテ鐵道買收法案ハ公債法案議決ノ後ニ迴シテ吳レト云フ請求カアツタ、若シ之ガ可決スルナラバ買收案ハ撤去シテ仕舞フカ知ラヌガ、稍、貫徹シタト云フコトヲ世人ニ認メシメテ、政府ノ信用ヲ墜トサシメザル考カ知リマセヌガ、ソレハ大ナル間違ト思ヒマス、アノ買收案ト云フモノハ日本全國ノ鐵道ヲ悉ク官有ニスル、既設鐵道ハ買上ゲテ仕舞フト云フ、斯ウ云フ方針デアアルカラ大變違ッテ居ル、若シ此案ガ可決シタサカイニ依ッテ、昨年解散サレタ最モ勢力アル鐵道問題ガ此第三會期ニ於テ通ツタト云フハ大ナル間違デアアル、私ハ左様ナル誤解ハサレヌコトヲ希望シテ置キマス

○高須峯造君(二百九番) 私人質問ハ三箇條バカリデスカラ、引續イテ委員長ノ答辯ヲ望ミマス

○議長(星亨君) 宜シイ

○高須峯造君(二百九番) 十一條ノ所ニアリマス、唯今石田君ノ辯論中ニモゴザイマシタガ、此買收ノ必要アリト認ムルモノハ買フトアル、買收ノ必要ト云フコトハドウ云フ場合ニ起ルコトデアアルカ、是其場合ノ例ヲ舉ゲテ御說明ヲ願ヒマス、今一ツハ會社ト協議ノ上價額ヲ定メテ買フト云フコトニナツテ居リマスガ、若シ買收ノ相談ガ整ハヌシテ買フトガ出來ナイ、一方ノ賣ラナイト云フ場合ニハ如何ナル處分ニスルカト云フ事、此御說明ヲ請ヒマシ、第十三條ノ中ニゴザイマス「其會社ノ全部線路ヲ買收スルカ又ハ會社ノ申請ニ依リ相當ノ處分ヲ爲シタル上ニ非サレハ之ヲ布設セス」トアルは一寸一例ヲ舉ゲテ質問致サウト考ヘマスガ、例ヘバ山陽鐵道ノ如キモノデゴザイマス、是ハ今日ノ所デハ先ツ尾ノ道迄ハ——神戸カラ尾ノ道迄ハ線路ガ出來テ居ルノデゴザイマス、敷設ニナツテ居ルノデゴザイマス、尾ノ道カラ下ノ關迄ハ鐵道ガ布設ニナツテ居リマセヌ、ケレドモ布設ノ許可ニナツテ居ルモノト見ルノデゴザイマス、此場合ニ山陽鐵道ノ目下布設ニナツテ居リマス、全線路ヲ買收スルト云フ相談ヲシテ、ソレガ出來レハ宜シイガ、全線路ヲ買フト云フコトモ出來ズ、會社カラ申請モシナイト云フ場合ニハ、何時迄モ此尾ノ道カラ下ノ關ニ到ル線路ハ布設ニ著手スルコトガ出來ナイヤウニナリハシナイカト思ヒマスガ、此會社ノ全部線路ヲ買フトモ出來ズ、會社ガ別ニ申請モシナカッタト云フ場合ニハ、如何ナル處分ニ依ッテ此布設ヲ許可シテ居ル線路ニ著手スルノデゴザイマス

○佐藤里治君(二百四十八番) ソコヘ參ッテ御答ヲ致シマス

(佐藤里治君演壇ニ登ル)

○佐藤里治君(二百四十八番) 唯今高須君ノ御質問ニ答ヘマスルノデゴザイマスガ、第十一條ノ買收ノ必要ト云フ場合ノ事ハデス、是ハ例ヘバマア新橋ヲ參リマシテ品川ヘ行キ、ソレカラ品川カラ日本鐵道會社ノ線路ニ乘ッテ新宿ニ行ク、ソレカラ新宿ヲ乘リ降リテ——乘換ヘテ又甲武鐵道會社ノ線路ニ依ッテ八王寺ヘ行キ、八王寺カラ官設ト、又此處ヲ乘換ヘテ官設鐵道ニ行ク

ト云フ、甚ダ交通上ノ不便極マル線路モアル、僅カ四哩六哩位ツ、ニ降りテハ又乗り、復タ乗ツテ降りルト云フヤウナ今日ハ、所謂此小會社分裂ノ弊ヨリシテ交通ノ不便言フベカラザル所ガアリマス、ソレカラ斯ノ如キ場合ハ矢張買収ノ必要、先キヲ延バズニ就イテ買収ノ必要、モウ一ツハ矢張、經濟ノ點デゴザイマスガ、詰リ山陽ノ先キ三原馬關ノ間ヲヤルトスト、之カメニ大變三原馬關ノ間ノ工事ニ困難ヲ簡所ヲ國庫ノ金デアル、又從ツテ旅客荷物モ甚ダ偏鄙ノ地デカラ少ナイ、此線路ヲヤルタメニ所謂元ノ線路ヲ大變用ヒナケレバナラヌ、神戸カラ三原マデノ山陽會社ノ線路ヲ利用スルコトガ非常ナ度ニ用ヒテ居ル、又先キヤツタニシテモ三原カラ神戸マデノ間ノ線路ト云フモノハ大變利益ヲ増シテ來ル、ソレハ又格別ノ違ガナイトシテモ、是カラ所謂山陰道ノ如キ線路、岡山カラ米子、廣島カラ濱田ニヤルトカ云フ支線ヲ引クト云フ様ナコトニナリマス、尙ホ一層以上ノ有様ガ甚シイ、少數ノ會社ヲ多數ノ國民ガ負擔スル國庫金ヲ以テ無年限ノ保護ヲシナケレバナラヌト云フコトニナル、サウシテ見マスルト詰リ國家ノ力デ鐵道ヲ澤山延ベテヤルト云フ上ニ、經濟上ガ非常ニ困ル所謂肉ノアル所ハ私立會社ノ捕リ物ニナツテ、骨ト皮バカリガ國庫力デヤルト云フ結果ニナリマス、デゴザイマスカラ、斯ノ如キモノハ買収ノ必要デアラウト私ハ思フ、是ハ議會ニ掛ケテ議會ガ之ヲ必要ト見ルヤ否ヤト云フコトハ、議會ノ協贊ニアルコトダカラ、果シテ斯ノ如キモノヲ必要ト見ヌト云フコトニナレバ、不必要ノ線路デ買ハナカッタ時ハト云フコトガアリマス、ソレカラ十三條……、イヤ協贊ニ應ジナフコトニナリマスレバ、致方ハナイ次第デゴザイマス、其會社ニ矢張所有權ヲ付與シテ居ルノデゴザイマスカラ、是非強イテ此會社ノ承諾ヲサセルト云フ様ナコトハ出來マス、已ムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、ソレカラ此十六條デゴザイマスガ、是ハ最初此豫定線路ヲ揭ゲマシテ、豫定線路ハ山陽會社ノ先キ、九州會社ノ先キ……、人ニ所有權ヲ與ヘテ居ツタ箇所ヲ國庫デヤルト云フコトヲ、此第二條ノ豫定線ノ揭ゲテ置イタノデゴザイマスカラ、所謂其說明カシデゴザイマス、人ニ所有權ヲ與ヘタモノヲ法律ヲ以テ布設スルコトハ出來ナイノデゴザイマスカラシテ、第二ノ所有權ガ人ノニナツテ居ルノハ、其會社ヲ買収スルカ、或ハ又其會社ニ工事ヲ期限内ニヤレト云フコトヲ督促ヲ無論シナケレバナラヌ、デゴザイマス、又山陽ナドモ三原カラ馬關マデハ何箇年間ニヤルト云フ條件付ノ許可デゴザイマス、其督促ニ就イテ或ハ會社カラドウカ其先キハ國庫ノ力デヤツテ貰フトカ、サウナツテ折ハ詰リ相當ノ處分、相當ノ處分ト云フ中ニハ利益ヲ均分スル先キニ詰リ又所バカリヤル代リニ、元ノ線路ノ利益ノ増ス所ヲ均分スル先キニ詰リ又所バカリト云フコトモアリマス、其邊ハ廣ク處分ト云フコトニ包含サセテ置ク考デゴザイマス、大抵ソレデ御分リニナリマシテゴザイマセウカ、マダ御分リガゴザイマセウケレバ、御答ヲ致シマス

○高須峰造君(二百九番) 相當ノ處分ヲ爲シタ上デナケレバ之ヲ布設セヌト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスカラ、會社ノ方カラ買ツテ呉レイトカ云フ様ナ協議モ調ハズ、線路ノ賣買ノ相談モ出來ナカッタ時ハドウスルカト

云フ問デアリマス
○佐藤里治君(百四十八番) サウ云フコトニナリマスレバ、詰リ政府ガ許可ヲ與ヘタ工事ノ年限間ニヤレト云フ嚴重ノ督促ヲ加ヘナケレバナリマス、イ、ソレデモヤラヌト云フコトニナレバ、致方ノナイコトデ、サウスレバ私設鐵道條例ニアリマス通り二十五箇年ヲ經チマセウケレバ、法律上買入レル權力ハナイノデゴザイマス

(武石敬治君演壇ニ登ル)
○武石敬治君(二百二十四番) 私ハ本議題ニ對シテ同感ヲ表スル一人デゴザイマス、此鐵道布設法ニ對シテハ三章ニ至ルマデノ所ハ大多數ヲ以テ二讀會ヲ通過シマシタノデゴザイマス、此三章ニ至ツテ格別異議ノナイコト、信ジテ居リマシタガ、案外ニモ此三章ニ對シテ多數ノ反對ノ通告アルコトヲ見出シマシタ、誠ニ本員ニ於テハ不可思議千萬ノコト、思フノデアリマス、ナゼナレバ此鐵道ヲ擴張シマスル上ニ就イテハ此三章ノ手續ト云フモノハ是非ナケラナケレバナラヌ所ノ相當ノ手續デアル、此相當ノ手續ナルニモ御演說ハ承リマシタガ、其外ニモウ一ツアルダラウト私ハ想像致シマス、其趣意ハ如何ナル趣意デアアルカトスレバ、政府ノ提出シテ置キマシタ所ノ鐵道買収法案ト云フモノガアル、政府ガ提出シテ居ル鐵道買収法案ナルモノガ議場ヲ通過シマスレバ、此三章ト云フモノハ要ラヌノデアラウト云フ上カラ反對スル方モアルカモ知レバセヌ、是ハ未發ノコトデ分リハシマセウガ、若シ果シテサウ云フ考カラ此議場ニ在ツテ反對ヲ試ミマシテモ、其議論ハ通過スルコトハ出來ヌト云フコトハ分リキツタ話デアアル、何トナレバ政府ガ提出シタル鐵道買収法案ナルモノハ前會期ニ於テ多數ノ決議ヲ以テ排斥シタノデアリマス、私ハ今更喋々其事ニ對シテ論辯ヲ加フルノ必要ハナイト思ヒマス、唯今石田君ガ述ベラレマシタ要旨ト云フモノハ如何ナルコトガ要點ニナツテ居ルカト言ヘバ、詰リ此三章ナルモノハ政府ガ提出シタル所ノ買収法案ト多ク性質ガ違ツテハ居ルケレドモ、矢張私設鐵道ヲ買上ゲルニ就イテハ一ツデ御論辯ガアリマシタガ、私ハ今日之ニ對シテ反對ヲ試ムルノ必要ガナイト思ヒマス、宛モ石田君ノ議論ハ此三章ヲ存在シテ此三章ニ依ツテ實施スル場合ニ於テコトヲ必要デアアル、又石田君ノ言ハル、ニハ成程鐵道ヲ擴張スルニ附イテハ買収ト云フコトハナケレバナラヌ、ケレドモソレヲ大層ラシク此法文ニ掲ゲテ置ク必要ガナイ、却テ之ヲ掲ゲルトキハ人心ヲ紊ヌト云フ言ガ出マシタガ、私ガ之ニ反對セネバナラヌハ鐵道ヲ買収スルニハ之ヲ天下ノ人心ニ對シテ之ヲ掲ゲルコトハ必要ト思ヒマス、私ハ此案ニ同意デアルト云フコトハ、此簡單ナル言葉デ足リルト思ヒマス、ソレカラ石田君ハ政府ニ對シテハ注意トカ云フ言ヲ殘シタガ、是ハ私ハ石田君ニ同意デアアル、同意ヲ表シテハ確メテ置カナケレバナラヌ、政府ハ過日之ヲ議シマスル時ニ、此買収法案ハ公債法案ヲ決議ノ後ニ週ハシテ吳レイト云フ要求デ、私ハ之ヲ考ヘテ見マスニ何ノ必要ガアツテ此事ヲ當議會ニ要求シタカト思ヒマス、自分ガ提出シタル此買収法案ハ此議場ニ成立タヌト云フコトヲ政府ガ自らモ信ジテ居ル、故ニ此三章ガ通過シタナラバ是ハ即チ政府ノ意趣デアアル、此三章サヘ存在スレバ政府ノ願ヒ足リルト云フコトツケ論ヲ以テ天下ヲ瞞著シヤウト云フ考

○高須峰造君(二百九番) 相當ノ處分ヲ爲シタ上デナケレバ之ヲ布設セヌト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマスカラ、會社ノ方カラ買ツテ呉レイトカ云フ様ナ協議モ調ハズ、線路ノ賣買ノ相談モ出來ナカッタ時ハドウスルカト

衆議院議事速記録第二十號 明治二十五年六月六日 鐵道公債法案 第二讀會(前會ノ續) 四三三

デアル、ソレハ行カヌ何ゼナレバ、前ノ會議ニ於テ我々同志ハ此政府ノ買收法案ニ向ッテ反對シマシタ理由ハ如何ナルコトカト云ヘバ、私ガ今日喋々申ス迄モナク政府ハ俄ニ天下ノ私設鐵道ヲ買收シテ國有ニスルト云フコトデアルカラ、我々同志輩ガ此買收法案ヲ否決シタノデアル、此買收法案ヲ否決シタ場合ニ於テ義理トシテモ此三章ヲ茲ニ掲ゲルハ當然ナコトデアアル、其前會議ノ特別委員長ガ報告シマシタ理由書ニ如何ナルコトガアルカト云フニ、他日鐵道線路擴張ノ爲メニ私設ノ線路ヲ買收スルノ必要アラハ、其事アル毎ニ輒チ政府其見込ヲ定メテ之ヲ議會ニ付スヘク、議會ハ其事ニ對シテハ審按討議シ以テ協贊權ヲ使用スルコト最モ安全ナル方針ナリト信スルカ故ニ、今日ニ於テ買收ノ全權ヲ行政部ニ與フルノ法案ヲ協贊スル能ハサルナリト云フノガ買收法案ヲ否決シタ要點デアアルカラ、此案ヲ否決シタハ當然デアアル、サウシテ見レバ此三章ガ成立シタカラト云フテ望ガ足リルト云フコトハ決シテ世ノ中ニ成立チハセヌト思ヒマス、私ハ此簡單ナル言葉ヲ以テ同意シテ置キマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 一寸委員ニ質疑致シマス、私ハ第十四條ニ就イテ御説明ヲ煩ハサント思フコトガアルノデス、此十四條ニハ「豫定鐵道線路中未タ布設ニ着手セサルモノニシテ若シ私設鐵道會社ヨリ布設ノ許可ヲ願出ル者アルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ許可スルコトアルヘシ」斯クアリマス、私設鐵道會社ノ布設ノ許可ヲ願出タトキハ、帝國議會ニ向ッテ協贊ヲ求ムルト云フコトデゴザイマス、此協贊ヲ求ムルノ方法ハ如何ナルモアルカ、此帝國議會ガ協贊スベキコトハ第一ニ法律案、第二ニ經濟案デアアル、法律案ト經濟案トノ二ツヲ除イテハ協贊スルコトハ出來ヌモノデアアル、斯ウシタラ宜カラウカドウカト云フ様ナ諮詢ノ事ハ出來ヌノデアアル、宛モ縣知事ガ縣會常置委員ニ向ッテ其順序方法ヲ諮詢スル様ナコトハ出來ヌノデアアル、然ラバ私設鐵道會社ヲ布設ヲ願出タ場合ニ於テ帝國議會ノ協贊ヲ求メラル、ハ如何ナル仕方デアアルカ、此帝國議會ガ法律ト經濟案トヨリ外ニ向ッテ協贊スルコトガ出來ヌト云フ様ニ考ヘテ見マス、此協贊ヲ求ムル方法ハ特別ナ法律案ヲ出シテサウシテ協贊ヲ求メマスルコトデゴザイマス、ソレナラバ宜イデスガ、サウデナイト云フト妙ナ結果ヲ見ルノデ、此事ハ是非確メテ置カネバナナルマイト思ヒマス

○佐藤里治君(百四十八番) 是ハ長クナクツテ分リマスカラ、此處デ……
○議長(星亨君) 其處テ宜シウゴザイマス
○佐藤里治君(百四十八番) 此私設鐵道會社ノ布設ヲ許可スルノ本例ヲ設ケマシタノハ第二條ニ掲ゲテ置キマシタ豫定線路ヲ國家ノ力デ漸次ヤラウト云フ規定デアリマスカラ、之ヲ私設ニ許スト矢張法律ニ掲ゲタモノヲ變更スルコトニナリマスカラ、協贊ヲ經ルト云フコトヲ示シマシタノデ、矢張此政府ガ正當ト認メテ許可セントスルトキハ、丁度藥袋君ノ修正説ガアリマシタガ、ソレト之ヲ起草シマシタノハ同ジテ、要スルニ此議會ガ私設鐵道布設ヲ議決スルコト云フ様ナコトガアルト云フノデ、本例ヲ掲ゲタモノデアリマス

○小西甚之助君(二百八十八番) 私ガ聞キマシタノハ、政府ガ鐵道會社ニ向ッテ私設鐵道會社カラ布設ヲ願出タトキハ、之ヲ許可スルヤ否ヤト云フコトヲ協贊ヲ得ナケレバナラナイガ、其協贊ヲ求メ出ツル方法ハ如何デアアルカ、苟モ議會ニ向ッテ協贊ヲ求ムルト云フニハ法律案ニスルカ、豫算案ニ

スルカ、此二ツヲ取ルヨリ外ナイ、之ヲ許スカ許サヌカト云フ協贊ヲ求ムルコトハ出來ヌ、シテ見ルト云フト法律案ヲ造ツテ協贊ヲ求ムル外途ガナイ、斯様ナ精神カ否ヤト云フ御尋フ
○佐藤里治君(百四十八番) 無論此法律ヲ變更スルコトニナリマスカラ……
(藥袋君一君演壇ニ登ル)
○藥袋君一君(二百三十三番) 本員ハ十一條ト十二條十四條ノ修正ヲ提出シテ置キマシタガ、第一條カラ其理由ヲ簡單ニ述ベマス、此修正案即チ議案ニ依リマスレバ、總テ布設鐵道ハ帝國議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ買收スルト云フコトデゴザイマス、私ノ考ヘマスル所デハ總テ此布設スベキ線路ノタメニ買收スルト云フ場合ニ於テハ、政府ノ之ヲ買入レルコトハ差支ナイト云フ解釋ヲ致シテ居リマス、又政府モ唯必要ト見テ之ヲ買收スルト云フコトニ就イテ、議會ハ一向監督ヲシナイ知ラナイト云フ點ハナイカト思ヒマス、之ガタメニ公債ヲ發行シマスル時分ニハ、勢イ帝國議會ノ協贊ヲ經ナケレバナラヌコトハ當然ノコトデアアラウト思ヒマス、此但書十一條ノ本條ニハ僅ノ文字ノ修正ニ止マツテ居リマスガ、但書ヲ加ヘタ丈ガ餘分デゴザイマス、此但書ノ趣意ハ要スルニ買收スルノハ便利ヲ得セシムルト云フノ一言ニ止マルコトデアアルマ、若シ總テノ買收上ノ協贊ヲ經ルト云フ場合ニ至リマス、甚ダ圓滑ニ買收スルト云フコトニハ差支ガアラウト思ヒマス、若シ又此制限ヲ加ヘテアルノデ、政府ガ濫ニ實價ヲ買入レルト云フコトガ出來ナイト思ヒマス、此私設會社ノ布設致シタノハ株金ノ拂込トカ興業金ノ支出ト適當ノモノガ先ヅ今日ノ價カラ致シマシテモ適當ノ相場ト思ヒマス、公平ニ適當ノモノヲ政府デ買收ノタメニ必要デアアルト云フテ買入レルトキハ、強チ非難スルコトハナイカト思ヒマス、假ニ買收上ニ就イテ議會ニ提出致シマスル時分ニ、九州線トカ或ハ山陽線ト云フモノガ三十圓ノ拂込デアアツテ、三十圓ノ價格ダト云フコトガ、豫メ政府ト約束ガ整フテ議會ニ協贊ヲ求ムルト云フ場合ニ立至レバ、尙ホ議會ハ一株ニ對シテ三圓或ハ五圓ノ價格ヲ遞減スルト云フコトデ、協贊ニ應ジナイ、尙ホ斯ウ直シタラドウカト云フコトモアルダラウト思ヒマス、其時分ニハ買收スル必要ト云フ點ニ就イテ僅ノ會期中ニソレ等ノ手續ヲ經ルタメニ、時機ヲ失シテ買入レガ出來ナイト云フコトモアラウト思ヒマス、旁、此但書ヲ加ヘテ相當ノ價格ヲ買入レルト云フコトハ政府ニ一任スルモ不可デアアルマイカト考ヘマス、先ヅ十一條ニ依リマスレバ、ソレ迄ノ意見デゴザイマス、又十二條ハ「其ノ都度」ト云フコトヲ茲ニ加ヘマスノガ穩當カト思ヒマス、十四條ノ修正案ヲ見マスルト、餘程是ハ繁雜ニ涉ラウカト思ヒマス、豫定線路中ノ私設會社ガ私設ヲ願出ルト云フモノハ、例ヘバ軌ノ線路ニ向ッテモ私設會社ガ願出ルト云フ時分ニハ、一々政府ガ之ヲ獨リデ到底許スベキモノデナイ、專斷デ之ヲ許可スルト云フコトハ出來ナイ、百通出レバ百通議會ノ協贊ヲ經ナケレバナラヌト云フ場合ニ立至ラウカト思ヒマス、今日ノ經濟上ノ場合ニハ徒ラニ鐵道ト云フモノヲ持出シテ協贊ヲ經タイト云フテ願出ルト云フコトハ致シマス、其ノ中ニハ、他日經濟社會ニ變動ヲ來シテ、或ハ會社ノ勃興致シマス場合ニ至ツタナラバ、澤山是等ノ線路ニ向ッテ願出ヲシヤウト云フ者ガ比々アラウカト思ヒマス、其中ニハ實際ニ鐵道ヲ布設シテ利益ヲ得ヤウト云フノデハナクシテ、山師連ノ者ガ續々出ヤウト思ヒマス、發起人ト云フヤウナ者ガ株ヲ募ツテ許可ヲ得タト云フトキニ、

發起人ガ株ヲ賣ッテ他人ニ轉傳シテ行クト云フ例ガ是迄比々アルコトデアリマス、其邊ハ弊害トシテ恐ルベキモノト思ヒマス、豫メ政府ハ此線路ニ於テ著手シナケレバナラヌト云フコトニナツタ以上ハ、其許否ノ權ヲ以テ却下スル、若シ又はガ正當ノ願デアル、全ク之ヲ——私設鐵道ヲ許シテ宜イト云フ場合ノ時分ニハ、始テ帝國議會ノ協贊ヲ經ルト云フコトガ順序至當ノコト、思ヒマス、一々之ヲ行政部ニ立入ッテ協贊ヲ經ルト云フコトニ書示シテ置キマシタナラバ、ソレ等ノ弊害モアリマス、立法部ト行政部ノ鈞合ニモ關係スルコト、思ヒマス、旁、十四條ノ修正モ必要ト思ヒマスカラ、一言述ベマ

○工藤行幹君(百六十六番) 唯今ノニ少シ質問ガアリマス、本員ノ質問スルノハ此私設鐵道條例ニ依ルトキハ、鐵道ヲ買上ゲルトキハ、——鐵道其他ノ物件ヲ買上ゲルトキニハ、前五箇年ノ株金ノ價格ヲ平均シテ買上ゲルヲ以テ標準トスルト云フコトガアリマス、然ルニ今此修正ニ依ルト株金拂込額ヨリ超過セザルヲ以テ、——超過セザル相當ノ代價ヲ以テヤルト云フコトデア

○藥袋義一君(二百十二番) 御答致シマスガ、此前五箇年ノ價格ト云フモノヲ愈、買收スルト云フ場合ニナツタナラバ、弊害ガ出ヤウト思ヒマス、ソレ故ニ此興業支出額或ハ拂込金額ト云フヤウナ動カザルモノニ依ッテ以テ著目致シタマデアリマス

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 發言ノ順序ニ就イテ一寸申シマス、本員ハ石田君ト同時同刻ニ通告ヲ致シマシタガ……
○議長(星亨君) 五番目ニナツテ居マス
○岩崎萬次郎君(百九十四番) ソレデハ一寸議長ニ伺ヒマスガ、是ハ反對ト贊成ト更ルニミヤルノデアリマスカ
○議長(星亨君) 左様
○岩崎萬次郎君(百九十四番) サウシマスト今度御呼ニナツタノハドウ云フ都合デスカ
○議長(星亨君) 二百七十四番ハ贊成デスカ
○岩崎萬次郎君(百九十四番) 贊成デスカガ、私ハサウスルト、之ヲ削除スルト云フノデア

○議長(星亨君) 藥袋君ノモ修正デアルカラ反對デアル、サウ云フ順序ニナツテ居ル、ソレデアルカラ今ノ二百七十四番ト云フノガ順序、ソレカラ君ノ順番デス、——二百七十四番
○牛場卓造君(二百七十四番) モウ一ツ濟ンダラ……
○議長(星亨君) サウ云フ譯ニハ行キマセヨ、止メルナラ止メルト……
○牛場卓造君(二百七十四番) ソレナラヤッテ仕舞ヒマセウ
(牛場卓造君演壇ニ登ル)

○牛場卓造君(二百七十四番) 私ハ此第三章十一條ノ既成私設鐵道デアリマス、此第二條ニ依ッテ布設スベキ線路ノタメ買收ノ必要ガアル場合ニ於キマシテ、政府ハ其會社ト協議ヲシテ買收ノ價額ヲ定メテ、其鐵道ヲ買收スルコトガアルト云フコトハ、是ハ實際ドウシテモナケレバナラヌコトデアルト存シマス、然ルニ此買收ノ事ニ就イテ反對ノ御意見ヲ有セラル、諸君モゴザ

リマスシ、既ニ先刻石田君ハ即チ之ニ對シテ反對ノ意見ヲ述ベラレマシテゴザリマス、實ハ誠ニ私ニハ解セナイ御意見ト考ヘル、恐ラク此買收ノ一段ニ附イテハ最早反對ノ諸君ハナイコト、信ジテ居リマシタノニ、意外ニモ意外ノ御説ヲ以テ御反對ゴザリマシタ、處ガ其御説ニ於キマシテハ既ニ其次ニ出ラレタ諸君——方ニ於キマシテ、辯駁ヲセラレマシタ、格別ノ重ミノアル御説トモ私ハ考ヘマセヌデ、一々ソレニ就イテ反對ハ致シマセヌ、先ヅ其反對ヲセラル、諸君ノナニヲ察シテ見マスルト云フト、諸君所第二期ノ帝國議會ニ於キマシテ政府カラ此私設鐵道買收法案ト云フモノガ出マシタ、處ガ此私設鐵道買收法案ノ趣旨ハ如何ナルコトデアアルカト申シマスルト、諸君モ御承知ノ如クニ我國ノ此鐵道ハ、盡ク國ノ所有ニスル、即チ國有鐵道ト云フコトト趣旨ヲ以テ持出シタ議案デアル、ソレデアルカラ是迄布設シタル私設鐵道ハ盡ク買取ッテ仕舞ハナケレバナラヌ、買取ッテ仕舞ハナケレバ、即チ其趣旨ハ達シナイ、大變ナ議論デゴザリマス、此私共ノ考デ見マスレバ、實ニ此議案ハ——政府ノ議案ハ馬鹿氣ヲ話ナシタ何ト云フコトダ、僅カ一二年

マデハ今日デアリマス官有鐵道ハ盡ク私設會社ニ拂下タ方ガ日本ノ經濟ノタメ、鐵道ノ進歩ノタメニハ大變宜カラウト云フコトヲ居ッテ居ッテ政府、ソレガ僅カ一年經ツカ經テザルニ皆國有鐵道ニシテ買上ゲテ仕舞フト云フコトデア

○岩崎萬次郎君(百九十四番) 發言ノ順序ニ就イテ一寸申シマス、本員ハ石田君ト同時同刻ニ通告ヲ致シマシタガ……
○議長(星亨君) 五番目ニナツテ居マス
○岩崎萬次郎君(百九十四番) ソレデハ一寸議長ニ伺ヒマスガ、是ハ反對ト贊成ト更ルニミヤルノデアリマスカ
○議長(星亨君) 左様
○岩崎萬次郎君(百九十四番) サウシマスト今度御呼ニナツタノハドウ云フ都合デスカ
○議長(星亨君) 二百七十四番ハ贊成デスカ
○岩崎萬次郎君(百九十四番) 贊成デスカガ、私ハサウスルト、之ヲ削除スルト云フノデア

○議長(星亨君) 藥袋君ノモ修正デアルカラ反對デアル、サウ云フ順序ニナツテ居ル、ソレデアルカラ今ノ二百七十四番ト云フノガ順序、ソレカラ君ノ順番デス、——二百七十四番
○牛場卓造君(二百七十四番) モウ一ツ濟ンダラ……
○議長(星亨君) サウ云フ譯ニハ行キマセヨ、止メルナラ止メルト……
○牛場卓造君(二百七十四番) ソレナラヤッテ仕舞ヒマセウ
(牛場卓造君演壇ニ登ル)

○牛場卓造君(二百七十四番) 私ハ此第三章十一條ノ既成私設鐵道デアリマス、此第二條ニ依ッテ布設スベキ線路ノタメ買收ノ必要ガアル場合ニ於キマシテ、政府ハ其會社ト協議ヲシテ買收ノ價額ヲ定メテ、其鐵道ヲ買收スルコトガアルト云フコトハ、是ハ實際ドウシテモナケレバナラヌコトデアルト存シマス、然ルニ此買收ノ事ニ就イテ反對ノ御意見ヲ有セラル、諸君モゴザ

○議長(星亨君) 修正ガアツテモ賛成モ何モナイ、討論終結ノ勸議ガ出テ居ル、即チ賛成者ガアリマスカラ、決ヲ採リマス、討論終結ニ賛成ノ方ハ起立

テ決ヲ採リマス第十一條ニ……
○武市安哉君(四十八番) 段々缺席ノ諸君ガゴザイマスカラ、暫時御猶豫ヲ願ヒタイ

○新井啓一郎君(三番) 石田君ノ説ハ成立ッテ居リマセヌカ
○議長(星亨君) 成立ッテ居リマス

○新井章吾君(百四十三番) 何條マデ決ヲ採リマスカ、私ハ十四條ニ意見ガアル

○議長(星亨君) 意見ガアツタ所ガ、一章丈ヲ會議ニ付シテ、三章丈ハ討論ハ終結シテ居ル

○新井章吾君(百四十三番) 私ハ發言ヲ通告シテアリマス

○議長(星亨君) 左様、アリマス、外ノ人モアリマス、——十一條ヲ決ヲ採リマスガ、ツレニ修正ガアリマスカ、此修正ハ但書トツレカラ本文ノ内ニ修正ガアリマスカ、是ハ別々ニ決ヲ採ルコトヲ以テ相當ト考ヘル、ツレド本文ハ詰リ「買収スヘシ求ムヘシ」ト云フノヲ「經テ買収スヘシ」トアルデ、即チ此藥袋君ノ説ニ本文ニ「協贊ヲ經テ買収スヘシ」ト云フ修正ガゴザイマスカ、之ニ賛成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、是ヨリ但書ニ就イテ決ヲ採リマス、モウ讀マヌデモ宜シイデシヤウナ、(宜シイト呼ブ者アリ)即チ藥袋君ノ修正説、但書ゴザイマスカ、之ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、サスレバ委員ノ修正案ハ異議ガナケレバ之ニ決シマス、(異議ナシト呼ブ者アリ、異議アリト呼ブ者アリ)決ヲ採リマセウ、削除説ガアリマスカラ、即チ委員ノ修正説ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數
○議長(星亨君) 多數ト認メマス、即チ十一條ハ委員ノ修正ニ可決致シマシマ、——十二條ニ就イテ尙ホ藥袋君ノ修正ガゴザイマス、是ハ「其都度」ト云フ三ツノ字ヲ入レルト云フコトゴザイマスカラ、之ニ賛成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、デ此十二條ツレカラ十三條ニハ別ニ修正説ガ出テ居リマセヌガ、之ト十三條ハ削除説ガ出テ居リマスカラシテ、一緒ニ併セテ十二條ト十三條ノ決ヲ採リマス、即チ十二條ト十三條ノ委員ノ説ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數
○議長(星亨君) 多數ト認メマス、即チ委員ノ説ニ決シマシマ、ツレカラ十四條ハ藥袋君ノ修正ガゴザイマス仕舞ノ方ニ、藥袋君ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

テ下サイ
起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、尙ホ之ニハ矢張削除説ガ出テ居リマスカラ決ヲ採リマス、即チ十四條ハ委員ノ説ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數
○議長(星亨君) 多數ト認メマス、委員ノ説ニ可決致シマス、……是ヨリ第四章ヲ會議ニ付シマス、……(石田貫之助君演壇ニ登ル)

○石田貫之助君(百七十八番) 私ハ此第四章ト云フモノハ全廢ノ意見ナンドアリマス、是ハ隨分此大事業ヲ起スニ就キマシテハ、殊ニ斯様ナ一時ノ事業デハナクシテ數十年ニ跨ル事業ヲ、著々起シテ行カウト云フコトニ就キマシテハ、會議ノ必要ト云フコトヲ認メヌデハナイノデアリマス、隨分又聞キマスルノニ歐洲ニ於キマシテモ、此鐵道ヲ大ニ布設スル時杯ニ於キマシテハ、鐵道ノ會議ト云フモノヲ起シテヤルコトモ聞イテ居ルノデアアル、必要ト認メルノデアアル、然レドモ此第四章ノ如キニ至ッテハ、私ハ全ク反對デアル、全廢デアアル、ナゼトナレバ鐵道ノ會議ト云フノ文字ガ必要デハナイノデアアル、其鐵道ノ會議ニ就イテ組織ノ如何ト云フコトガ必要ナラザラ、此鐵道ノ事業タルヤ運輸ノ事柄、又ハ陸軍或ハ海軍、又ハ此物産上ニ關係シ交通ノ事柄、其邊ノ數箇ノ事實ニ因ッテ其利害ヲ討究シテ以テ此多數ニ決スル、ソコデ審議ノナルト云フコトガ必要ナンデアル、唯會議ヲ起スト云フコトバカリデ目的ノナク、ドウ云フコトヲ協議スルノデアアルカ、所謂組織ノ定マラズシテ此會議バカリ起シテハ行カヌ、他ノ議會トカ經濟會社ノ如ク問題ノ極メテ居ルテスル會議デハナイ、鐵道ノ會議ト云フモノハ、今申ス通種々ノ關係ノ人ヲ集メテ以テ會議ヲ起スコツ、其必要ガアルノデアアル、然レニ斯様ニ唯漠然トシテ會議ヲ起スト云フ様ナコトバ、我々採ラヌ所デアアル、又其會議ノ仕

事トシテドウ云フコトヲ爲スナレバ、第一項ニ掲ゲアルニ鐵道工事著手ノ順序、何ノ事ダカ譯ガ分ラヌ、此第一期線路ト云フモノハ定メテアル、果シテ此事ガ十年ニ行ヘルヤ否ヤト云フコトハ、我々今日議場ノ有様ヲ見テ已ムヲ得ズ之ニ服從シテ居ル、ケレドモ容易ニ受取レヌ所デアアルガ、假ニ行クモノトシタ所ガ、第一期ノ線路ハ定メテアル年々次ニハ九州デアアルトカ、次ニハ山陽デアアルトカ、次ニハ何處デアアルトカ云フコトハ、帝國議會ニ工費ヲ積ツテ以テ帝國議會ノ協贊ヲ求メルノデアアル、是ガ即チ第一期ナラ第一期、若クハ進ンデ第二期モ出來マセウ、又第三期モ出來マセウ、其順序ト云フモノハ帝國議會ガ定メル、即チツレガ工事ノ著手ノ順序ト云フモノデアアル、其他ニ鐵道會議ト云フモノヲ起シテ、ドウ云フ工事ノ著手ヲ協議スルカ一向譯ガ分ラヌ、又或ハ明日カラモ此工事ニ著手シヤウトカ、我々山陽鐵道ハ三原カラ著手シヤウカ、長崎カラ著手スルガ宜カラウカ、ツンナコトハ鐵道當路者ガ定メヌンバ、決シテ行ナイ、此必要ハ見ナイ、又第十條ニ定メテアル所ノ鐵道工事ノ都合ニ因リ、其都度募集スベキ金額ト云フ様ナコトハ、ツリヤモウ年々此著手ヲスルト云フコトニ就キマシテハ、帝國議會ニ從ッテ工費ガ協贊ヲ求メル、之ト同時ニ即チ求メンナラヌ支出デアアル、收支所謂一方ハ即チ財源ヲ起シテ來ル、財源ヲ起シテ來テカラ、即チ本年度ニ於テハ是丈ノ工事ヲスルト政府ガ出ス、唯此事ヲ總ナ鐵道會議ト云フ様ナモノニ斯様ナコト

テ下サイ
起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、尙ホ之ニハ矢張削除説ガ出テ居リマスカラ決ヲ採リマス、即チ十四條ハ委員ノ説ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數
○議長(星亨君) 多數ト認メマス、委員ノ説ニ可決致シマス、……是ヨリ第四章ヲ會議ニ付シマス、……(石田貫之助君演壇ニ登ル)

○石田貫之助君(百七十八番) 私ハ此第四章ト云フモノハ全廢ノ意見ナンドアリマス、是ハ隨分此大事業ヲ起スニ就キマシテハ、殊ニ斯様ナ一時ノ事業デハナクシテ數十年ニ跨ル事業ヲ、著々起シテ行カウト云フコトニ就キマシテハ、會議ノ必要ト云フコトヲ認メヌデハナイノデアリマス、隨分又聞キマスルノニ歐洲ニ於キマシテモ、此鐵道ヲ大ニ布設スル時杯ニ於キマシテハ、鐵道ノ會議ト云フモノヲ起シテヤルコトモ聞イテ居ルノデアアル、必要ト認メルノデアアル、然レドモ此第四章ノ如キニ至ッテハ、私ハ全ク反對デアル、全廢デアアル、ナゼトナレバ鐵道ノ會議ト云フノ文字ガ必要デハナイノデアアル、其鐵道ノ會議ニ就イテ組織ノ如何ト云フコトガ必要ナラザラ、此鐵道ノ事業タルヤ運輸ノ事柄、又ハ陸軍或ハ海軍、又ハ此物産上ニ關係シ交通ノ事柄、其邊ノ數箇ノ事實ニ因ッテ其利害ヲ討究シテ以テ此多數ニ決スル、ソコデ審議ノナルト云フコトガ必要ナンデアル、唯會議ヲ起スト云フコトバカリデ目的ノナク、ドウ云フコトヲ協議スルノデアアルカ、所謂組織ノ定マラズシテ此會議バカリ起シテハ行カヌ、他ノ議會トカ經濟會社ノ如ク問題ノ極メテ居ルテスル會議デハナイ、鐵道ノ會議ト云フモノハ、今申ス通種々ノ關係ノ人ヲ集メテ以テ會議ヲ起スコツ、其必要ガアルノデアアル、然レニ斯様ニ唯漠然トシテ會議ヲ起スト云フ様ナコトバ、我々採ラヌ所デアアル、又其會議ノ仕

事トシテドウ云フコトヲ爲スナレバ、第一項ニ掲ゲアルニ鐵道工事著手ノ順序、何ノ事ダカ譯ガ分ラヌ、此第一期線路ト云フモノハ定メテアル、果シテ此事ガ十年ニ行ヘルヤ否ヤト云フコトハ、我々今日議場ノ有様ヲ見テ已ムヲ得ズ之ニ服從シテ居ル、ケレドモ容易ニ受取レヌ所デアアルガ、假ニ行クモノトシタ所ガ、第一期ノ線路ハ定メテアル年々次ニハ九州デアアルトカ、次ニハ山陽デアアルトカ、次ニハ何處デアアルトカ云フコトハ、帝國議會ニ工費ヲ積ツテ以テ帝國議會ノ協贊ヲ求メルノデアアル、是ガ即チ第一期ナラ第一期、若クハ進ンデ第二期モ出來マセウ、又第三期モ出來マセウ、其順序ト云フモノハ帝國議會ガ定メル、即チツレガ工事ノ著手ノ順序ト云フモノデアアル、其他ニ鐵道會議ト云フモノヲ起シテ、ドウ云フ工事ノ著手ヲ協議スルカ一向譯ガ分ラヌ、又或ハ明日カラモ此工事ニ著手シヤウトカ、我々山陽鐵道ハ三原カラ著手シヤウカ、長崎カラ著手スルガ宜カラウカ、ツンナコトハ鐵道當路者ガ定メヌンバ、決シテ行ナイ、此必要ハ見ナイ、又第十條ニ定メテアル所ノ鐵道工事ノ都合ニ因リ、其都度募集スベキ金額ト云フ様ナコトハ、ツリヤモウ年々此著手ヲスルト云フコトニ就キマシテハ、帝國議會ニ從ッテ工費ガ協贊ヲ求メル、之ト同時ニ即チ求メンナラヌ支出デアアル、收支所謂一方ハ即チ財源ヲ起シテ來ル、財源ヲ起シテ來テカラ、即チ本年度ニ於テハ是丈ノ工事ヲスルト政府ガ出ス、唯此事ヲ總ナ鐵道會議ト云フ様ナモノニ斯様ナコト

テ下サイ
起立者 少數
○議長(星亨君) 少數ト認メマス、尙ホ之ニハ矢張削除説ガ出テ居リマスカラ決ヲ採リマス、即チ十四條ハ委員ノ説ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數
○議長(星亨君) 多數ト認メマス、委員ノ説ニ可決致シマス、……是ヨリ第四章ヲ會議ニ付シマス、……(石田貫之助君演壇ニ登ル)

ヲ讓セシムルト云フコトハ、本員ノ許サナイ、不同意ヲ唱フル所、財政ニ關係スル事柄ニ就イテ獨リ鐵道會議ト云フモノハ陸軍海軍等財政ニ關係ヲシナイトハ言ハナイ、ケレドモ先刻申シタ爲ス所デナイ者ニ財源ノ募集等ヲ議セシムルハ間違テ居ル、必要ヲ見ナイ、然ラバ反對論者ハ汝ガ言フガ如クニ鐵道會議ハ必要デアル、其組織ニ依ッテハ必要デアル、斯ウ云フコトナラバ其修正案ヲ出セバ宜イト云フコトデアル、ケレドモ此必要ト認メルケレドモ出サナイ、ナゼナラバ此議會ノ有様ヲ見テ鐵道熱ノ有様ヲ見テ、却ッテ此會議ヲ起シタナラバ種々ノ弊害ヲ來スト云フコトヲ看破スルノデアル、却ッテ其必要ヨリハ害ノ分量ガ多イト云フノデアル、若シ是ガ政府中ノ海軍大臣陸軍大臣ト云フ位ノ者ナラバ、即チ是マデニハ相談ガアルダラウ、其他ニ又關係ノ人ト云フ此會員トシテ勅令ヲ定メルト云フニ至ッテハ、非常ノ弊害ガ生ズル、線路ノ爭種々ナ情實ガ行レテ來テ、ソレハ何ヲ以テ之ヲ觀察スルカト云フト、即チ擴張案ト云フモノ、出タ所以、今日ノ有様ヲ以テ能ク推知スルコトガ出來ルノデアル、私ハ大體ニ邁ッテ言ハバ擴張案ニハ反對デアル、斯様ナ漠然トシテ日本ノ机上ノ上デ、是カラ是ニハ鐵道ヲ布ク、何千万ノ鐵道ヲ起業シテ行クト云フヤウナ漠然トシタ法律案ハアルベキモノデハナイ、抑、昨年來今年ニ至ルマデノ持論デアル、併ナガラ今日ノ議會ノ有様ヲ見レバ到底左様ナコトヲ言フタ所ガ行ハレナイカラ、(笑聲起ル)我々ハ多少一歩デモ其範圍内ニ於テ我々ノ目的ヲ達シ得ルヤウニト議論ヲ持ッテ居ルノデアル、否政府ニ於テモ政略、議會ニ於テモ政略ナンデアル、現ニ政府ニ於テ政略デアルト云フコトハ、此處ニ松方總理大臣モ居ラレルガ、明治二十二年ノ頃ニ日本私設鐵道會社ト云フモノガ、鐵道熱殊券熱ガ大ニ勃興シタ時ニ、政府ハ何ト云フ考デアッタカ、斯ノ如ク日本ニ鐵道ガ勃興シテハ鐵道熱ヲ布クコト云フコトニナッテハ、日本ノ財政ヲ大ニ紊亂スル、抑、鐵道ノ事業タルヤ、其資本ノ三分或ハ四分マデハ外國ニ輸出スル所ノ輸入品デアル、今ノ有様ヲ以テ見ルナラバ、遂ニハ銀紙害ト云フモノガ出テ、大ニ經濟社會ヲ紊亂スルト云フモノデ、此鐵道起業者或ハ有志ニ說イテ、暫ク斯様ノ事業ヲヤルハハ一個ノ營業トハ云ヘ、或ハ相當ニ財產ガアリ國家ノ有志ト言ハレル者デアルガ、我國ヲ思ヒ我財政ヲ顧ルナラバ、斯ウ云フ場合ニ於テハ日本經濟ノ全體ヲ見渡シテ以テ宜シク此場合ヲ計ッテ猶豫ヲシ、或ハ工事ヲ止ムルト云フハ國家ノタメニナスベキ事柄デアル、即チ松方大臣ガ言ハレタコトデアル、私ハ直接ニ承ハツタコトガアルノデアリマス、然ルニ其後ニ至ッテ昨年頃カラ買収スル、或ハ擴張スル、何千万圓若クハ之ヲ買収シ、今ノ通ニシタラ何億萬圓ト云フコトガ成立チマス、斯様ナコトハ二三年ノ間ニ湧イテ來タノハ、心竊ニ考ヘテ見タナラバ、餘程政策上ノ問題デアル、又議院ニ於テモ種々ナル感情種々ノ連絡カラ以テ、唯紙上ノ上デ收支ノ概算ヲ立テズ目的モ出來ズシテ、何年間ニ線路ヲ何處ニ布クト云フハ以テノ外ノ話デア、全體一昨日ニ於テ唱ヘタ收支ノ概算ハ、私ハ唯鐵道デハナイ、收支ガドノ位ト云フコトガ分ルノハ便利ノ如何ト云フコトヲ見ナケレバナラヌ、便利ノ惡イ所ハ錢儲ガナイ、錢儲ノナイ所ハ便利ガ惡ル、便利ノ惡ルイ所ハ錢儲ノアル所デハナイ、土地バカリデ人民ノ便利ガ惡ルケレバ貨物ノ便利ニモナラヌ話デアリマス、錢儲ノアル所ハ人民交通ノ頻繁ナルハ貨物運輸ノ頻繁ナル所ト斯ウ云フコトニナル、ソレモ顧ミズシテ斯様ナコトヲスル場合デア

ルカラ、到底此政略政略、又事情デ成立ツ時ノ場合ニハ、此會議ハ起業ノ益ヨリハ却テ害ガアル、故ニ私ハ之ヲ全ク廢棄スルト云フ意見デアリマス、(簡單々々ト呼ブ者アリ)

○工藤行幹君(百六十八番) 本員ハ全體石田君ト同感デ、四章ノ三條以下ハ悉ク廢スルト云フコトヲ通告ニ書イテアリマス、若シ反對者ガアレバソレニ就イテ述ベマスガ、反對者ガナケレバ、唯今石田君ノ意デ盡キテ居リマスカラ述ベマセヌ

○藥袋義一君(二百十三番) 私ハ取消シマス、濟ミマシタカラ

○議長(星亨君) 大抵討論ハ盡キマシタカラ是カラ決ヲ採リマスカラ、今テドッカヘ行ッテ居リマスカラ……(此時議席ヲ離レタル者次第ニ著席ス)是ヨリ決ヲ採リマス、即チ第四章ニハ修正說ハゴザリマセヌ、削除說ガアルガ、依ッテ即チ委員ノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、(小野吉彦君修正說ガアリハシマセヌカト呼ブ)アリマセヌ、前ノ何ガ消エテ仕舞ッタカラ、取消ニナル譯デアリマス、委員ノ修正ニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス

○津田守彦君(百五十三番) 本員ハ直ニ三讀會ヲ開カンコトヲ希望シマス

○議長(星亨君) マダ可決シタコトモ何モ言ハナイ、即チ修正案通可決シタノデアリマス、是カラ何トデモ仰シヤイ

○太田實君(百四十番) 唯今津田君カラ述ベラレタ通、是ハ隨分經濟上ハ最大問題デゴザリマス、殊ニ最早餘リ會期ノ日數モ僅デアリマスカラ、早く貴族院ニ送付シテ確定スルコトハ天下公衆ノ刮目スル所デアリマス、ドウゾ此二三讀會ヲ開キ、直チニ確定スル様ニ希望致シマス

○工藤行幹君(百六十八番) 本員ハ之ニ大不同意デアル、何トナレバ之ガタメニ公債ノ六千万以上モ新ニ設ケナケレバナラヌ程ノコトデ、我國ノ目下ノ經濟上カラ見ルトキニハ、實ニ輕々ナルコトデハナイノデゴザリマス、(無用無用ト呼ブ者アリ)故ニ幾重ニモ審議熟慮シテヤラナケレバナラヌ、(無用無用ト呼ブ者アリ)故ニ法律ニ於テモ(無用々々ト呼ブ者アリ)三讀會ニ掛ル時ニハ相當ノ時日ガ定メテアリマスレバ、若シ是ガ輕々薄々ノコトナレバ直チニ起スモ宜シイガ、斯ノ如キ重大ノコトデアリマスカラ……

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、決ヲ採リマス

○正木安左衛門君(二十一番) 議長

○議長(星亨君) 贊成デスカ

○正木安左衛門君(二十一番) 私モ同感デゴザリマス、是等ハ實ニ重大ノ問題デゴザリマスカラ……

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、即チ百四十番カラ直チニ三讀會ヲ開クト云フ動議ヲ提出サレ、ソレニ贊成ガアリマスカラ、即チ百四十番ノ直チニ三讀會ヲ開クト云フ說ニ贊成ノ方ハ起立ナスッテ下サイ

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス

○議長(星亨君) (拍手ノ聲起ル)

○小西甚之助君(二百八十八番) 一寸建議ヲ致シタイ

○議長(星亨君) 今何ヲシテ……是ヨリ直チニ三讀會ヲ開クト云フコトニ可

アル、若シ其著手ノ順序ニ於テ是ハ後進シニスルト云フコトニ至リマシタナ
 ラバ、十二箇年ノ後デナケレバ著手スルコトハナラヌト云フコトニナリマ
 ス、ソレ故ニ此工事ノ著手ノ順序ヲ定メル上ニ就イテ、ドノ線路ヲ第一ニス
 ルカト云フヤウナコトハ、即チ線路ノ取極ハ軍事上經濟上ニ大ナル影響ヲ與
 ヘルト信ジマス、然ルニ是等ノ線路ノ取極ハ此議會ニ於テ方針ヲ定メズシテ、
 總テ線路ノ取極、ドノ線路ヲ先ニスルト云フコトハ舉ゲテ少數ナル委員デ組
 立テラレテアル所ニ、舉ゲテ是等ノ事ヲ總テ是等ノ會議ニ任シテ仕舞フト云
 フコトニナラテ居ルノデアリマス、斯様ナ大事件——ドノ線路ヲ先キニスル
 カ、ドノ線路ヲ一番最初ニシテドノ線路ヲ仕舞ニスルト云フコトハ、最モ國
 家經濟上ニ大切ナル關係ヲ有シテ居ルノデゴザイマスカラ、十分調査ヲシテ
 此位ノ事ハ此議會デ方針ヲ定メテ置キタイト思フノデゴザイマス、然ルニ組
 織モ分ラナイ鐵道會議ニ一任スルト云フテ、匆卒ノ間ニ之ヲ議シテ仕舞
 フト云フコトハ、私共ノ不安心ニ思フ點デアル、又此豫算追加ノ場合ニ於テ
 全國鐵道線路ノ調査費ト云フモノガアリマスカラ、私ノ考ニハ此鐵道布設ト
 云フコトニ就イテ全然反對スル譯デハゴザイマセヌガ、今兩三年猶豫シテ十
 分ニ線路ノ調査ヲ遂ゲテ、凡ソ此線路ヲ此處ニ附ケタナラバ是丈ノ物産ガ集
 マル、或ハ此線路ヲ斯様ニシタナラバ工事ハ困難デアルガ、斯様ニスレバ此
 工事が手易イトカ云フヤウナ、總テ是等ノ事ヲ兩三年猶豫シテ、其間ニ十分
 取調ヲ致シ、サウシテ徐ニ著手ヲ致シマシタ所ガ、決シテ之ヲ遲シトスル譯
 デハゴザイマス、實ニ斯様ナ大事件デゴザイマスカラ、今二年ヤ三年延バ
 シタ所ガ其計畫ノ變ラナイ様ナ確實ノ計畫ヲ立ッテ然ル後議定スルガ、最モ必
 要ノコトデ決シテ遲シトシナイト思ヒマス、然ルニ是等ノ事ヲ擱イテ、今
 日此匆卒ノ間ニ之ヲ議シテ仕舞ッテ、後日此計畫ニ大變更ヲ來スコトガア
 ルカ、或ハ此取調ノ不十分ノタメニ工事も中止シナケレバナラヌト云フコ
 トガアツタナラバ、如何デゴザイマセウ、經濟上極テ不得策デ、ゴザイマセ
 ウ、ソレ故ニ今少シ調査時間ヲ置キマシテ、確實ナル所ノ計畫ヲシテ、
 ウシテ然ル後ニ凡ソ其調査ヲ致シマシタナレバ、其調査ノ結果ニ依ッテ本會
 ニ於テ、之ヲ議シテ鐵道ノ大計畫ヲ定メルコトニシタナラバ、大變都合ガ
 宜カラウト思ヒマス、宛ニ角斯様ナ調査ノ不完全ナモノヲ土臺トシテ、二十
 五年度カラ著手スルト云フコトハ、私ハ不安心デアアルカラ、私ハ調査ヲシテ
 此大計畫ヲ定メル迄延バシタイト云フ考デゴザイマス

○伊藤大八君(九十七番) 慣例ニ依リマシテ、字句ノ修正ハ議長ニ御任セテ

シタイト云フ一ノ動議ヲ起シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○折田兼至君(百五十八番) 本員ハ短ク述ベル考デアリマスカラ、此處デ述

ベマス

○議長(星亨君) 宜シイ

○折田兼至君(百五十八番) 鐵道布設法案ノ不完全ナル事、併セテ此鐵道布
 設ト云フコトガ法律タルノ性質ヲ帶ビタルモノデナイト云フ事ハ、本員ガ一
 讀會ノ折述ベタカラ、今更辯シマセヌ、併ナガラ本員ハ二讀會ノ結果如何ニ
 依ッテハ此三讀會ノ場合ニ於テ十分戰フ考デアリマシタケレドモ、二讀會ノ
 議事ノ模様ヲ見マスレバ、逆モ理論ヲ以テ爭フノ必要ガナイコトヲ發見シタ
 ノデゴザイマス、理論ヲ以テ爭フタ所デ、此問題ヲ左右スルコトハ出來ナイ

ト云フコトヲ私ノ臆懼ニ感シタノデアアル、ソレデ新ニ理論ノ事ヲ爲スコトハ
 無用トシテ止メルノデゴザイマス、實ハ政府ノ方針ニ於テモ本員ハ十分論究
 スル所アル考ヲ以テ二讀會ノ際、殊更ニ大藏大臣ノ答辯ヲ煩ハシタ次第デア
 ル、其事ニ就イテハ石田君ノ述ベラレタル所ヲ以テ……、本員ハ質問シテ之
 ニ向ッテ議論ヲ試ムルト云フコトハ敢テ致シセヌ、唯茲ニ一言述ベテ置クノ
 ハ、四十年間ノ大企業ヲ興スニ十分ニ調査モ遂ケズ、唯席上ノ斷定ヲ以テス
 ルノ不利益アル事、二億五千萬圓ノ公債ヲ募集スル事ハ、日本財政ノ將來ニ
 於テ必ズ困難ヲ來スデアラウト云フ事、今日ニ豫言シテ置クノ不必要ナラザ
 ルコト……ソレハ尙ホ一言申シテ置カナケレバナラヌ、唯日本政府ノ事業
 ナルモノガ、此鐵道バカリデアアルナラバ、日本ノ財政上ニ從令困難デアッテモ
 假ニ一步ヲ讓ッテ、鐵道布設ト云フ事之ニ對スル所ノ二億五千萬圓ノ公債ヲ
 募集スルト云フコトヲ可ナリトスルモ宜シイカ知レマセヌ、併ナガラ一方ヲ
 顧ミマスレバ日本政府ガ是カラ起サナケレバナラナイ所ノ事業ハ、經濟的ニ
 軍事的ニ實ニ一ニシテ足ラザルコトデアアル、諸君ガ前日來既ニ述ベラレル通
 リ、我國ハ陸防ヨリハ海防ヲ主ニセヌケレバナラヌ國デアアル、日本ノ軍艦ハ
 今幾ラアルカ、ソレ丈デモ日本ノ海防ヲ盛ニセンケレバナラヌト云フコトハ
 (簡單々々ト呼ブ者アリ) 諸君ノ知ラル、所デアアル、或ハ反對ナル人ノ議論中
 ニモ其意旨溢レテ居ル所ノモノデアアル、我此日本ノ地形ナドカラ考ヘテ見レ
 バ、將來殆ト二百艘内外ノ軍艦ヲ持タナケレバ、此國家ノ安寧ヲ維持スルコ
 トガ出來ナイコトハ分リキツタコトデアアル、ソレガ若シ百年ノ後ニ起ルコト
 ナラバ宜シイケレドモ、數十年ノ後ニハ必ズ來ル所ノ國デアアル、斯ル場合
 ニ至ッテハ莫大ノ公債ヲ募集スルカ、他ニ相當ノ稅源ヲ見ツケナケレバ決シ
 テ之ニ應スルコトハ出來ナイトスルナラ、我將來ニ於テ起スヘキ所ノ國防
 上ノ大企業ト云フモノガ既ニ目前ニ横ッテ居ルノデアアル、其他又經濟上必要
 ナル事業モ唯鐵道ノミニ限ラヌコトデアアルカラ、先ヅ續々起ルモノト見ナケ
 レバナラヌ、之ニ向ッテモ相當ノ金ヲ支出シナケレバナラナイ、是等ノト見ナケ
 十億萬圓ニ上ルカモ知レナイ、我日本ノ國勢カラ考ヘテモ、斯ル公債ヲ起ス
 コトハ國情許スベカラザルコトデアアル、サスレバ今大早計ニモ二億萬圓ノ
 金額ヲ唯腦髓ヲ以テ割出シ、或ハ三千六百哩ノ長イ鐵道ヲ唯席上デ可決シテ
 仕舞フト云フコトハ、誠ニ輕率千萬ノコト、斷言スルコトヲ憚カラナイ、併
 シ前ニモ述ベマシタ通り、今爰ニ理論ヲ以テ爭フタ所ガ無益デアアル、理論ヲ
 以テ爭フノ詮ナキコトヲ私ハ發見シマシタ、故ニ長シク述ブルコトハ致サ
 ナイ、後日はヨリシテ生ズルコトハ我政府モ財政上ノ困難ヲ感シ、今日ノ形
 跡ニ就イテ我一般ノ經濟社會ニ向ッテハ大企業ヲ起シテ成敗ノ結果トシテ、非
 常ナル慘狀ヲ來スコトガナイトハ私ハ決シテ今日ニ於テ斷言スルコトハ出來
 ナイ、私ハ後日此事業ヨリシテ間接直接ヨリ起ル所ノコトハ、我輩ノ見解今
 日ニ誤ラザリシコトハ其時ヲ以テ辯ズルヨリ致方ハナイト考ヘマスカラ、是
 丈ヲ今日ニ於テ述ベマス

○早川龍介君(二十七番) 反對ノ論ハ唯少數ニシテ遺憾デアルト云フニ過ギ

ナイ様ニ思ヒマスカラ、最早大低討論終結ニ致シタト思ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 討論終結デ宜シウゴザイマセウ、モウ決ヲ採ラナイデモ

……(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)然ラバ是ヨリ決ヲ採リマス

○議長(星亨君) 討論終結デ宜シウゴザイマセウ、モウ決ヲ採ラナイデモ
 ……(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)然ラバ是ヨリ決ヲ採リマス

○伊藤大八君(九十七番) 唯今私ヨリ出シタ動議ヲ先キニ御探リヲ願ヒマス、(ツレハ)異議ガナイト呼ブ者アリ) 異議ガナケレバソレデ宜シイ

○議長(星亨君) 決ヲ採リマス、即チ此案ハ二讀會ニ於テ可決シタモノニ同意ナルヤ否ヤト云フコトノ決ヲ採リマセウ、二讀會ニ於テ可決シタモノニ賛成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、(拍手起ル)即チ確定致シマシタ、サスレバ鐵道公債法案ハ委員ノ修正説、尙ホ二讀會ニ於テ修正致シタ如ク修正ニナリマシタ、左様御心得ヲ……

是ヨリ本日ノ議事日程ノ第二ニ移リマス

第二 區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案(政府提出)

○議長(星亨君) 朗讀ヲ致シス (町田書記官朗讀)

區裁判所檢事局ニ檢事補ヲ置キ檢事ト同一ノ職務ヲ行ハシム
檢事補ハ委任トス檢事補ニ任ゼラル、ニ必要ナル資格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○政府委員(三好退藏君) 諸君、本案ハ極メテ簡單ナル法律案デアリマシテ、其理由ハ説明書ニ盡シテアリマスニ依ッテ、諸君既ニ御承知ノコトデアリマセウ、ケレドモ今其理由ノ必要ナル所ヲ聊カ茲ニ申述ベヤウト考ヘマス

(此時議長星亨君議長席ヲ退キ副議長曾禰荒助君議長席ニ著ク)

裁判所ノ檢事ノ事務ヲ取扱ヒマスルコトニ就イテハ裁判所構成法ノ第十八條ニ規定ガアリマシテ、其裁判所々在地ノ警察官憲兵將校下士又ハ林務官等ニ於テ取扱ヒマスルコトヲ得ルノ便法ガ設ケテアリマス、然ルニ憲兵將校又ハ林務官等ニ於テ其取扱ヒマスル犯罪事件ハ、自カラ限リガアリマスルノミデアリマセウ、區裁判所所在地ヲ異ニ致シテ居リマス、故ニ常ニ其便利ニ依ルコトガ出來マセウ、唯警察官ノミハ區裁判所所在地ニ常ニ居ルモノデアリマスルカラ、警察官ヲシテ區裁判所事務ヲ取扱ハシメルコトハ出來ガアリマスノデ、地方廳ヨリ警察官ヲシテ區裁判所事務ヲ取扱ハシムルコトハ出來ナイト云フノデ謝絶セラレマスルノガ往々アリマス、然ラバ各區裁判所ニ普ク檢事ノ本官ヲ置カントスレバ、檢事ハ官吏ト同ジク試験トシテ三年間裁判所ノ事務ヲ見習ヒ、二回ノ競争試験ヲ經タル者デアリマセウケレバ、檢事トナルコトガ出來マセウ、ソレ故ニ此試験ヲ以テ檢事ト致シマスコトハ餘程困難デアリマス、且ツ裁判所構成法ノ實施以來判事檢事ノ死亡轉免等ノ數ガ七十餘名ニ及ンデ居リマス、今日マデノ所ガ此判事檢事ノ補闕ヲ致シマスニハ、即チ司法官試験ヲ以テ致シマスルデゴザイマスガ、現ニ在ル所ノ司法官試験ト申シマスモノハ七十五名アリマシテ、其司法官試験補ヲ今年ヨリ來年ノ二月頃マデノ内ニ本官ト致シテ、判事檢事ノ補闕ヲ致シマスノデサヘ、尙ホ足ラザルコトヲ苦ンデ居ルデアリマス、ソレ故ニ此司法官

試験ヲ以テ區裁判所ノ檢事ト致シマスコトハ、實際出來マセウノミナラズ、區裁判所ノ中ニハ誠ニ事務モ少ナキ所ガアル、且ツ其取扱フ所ノ事件モ最モ輕易ナルモノ、場所ガ往々アリマス、ソレ故ニ此ノ如キ場所ニハ二回ノ競争試験ヲ經タルガ如キ、高尙ナル學識ヲ持ッテ居ル檢事ヲ用ヒル必要ガアリマセウ、ソレ故ニ此法案ノ希望スルガ如キ檢事補ト云フモノヲ設ケテ、區裁判所ノ檢事ノ補闕ヲ致シタイノデアアル、サウシテ此檢事補ヲ任用致シマスルニハ目下區裁判所ノ檢事ノ缺員ヲ待ッテ檢事補ヲ採用スルコトニ致シタイノ考デアリマス、斯様ニ檢事補ヲ以テ區裁判所ノ檢事ノ補闕ヲ致スコトニ致シマスレバ、説明書ニ申シテ置キマシタルガ如ク、司法官ヲ二百名以上モ養成セネバナラヌト云フガ如キ不經濟ナルコトモ致サンデ濟ミマスルシ、旁、區裁判所ノ事務ヲ執ラヌルノ上ニ就イテモ敏活ナルコトヲ得ルデアラウト思ヒマス、之ガ此法律案ヲ提出シタル所ノ理由デアリマス、諸君幸ニ此法案ニ御協賛アラシコト希望致シマス

○原弘三君(九十四番) 一寸政府委員ニ御尋シタウゴザイマス、此檢事補ノ資格ハ勅令ヲ以テ定ムルトアリマスガ、大體此節申シマストドノ位ノ資格デアリマスカ

○政府委員(三好退藏君) 御答致シマス見込デ素ヨリアリマスガ、檢事補ノ資格ハ三年以上裁判所書記又ハ警察官ノ職ヲ奉シタル者ヲ以テ、之ニ任スルト云フ勅令ヲ出サル、ト云フコトヲ望ムデアリマス

○田中島雄君(五十九番) 政府委員ニ尙ホ御問申スコトガアル、是ハ唯今ノ御演説ニ依リマス、大體檢事ノ致スベキ事ヲ檢事補ヲ置イテスル、サウスルト是マデ檢事ノヤリマシタモノヲ尙ホ補ヲ置クトナルト矢張經濟上ニ於テ之ヲ設クルト費用ガ増加致サウト思ヒマス、或ハ又高給ノ檢事ハ人ヲ省イテ檢事補ノ方ヘ扱ハセルト云フト費用ガ減ズルコトニナリマスガ、其邊ノ區分ハドウ云フコトデアリマスカ、萬一制限等ガ御豫算ガ附イテ居リマスナラ、ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(三好退藏君) 檢事補ノ俸給ハ五百圓、四百圓、又ハ三百圓ト云フコトニ致シタイノデアリマス、三百圓ヲ重モニ初メハ用ヒマス積リデアリマスニ依ッテ、現時ノ法官ハ六百圓ガ最下級デアリマス、三百圓ノ人ヲ用ヒマス時ハ唯今ノ檢事一人デ二人ヲ得ルノ計算デアリマスカラ、普ク區裁判所ニ檢事補ヲ置クコトヲ希望ガアリマスノデアリマス

○田中島雄君(五十九番) マダ少シク質問ノ要ヲ得マセウ、其一箇年ノ裁判所ノ經費ニ取リマシテハ、之ヲ可決シマスレバ増加スルコトニナリマスカ、或ハ減ズルコトニナリマスカ

○政府委員(三好退藏君) 別ニ増加致シマセウ見込デアリマス、現時本官ノアリマスノガ缺ケタル所ヲ檢事補ヲ以テ補フ積リデアリマス、別ニ増加ハ致シマセウ

○議長(曾禰荒助君) 大抵御質疑モナイ様デゴザイマス、議事日程ノ第三ニ移リマス

第三 區裁判所檢事局檢事補設置ニ關スル法律案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○高須峯造君(二百九番) 是ハ九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ致シタイ

ト思ヒマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(會禰荒助君) 別段ニ御異議ガゴザイマセヌケレバ、唯今二百九番ノ請求ノ通り議長ガ指名スルコトニ致シマセウ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

(此時副議長會禰荒助君議長席ヲ退キ議長星亨君議長席ニ復ス)

○議長(星亨君) 是ヨリ本日ノ議事日程ノ第四ニ移リマス

第四 岐阜愛知二縣下震災救濟及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件(政府提出) (特別委員) (長報告)

(鈴木重遠君演壇ニ登ル)

○鈴木重遠君(二百十六番) 本日ハ岐阜愛知兩縣下ノ震災救濟ト堤防工事費、即チ客歲勅令第二百五號ノ事件ヲ特別委員會ニ於キマシテ審査致シマシタ經過ト、議決致シマシタル結果トヲ御報告致シマス、本件ハ五月七日ニ全部ヨリ九名ノ特別委員ヲ選舉ニナリマシテ、翌十日ニ委員會ヲ開キマシテ、委員長ニ理事ノ選舉ヲ致シマシタ、ソレカラ十二日ヨリ委員會ヲ開キマシテ、十三日十四日十六日ノ午前ニ委員會ヲ開キマシタガ、十六日ノ午後ニ一週間ノ停會ヲ命ゼラレマシテ、從ツテ委員會モ止メマシタ、二十三日ニ再ビ議會ヲ開カレマシタカラ、二十四日ニ又委員會ヲ開イタト云フ様ナ經過デゴザイマス、デ此問題ハ昨年モ既ニ政府ヨリ提出ニナリマシテ議會デハ委員ヲ置イテ略ボ取調モ附キマシタシ、又速記録ニモ委ク載ツテ居リマスルカラ、今度ノ委員ニ於テモサウ多日ヲ費ヤサナケレバ調ガ出來ヌト云フコトハゴザイマセナシタガ、委員ノ中カラ此工率ノコトニ就イテ質問ヲ致シテゴザイマシタガ、其答辯ガ一タ切リニナツテ稍ク政府委員カラ答ガアツタノデゴザイマス、ソレデ日限ガ大キニ遅レマシタ様ナコトモゴザイマスルシ、又五月三十一日ニ議長ヨリ委員長マデノ通知ガゴザイマシタガ、同日内務大臣ガ議長ニ向ツテ(此時大聲ニ願ヒマス)ト呼ブ者アリ、此愛知岐阜ノ工事ノコトニ就イテ議院カラ質問モ致シ、又政府委員カラ兩縣ノ縣廳カラノ答ニ依ツテ報告モシタケレドモ、尙ホ事實ニ於テ不慥カナコトガアラウト考ヘルノデ、更ニ内務省ヨリ委員ヲ兩縣ニ派出シテ調ブルニ依ツテ其調ノ出來ルマデハ此特別委員會ノ報告ヲ少シ様ニト云フコトヲ内務大臣カラ議長ニマデ話シガゴザイマシタ趣ヲ議長ヨリ委員長ニマデ通知ガゴザイマシタカラ、爲ニ又此報告ヲ暫ク見合ハセテ居リマシタノデゴザイマスル、處ガ其後又内務大臣ノ演說ガ再ビアルカノ手響キデゴザイマシタガ、其演說モゴザイマセズ、内務大臣ノ演說ヲスルト云フコトモ最早再ビ見ルコトガ出來ナイ形勢ニナリマシタ趣デゴザイマスルカラ、ソレ故ニ今日又此委員會ノ結果ヲ御報告スルト云フコトニナリマシタノデゴザイマス、此報告ハ印刷濟ミテ諸君ノ御手許ニ廻ツテ居リマスルデ、略々議決ノ模様ハ御承知ト存ジマスケレドモ、尙ホ又一應御報告ヲ致シテ置クデゴザイマシテ

九條ニ「避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ」トゴザイマシテ、會計法ノ第七條ニ豫算中ニ設クベキ豫備費ハ二項ニ分ツテ、第一豫備金第二豫備金ト致シマシテ、第一ハ避クベカラザル豫算ノ不足ヲ補ヒ、第二ハ豫算外ニ生シタル費用ニ宛ツルト載ツテ居リマシテ、又同ジク會計法ノ第八條ニ豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シテ其承諾ヲ求ムルト云フコトガゴザイマシテ、是ハ一氣貫聯シテ居リマスルモノデゴザイマスルカラ、委員會ニ於キマシテハ第六十四條ノ二項ハ即チ第六十九條ノ豫備費ヲ支出スルニ限ルモノデアルト申シマスル見解デゴザイマスルデ、委員會ニ於キマシテ政府委員ハ第六十四條ノ二項ハ豫算ノ款項ニ超過シ、又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出トゴザイマスルカ、必シモ六十九條ノ豫備費ノミヲ指スモノデナイ、豫備費以外ノ財源カララデモ使拂ノ出來ルモノハ即チ六十四條ノ二項ノ中ニ含蓄シテ居ルモノデアルト申シマスル說デゴザイマスル、尤第六十二條ノ新ニ租稅ヲ課シ國債ヲ起スト云フコトハ、帝國議會ノ協贊ヲ經ベシトアリマスガ、此等ハ取除テ其他ノ廣ク豫備費ノ外ニ國庫剩餘金デアラウガ、何デアラウガ財源ヲ求メテ火急ノ場合ニ支出ヲシテ置イテ、サウシテ六十四條ノ二項デ事後ノ承諾ヲ求メテ宜イト申シマスル說デゴザイマス、暫ク政府委員ノ說ニ依ツテ見マスルト、獨リ國庫ノ剩餘金ノミナリマセズ、繼續ノ事業費ヤ何カデモ三年五年向フモノハ繰越シテ支出ガ出來ルト云フコトニ判斷セネバナリマセヌ、ソレデ昨年第二議會ニ於キマシテ即チ愛知岐阜ニ再度ニ支出ヲ致シマシタ金額ハ愛知ガ百十六万四千六百八十二圓九十六錢六厘、岐阜ガ二百八万五千五百四十四圓六十七錢デ、此支出ノ財源ト申シマスルモノハ、政府カラ段々啗シク申シマシタル繼續事業中ノ陸軍軍備費海軍軍備製造費製鋼所設立費ト明治二十七年年度以後ノモノヲ使用スルト云フコトガ出マシテゴザイマスカラ、是等モ即チ政府委員ノ見マスル所デハ、第六十四條ノ二項デ支出シテ宜シイト申ス考デゴザイマセウガ、ドウモ委員ニ於キマシテハ第六十四條ノ本文ガ「國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ」トゴザイマスカラ、總テ此各省ノ經常費デアラウガ、臨時費デアラウガ一年ノ歳出ト申スモノハ、六十四條ノ本文ニ依ツテ豫算ヲ以テ指シ定メ其豫算ノ款項ニ超過シ、又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出ハ、即チ六十四條ノ二項デ仕拂ヲスル、其仕拂ヲスルガタメニ六十九條ニ豫備費ヲ設ケテアル、是ヲ以テ行政官ノ一年ノ經費ト致シマシテ、此外ニ臨時ノ支出ノアリマス時ハ、即チ第四十二條ニ依ツテ臨時會ヲ召集シテ支出ヲ議シナケレバナラヌ、若シ又緊急ノ需要アル場合ニ於キマシテ、政府ハ帝國議會ヲ召集スルコトノ出來ナイ時ニハ、勅令ニ依ツテ財政上必要ノ處分ヲ爲スト云フコトハ、第七十條ニ載ツテ居リマスカラ、此條ニ依ツテ憲法ハ會計ノ支出上ニ於キマシテ、完全ニ備ツテ居ルモノト思ヒマス、ソレ故ドウアツテモ第六十四條ノ二項ハ第六十九條ノ豫備費ノ外ノモノハ支出スルコトガ出來ナイト申シマスル、委員ノ勸考デゴザイマス、ソコデ是ハ獨リ此岐阜愛知ニ二百二十五萬圓出シマシタル本件ノ承諾ニ止マリマセズ、六十四條ノ二項デ斯様ナ事ヲ承諾スルト云フコトニナリマスレバ、是ヨリ千百年モ盡ク豫備費ノ外財源ヲ求メテ政府ガ仕拂ヲ火急ナ時ニシテ、事後ノ承諾ヲ求メタナラバ、殘ラズ承諾センナリマセウデ我々議員タル者ハ立法部ニ身ヲ置ク以上ハ最モ鄭重ニ考ヘマシテ、後來財政紊亂ノ弊ト申スモノ

ハ、今日二十分ニ拒ンテ置カネバナラヌト申シマス考デゴザリマス、ソレカラ
 是ハ附帶シテ御話ヲ致シマスガ、此憲法起草者ノ著シマシテ憲法義解ニ於
 キマシテモ、矢張委員ノ考ト同様ニ第六十四條ノ二項ノ支出ハ即チ第六十
 九條ノ豫備費ノ事デアアルト云フコトガ解釋シテゴザリマス、我國ノ憲法ハ欽
 定憲法デゴザリマスカラ、其欽定セラル、ノ始ニ當リマシテ憲法起草者ノ
 趣意ノアル所ハ、委曲申上ニナツテ欽定セラレタモノデアラウト推察致シマ
 スカラ、即チ欽定ノ趣意ノアル所モ矢張第六十四條ノ二項ハ第六十九條ヲ指シ
 タモノト判斷ヲ致シマシタノデアリマス、ソレ故ニ憲法上ニ於キマシテ本件
 ヲ第六十四條ノ二項デ承諾スルト云フコトハ、何分其要求ニ應ジテ承諾ス
 ルコトハ出來ナイモノト委員會デハ決定ヲ致シマシテゴザリマス、ソレカラ
 又事實上ノ上カラ觀察ヲ下シマシタ所ガ、容歲ノ愛岐兩縣ノ震災ハ實ニ慘毒
 ノ極ハメマシテゴザリマスカラ、震災ノ救済ト河川堤防ノ工事ト申シマスモ
 ノハ、ドウ致シマシテモ國庫ノ補助ヲセネバナラヌト申スコトハ委員會ニ於
 キマシテモ十分認メテ居リマシタデゴザリマス、併シ議會ノ協賛ヲ俟タズニ
 緊急處分ニ此二百二十五萬圓ヲ仕拂ツタノハ如何ト調ベテ見マスルト此勅令
 二百五號ヲ以テ愛知岐阜二二百二十五萬圓ヲ支出ニナリマシタハ二十四年
 十一月十一日デゴザリマス、ソコデ第二期議會ヲ召集ハ同月二十二日デ僅カ
 十日間バカリ隔テ居リマス、ソコデゴザリマス、尤モ委員會ニ於テ政府委員ノ
 答辯ニ震災救済ノ方ハ迅速ヲ要スルデ、十日間ノ猶豫モスルコトガナラナイ
 ト申シマスガ、是ハ至極尤ノ考ト存シマス、然ルニ其二百五號ノ勅令ノ發
 布ノ頃ニ當リマシテ、豫備費ガ尙ホ三十幾萬圓ト云フモノガ殘額ガゴザリマ
 シタノデゴザリマス、サウシテ其二百二十五萬圓ト云フモノガ殘額ガゴザリマ
 如何程ト調ベテ見マスルト、兩縣併セテ二十萬圓デゴザリマス、シテ見マ
 スレバ其豫備費ノ殘ノ三十幾萬圓ノ中デ二十萬圓ノ震災救済ノ直チニ政府ニ
 執行ガ出來マスルノデ、其他ノ費用ノ議會ノ開會ヲ俟ツテ議シタ所ガ遅カラ
 ヌ所デアラウト考ヘマスルノデアリマス、又政府委員ハ其三十幾萬圓アツタ
 豫備費ノ殘額ト云フモノハ富山福岡兩縣ノ土木費補助ニ用フル考デアツタ、ソ
 レ故ニ愛知岐阜ノ震災救済ノ方ニ振向ケナシト申シマス答辯デゴザリマ
 スガ、其愛知岐阜ノ震災ノ救済及堤防工事ニ仕拂ヒマシタハ十一月十一日
 デゴザリマシタ、富山福岡ノ兩縣ニ關スル土木費補助ノ勅令ハ同月十三日ニ
 出テ居リマス、是ニ由ツテ見マスレバ勅令二百五號發布ノ時ニハ、マダ富山福
 岡ノ土木費補助ト申スコトハ指シ定メニナツテ居ラヌト申サネバナリマセヌ、
 ドウアツテモ先キヘ支出スルモノ、豫備ノ殘額ハ使ハネバナラヌ道理ノモノ
 ダト判定ヲ致シマスノデゴザリマス、其外此救済費ノ仕拂精算杯ヲ取調ベテ
 見マスルト、強チ此二十萬圓ノ救済費モ盡ク至急ヲ要シタノデハゴザリマセ
 ス、岐阜縣ノ如キハ昨年ノ十一月二十一日ヨリ本年五月十六日ニ亘ツテ仕拂
 ヲシテ居リマス、總額十萬圓ノ中五萬五千餘圓ト云フモノハ五月九日ニ至テ
 始テ配當ヲ致シタ様ナコトデゴザリマス、堤防工事モ亦緊急ノモノデアルト
 申スコトハ、政府委員ガ答辯ヲ致シマスルケレドモ、第二ノ議會ノ解散ノ後
 即チ工事費ヲ支出致シマスル後モ尙ホ十數日ヲ經過シテモ工事ニ未著手ノ
 區ガ甚ダ多カッタ次第デゴザリマス、サウシテ見マスレバ議會開會ノ後ニ費
 用ヲ支出スルコトニナリマシタ、處ガ融雪出水ノ日ニ先チテ工事ヲ成就致ス
 コトハ容易ノ事デアラウト考ヘラレマス、是等ノ理由ニ依リマシテ、委員會

ニ於キマシテハ愛知岐阜兩縣ノ震災救済及河川堤防工事費、明治二十四年
 度豫算外支出ノ件ト申シマスモノハ承諾スベカラザルモノト決定ヲ致シマシ
 テゴザリマス、其段御報告ニ及ビマス
 ○有友正親君(百七十三番) 質疑ガアリマス、——私ガ質疑シヤウト思ヒマ
 スノハ、唯今委員長ガ委員會ノ經過ニ附イテ御報告中ニ、十分ニ、御聲ガ低
 クカツタタメニ、聽取レナカッタカラ、御尋致シマス、委員會ヲ開イテ居ル
 中ニ内務大臣カラ實地ヲ調査スルカラシテ、其間ハ委員會ヲ見合セテ呉レロ
 ト云フコトヲ議長ノ方カラ話ガアツテ、議長カラ其傳ヘガアツタカラ、委員
 會ヲ中止シタ、其後ドウヤラシテ止シタト云フコトデアリマシタガ、薩張リ
 分リマセヌデシタカラ
 ○鈴木重遠君(二百一十八番) ソレデ見合セテ居リマシタガ、内務大臣ノ議場
 ニ臨ンデ演說ニナルコトハヤマリマシタ趣デゴザリマス、サウ致シマスルト
 モウ委員會ニ於テ報告ヲ緩ムル必要ガゴザリマセヌ、ソレデ今日報告ヲスル
 コトニナリマシタノデゴザリマス
 ○井上角五郎君(七十八番) 本員ハ委員長ニ向ツテ二質問ヲ致サウト心得
 マス、即チ先刻ノ質問者ノ言ハレタル如ク、半バ聽取シテ半バ聽取レナカッタ
 ト云フコトノタメニ本員モ質問致スノデゴザリマス、委員長ハ憲法第六十
 四條第二項第六十九條並ニ會計法第七條八條ハ聯關シテ居ルト云フコトヲ言
 ハレタカノ如クニ聽取リマシタガ、果シテ然ラバ會計法第八條ノ「年度經過
 後」ト云フ言葉ト憲法第六十四條第二項ノ後日ト云フコト、「年度經過後」ト云
 フコトハ同一ノ意味ニ見ラレテ居リヤ否ヤ、此御答ヲ待ツテ更ニ質問致シ
 マス

○鈴木重遠君(二百一十八番) ソレハ後日ト申シマスル方ハ言葉ガ廣フゴザリ
 マシテ、必ズ何日ト云フコトヲ指シ定メテナイ言葉ト解釋ヲシテ居リマス、ソ
 レカラ會計法ノハ年度經過後トゴザリマスカラ、是ハ言葉ガ時期ヲ指シ定メ
 テゴザリマスカラ、年度經過後デアレバ宜シイト云フ解釋デゴザリマス
 ○井上角五郎君(七十八番) サウ致シマスレバ、折角委員長ノ御報告ノ憲法
 ノ六十四條六十九條會計法ノ七條八條ト聯關シテ居ルト云フコトハ間違ッテ
 ハ參リマセヌカ、何トナレバ六十四條ト云フコトハ後日デアアル、日限ノ制
 限ハ無い、豫備費ノ方ナラバ制限ガアル
 ○藤野政高君(二百七十九番) ソレハ議論デス、無用デス
 ○井上角五郎君(七十八番) 質問デス、問フノデス、即チ制限ガアルト無い
 ト云ヘバ、其金ノ種類タルヤ違ハナケレバナラヌモノデス、尙ホ且ツ聯關シ
 テ居ルト仰セラレタノハドウデアリマスカ
 ○藤野政高君(二百七十九番) 答辯スル限ニアラズ
 ○井上角五郎君(七十八番) 尙ホ併セテ御問申レマス、委員長ハ憲法六十九
 條ノ豫備費ハ豫算ノ款項ニ繰入レテアルモノト云フコトハ御存ジデアルカ否
 カ、若シ豫算ノ款項ニ繰入レテアレバ、六十四條ノ第二項ノ款項ニ超過スル
 ト云フコトガアル、以上六十四條ノ二項ハ豫備費ヲ指スニ及バヌト云フコト
 ハ……

(議論々々無用々々ト呼ブ者アリ)
 ○鈴木重遠君(二百一十八番) ソレハ見解ガ七十六番ト違フノデス、委員會ノ
 見解ハ唯今委員長ガ報告シタ通、見解ハ其通デ、既ニ委員會ニ於テ政府委員

衆議院議事速記録第二十號 明治二十五年六月六日 岐阜愛知二縣下震災救済及河川堤防工事費明治二十四年度豫算外支出ノ件 四四三

何ノタメニト呼ブ)何ノタメニ避クベカラザル豫算ノ不足ヲ補フタメニ、又ハ豫算外ニ生ジタル必要ニ充ツルタメニ、(此時意ヲ能ク解スベシト呼者アリ)讀シテ字ノ如シ、憲法第六十四條第二項ハ議會ノ協贊權ヲ完ウスルガタメニ後日必ス帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要スト云フコトガゴザイマス、又六十九條ハ財政ノ鞏固ヲ保ツタメニ必ス豫備費ヲ設クヘシトアル、此二ツハ九テ精神目的ガ違フテ居ル、(此時發言スル者アリ)全ク違フテ居ル、又會計法第八條ヲ引イテ、之ト一貫シタモシト云ハレタ、會計法ノ第八條ニハ何シトアリマス、豫備金ヲ以テ之ヲ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」是ヲ以テ憲法第六十四條第二項ハ豫備費ニ限ルト云フ證據ニハ決シテナリマセヌ、驚クベキ言論ト云ハネバナリマセヌ、若シサウデアリマシタナラバ、憲法ト會計法ト同日同時ニ頒布セラレタルモノデアアル、同日同時ニ頒布セラレタル憲法ト會計法ト同一事項ニ對シテ、一ツハ即チ憲法ニハ豫算ノ款項ニ超過シ、又ハ豫算ノ外ニ生ジタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要スト云ヒ、會計法ニハ豫備費ヲ以テ支辨シタルモノハト、斯ク語氣同シカラザル語勢ヲ以テ重複ニ書ク必要ガナイ、若シ憲法ガ豫備金ヲ以テ支辨シタル時ハ後日帝國議會ノ協贊ヲ求ムルヲ要スト書イタナラバ、委員長ノ言ハル、通りデアアルガ、二ツニ書キ分ケテアリマス、二ツニ書キ分ケテアルハ、何ノ故デアアルカト申シマセバ、此豫備費ト云フモノハ總テ矢張豫算中ノ一款一項トシテ帝國議會ノ協贊ヲ經タモノデアアル、六十四條第二項ニハ豫算ノ款項ニ超過シ、又ハ豫算外ニ生ジタルトアル、此豫備費ナルモノハ一款一項トシテ協贊ヲ經タルモノデアアルガ故ニ、六十四條ノ第二項ニ當嵌マルカ、當嵌マラナイカト云フ疑問ガアリマス、故ニ通常法律ナル會計法ニ之ヲ規定シテ矢張リ、豫備費ノ分ト雖モ、憲法六十四條ノ第二項ト同一ノ手續ヲ取ツテ、後日帝國議會ニ年度經過後帝國議會ノ協贊ヲ求ムルヲ要スト書イタ、即チ憲法六十四條ノ第二項ハ豫備費ニ限ルモノデアアルニアラズシテ、豫備費ト雖モ此手續ヲスルト書イタモノデアアリマス、然ラザレバ重複ニ言葉ヲ換エテ斯ノ如ク書ク必要ハナイ、斯様ニ論シ來リマスレバ(自家撞著ト呼ブ者アリ)憲法ニ違反スルト云フコトハ、既ニ業ニ消エテシマツテ、殘ッテ居ルハ事實ノ問題デアリマス

第二ニ審查特別委員長ハ事實上ノ理由トシテ緊急處分ヲ必要ナラズ故ニ承諾スベカラズト云ハレタ、昨年十月二十八日愛知岐阜ノ震災ハ古今未曾有ト云ハネバナリマセヌ、一瞬間ノ間ニ二十万有餘ノ家屋ヲ蕩盡シ、又ハ壞盡シ、一万六十有餘ノ生民ヲ死傷シマシタ故ニ、昨夜マデハ相當ノ資格財產ノアツタ者ガ(何ダツンナコトヲト呼ブ者アリ)翌日ニナレバ家屋モ財產モナクナリ、著ノミ著ノマ、デ道路ニ流離困頓スルト云フ(ツンナコトハ分ツテ居ル呼ブ者アリ)又昨夜マデハ父子夫婦團欒シタル者ガ忽チ鰥寡孤獨トナリ、實ニ言フ可ラザル有様デアアル、之ニ加フルニ兩縣人民ノ生活上ニ於テ最モ恐レ最モ懸念スル本曾川ノ堤防ト云フモノハ、百里以上原形ヲ留メザルコトニナツタ、若シ之ガ修築ヲ怠ツタナラバ、震災ノ大災ヲ受ケタル上ニ、又河水汎濫ノ大災厄ガ頭上ニ墜チテ來ヤウト云フ有様デアリマス、實ニ兩國人民ニナツテ見マシタナラバ、耐マラヌコトデアアツタラウト思フ、人心ノ恟々タル素ヨリ尤ナルコト、思フ、故ニ此時ニ當ツテハ、上御一人ハ固ヨリ帝國内ノ有志ハ皆相當ノ義金ヲ醸シテ、此兩縣ノ人民ニ向ツテ同情同感ノ悲ヲ表シタノミ

ナラズ、我國ニ居留スル外國人モ又或ハ物品ヲ送り、或ハ金錢ヲ送り、尙ホ海外万里ノ外ニアル外國人ヨリモ電信書信ヲ通シテ、兩國人民ノ不幸ヲ悲シムト云フ有様デアリマシタ、此時ニ當ツテ國民保護ノ責ニ任ズル政府ナルモノハ、如何ニ致シテ相當ナル義務ヲ盡シタト云ハレマスルカ、(第二豫備金ト呼ブ者アリ)特別委員長ノ報告セラル、如ク、緊急處分ノ必要ナシ依ツテ安全トシテ議會ノ開ケルヲ待ツテ居ラレマスルカ、衆議院ノ多數ノ諸君ハ決シテ斯様ナコトハナカラウト本官ハ信ジテ疑ヒマセヌ、(二十万圓ト呼ブ者アリ)去ル者ハ日ニ疎シ(笑聲起ル)ドウモ斯様ナコトヲ斷定スルニ、今日ノ情ヲ以テセラレテハ困リマス、當時ノ事情ニ溯リ先ヅ當時ノ其地ニアツタ人民ニナツテ一ツ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、地震ハ何時起ツタカ、客年十月二十八日デアリマス、此勅令ヲ發シタハ十一月十一日デアリマス、兩國人民ニナツテ考ヘテ見マシタナラバ、如何ニ待遠デアリマシタラウカ、又如何ニ政府ガ迅速ニシテ兩國ノ人民ノ安堵ヲスルコトヲ切望シテ居タノデアリマセウカ、中ニ是ハ十日間待テタル譯デハナイ、一日モ隻時モ待テタルコトデハナイ、事實上ノ問題ハ斯様デアリマス、斯ノ如ク論シ來リマスルコト云フコト、此岐阜愛知兩縣震災事件ニ就イテ毫モ憲法抵觸ノ廉モナシ、事實上ニ於テモ必ス緊急處分ノ必要ニ迫ラレテシタモノト云ハネバナリマセヌ、故ニ衆議院諸君ノ多數ハ、一刀兩斷快ク承諾ヲ與ヘラレ、政府ト共ニ兩國災餘ノ人民ニ向ツテ同情同感ヲ表セラレンコトヲ希望シマス

- 田中正造君(三十一番) 私ハ唯今ノ大臣ノ演說ニ就イテ質問致シマス
- 山田東次君(百二番) 渡邊君ニ質問致シマス、一寸今アナタノ御説明ガ聽取レヌコトガアリマシタガ、此第六十四條ノ第二項ノ「豫算外」ト云フノハ、此豫算外ト云フ文字ハ豫算ノ中ニ一寸トモ載ツテ居ラヌモノデアリマスカ、款項ニモ何ニモ載ツテ居ラナイモノヲ...
- 政府委員(渡邊國武君) 左様
- 山田東次君(百二番) ツレナラ六十九條ノ豫算外ト云フノハ、ドウ云フモノデアリマスカ、六十九條ノ豫算外ト云フノハ、
- 政府委員(渡邊國武君) 其通デアリマス、矢張豫算外ハ豫算外ナリ(笑聲起ル)
- 山田東次君(百二番) 豫算外ハ豫算外ナリデアアルガ、款項ニモ何ニモナイ、豫算ニ載ツテ居ラヌ所ノモノヲ解釋ナサツタノデスカ
- 政府委員(渡邊國武君) ドチラモ豫算外デ讀シテ字ノ如ク...
- 山田東次君(百二番) 豫算外ハ豫算外デハ分ラヌ、此豫算外ト云フノハ款項以外デアアルカ、或ハ豫算ト云フ中ニ一寸トモ書イテナイモノヲ指シテ居ラレルノデアアルカ
- 政府委員(渡邊國武君) 款項ニ超過スルト云フコトハ即チ款項以外デアアル、豫算外トハ豫算以外デアアル、又六十九條ノ不足ヲ補フト云フ豫算ノ款項内ノ不足デアアルモノヲ...、不足ヲ補フト云フ...、又豫算外ト云フノハ、何レモ豫算ノ外ニ相違ナイ
- 山田東次君(百二番) 六十四條ノ第二項ニ豫算外ト云フノト、六十九條ノ豫算外ト云フノハ同一ノモノデアアルト仰シヤルカ
- 政府委員(渡邊國武君) 左様
- 山田東次君(百二番) 宜シイ、ツレナラモウ一度御尋申シマス、會計法第

八條デス、第八條ニ... 會計法ノ第七條ノ末項ニ、豫備金ハ豫算外ニ生ジタル必要ノ費用ニ充ルモトストアルガ、此豫算外トコソチノ豫算外トドウ違ヒマス

○政府委員(渡邊國武君) 豫算外ト云フ、サウ御尋ニナレバ是ハ讀メテ字ノ如ク少シモ疑ヒナシ(笑聲起ル)如何ナル疑テゴザリマスカ

○山田東次君(百三十七番) 末項ニ豫備金ハ豫算外ニ出シタル必要ノ費用ニ充ルト書イテアリマス、併シデス、六十九條ニ豫算外ニ生ジタル必要ノ費用ニ充ツルタメニ豫備費ヲ設クベシトアツテ、六十九條ノ豫算外ト云フモノハ、是ハ款項ニ組立テナイ所ノ豫算外ト云フ意味デアルト云フコトハ明カモノト思ヒマスガ、政府ハドウ解釋シテ居リマス

○政府委員(渡邊國武君) 豫算外ハ豫算外デアアル、幾度説明シテモ同ジデアリマス(笑聲起ル)少シク山田君ハ

○山田東次君(百三十七番) ツンナラ聽カヌデモ宜イ

○政府委員(渡邊國武君) 山田君ハ本官ガ會計法ハ豫備金ヲ以テ支辨シタルト書イタルハ豫算外デアアルヤ否ト云フ疑ガアツタカラ入レタト云フコトニ就イテ今ノ質議ヲ發セラレタト思ヒマス、故ニ是ハ通常法律ヲ憲法ニ規定シタモノヲ尙ホ精細ニ規定シテ六十四條ノ二項ハ續クシテアリマス、是ニ由テ之ヲ觀レバ豫備費ト云フモノハ所謂六十四條ノ手續ヲスベキヤ否ヤト云フ疑ノアルタメニ豫備費ハ既ニ第何款何項ト云フ協贊ヲ經テ居ルガ故ニ、是ハ未ダ實際使用スル目的ガ立テ居ラヌモノデアアルカラ、是ハ矢張六十四條第二項ト同一ノ手續ヲナシテ、年度經過後帝國議會ノ承諾ヲ求ムルハ宜シト云フコトハ、會計法第八條ニ規定シタモノデアアル

○山田東次君(百三十七番) 六十四條ノ第二項ノ豫算外ト、六十九條ノ豫算外ハアナタノ御説明デアラフシヤアリマセヌカ

○政府委員(渡邊國武君) ツレハ違フガ如キ疑ガアルカラ、會計法ノ第八條ヲ以テ矢張六十四條ノ第二項ノ手續キ同様、後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコトヲ規定シテ、事實ハ全ク同一ノ手續ヲナシタノデアリマス

○山田東次君(百三十七番) 手續ハ分ツテ居マス、ケレドモ豫算外ト云フ文字ノ性質ハ...

○政府委員(渡邊國武君) 文字ノ性質ハ幾度申シテモ豫算外デアリマス、是程明カナコトニ向ツテ説明ノ致方ハナイ

○加藤政之助君(百三十七番) 政府委員ニ質問ヲ致シマス、唯今渡邊政府委員ノ言ハレマスルニハ、此會計法ノ第八條ニハ「年度經過後帝國議會ニ提出シ其承諾ヲ要ス」トアル、ソレカラ憲法六十四條ノ第二項ニ「後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」トアル、此二ノ承諾ト云フノ意味ハ、字ヲ書キ分ケテ居リマスカラ、自カラ違フノデアアル、ソレ故ニ此六十九條ト六十四條ノ第二項ト連絡シテ居ラヌト云フコトヲ證明スルニ足ラヌト云フコトハ、渡邊政府委員ハ辯明ノ理由トサレタ、然レニ渡邊政府委員ハ過日日本員ガ此岐阜愛知其他二縣ノ土木補助費ノ特別委員會ニ於テ質問ニ及ビタル時ニ、本員ニ向ツテ左様ナ答ハナイ、本員ハ左様ナ議論ガ起ラウト思ヒマスカラ、特別委員會ニ於テ政府委員ニ質問シタノデアアル、然レニ政府委員ハ其當時同シコトデアルト云フコトヲ答ヘタ、ソレハ速記録ニ依ツテ見テモ明カデアアル、一應期讀シテ渡邊政府委員ハ何ヲ言フカ、殆ド前後撞著シテ分ラヌ、ドチラガ

正シイカ辯明シテ貰ハナケレバ我々ハ甚ダ迷惑スル今證據ヲ朗讀シマス

○政府委員(渡邊國武君) 分リマシタ

○加藤政之助君(百三十七番) 「會計法第八條ノ豫備金ヲ以テ支辨シタル時ハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其承諾ヲ求ムルヲ要ス」トアルト云フト、豫備金デモ帝國議會ノ承諾ヲ求メナケレバナラヌ、六十四條ノ第二項ノ後日承諾ヲ求ムルト云フコト會計法ノ第八條ノ議會ノ承諾ヲ求ムルト云フコト同ジコトデアラウト思ヒマスガ、別デアリマスガ、渡邊政府委員ガ之ニ答ヘマシテ「同シコトテス六十四條ノ第二項テハ矢張豫備金カラ出シタルモノモ六十四條第二項ニ帝國議會ノ承諾ヲ求メナケレバナラヌ範圍内デアリマス」ト斯ク答ヘデアリマスガ、是ハ如何

○政府委員(渡邊國武君) 加藤君ハ人ノ言フコトヲ誤解シテ御質疑ニナツテハ甚ダ迷惑スル、本官ノ申シマシタルハ憲法ニハ「豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出」會計法ニハ「豫備金ヲ以テ支辨シタル者」ト云フコトガアル、斯ノ如ク廣狹範圍ヲ異ニシタルコトニ疑惑ヲ生ズル道理ハナイ、何モ違ハタ事ヲ言フコトハナイ、之ニ向ツテ牽強附會ノ質問ヲ發セララル、トハ驚キ入ツタコトデアアル

○加藤政之助君(百三十七番) 是ハ滿場ノ認メル速記録ニ、渡邊政府委員ノ辯明ガアラウカラ、ソレニ依ツテ調べマセウト思ヒマス

○議長(星亨君) 議論ハ議論デスルガ宜シカラウ

○折田兼至君(百五十八番) 事後承認ノ事ニ附イテ政府委員ノ大藏大臣及渡邊次官ノ述べラレタ所ハ、震災ノ狀況ヲ...ニシテ議員ノ感情ニ訴ヘントシタル者ノ如ク考ヘル、ソレデ私ハ此支出ニ附イテ一言聽カナケレバナラヌコトガ生ジテ來タノデアアル、渡邊次官ガ述べラレル、如ク岐阜愛知ノ震災ハ十月ノ二十七日ト覺エテ居ル、然レニ彼緊急勅令ヲ發セラレタノ十一月十二日デアアル、殆ド十餘日間其儘ニ拾遺イテアル、其場合ニ於テ臨時ノ急ヲ救フノ金ハナイカト云フニ、大藏省ニ豫備費ガアツタ、若シ感情ニ訴ヘテ通過セシメントスル程ノ親切ガアルナラバ、何故十餘日間大藏省ニ在ル豫備費ヲ以テ至急臨時ノ支出ヲシナカッタカ、其理由ヲ一辯茲ニ述べラレンコトヲ希望シマス

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 唯今ノ折田君ノ御問ニ答ヘマスガ、已ニ委員長ハモウチツト待タネバナラヌ、アナタハモウチツト早く出サネバナラヌト云フ質疑デアアルガ、アノ震災ハ古今未嘗有ニシテ電信モ絶エタ位故、調べモサウ急ニ行届キマセヌ誠ニ一報ハ一報ヨリ慘狀ガ甚シイト云フ報告ヲ受ケタガ、中ニ初メカラ此ノ如キ者デアツタト見タナラバ、政府ハ暫時モ猶豫セヌノデアアル、然レドモサウ初メカラ精イトコトハ分ラヌ、分ラヌニ無暗ニ出シマシタナラバ、政府ハ粗略ト言ハナケレバナラヌ、故ニ慘狀ノ概略ガ分ツタ所デアニ總理大臣モ其際出張セラレ、實際ヲモ實檢シテ、實ニ仕方ガナイ場合ニナツテ支出シタ、是又政府ハ相當ノ處置ト言ハナケレバナラヌ

○折田兼至君(百五十八番) 今一言質問シタイ、然ラバ十餘日間モ臨時支出ヲ爲シテ災餘ノ民ノ不幸ヲ救ハヌノハ、震災ガ其通りデアルト云フコトヲ知

ラヌノデアアルカ

ラヌノデアアルカ

○政府委員(渡邊國武君) 追々ニ分ツタ故ニ、備荒貯蓄ヲ以テスベキモノハ備荒貯蓄ヲ以テシ、段々相分ツテ來タ故ニ斯ノ如クシタ

○折田兼至君(百五十八番) 然ラバ本員ハ知ラヌ者ト看做シマス

○伊藤大八君(九十七番) 渡邊政府委員ニ一寸御尋シマス、唯今ドナタカニ御答デゴザリマシタガ、此第六十四條ノ二項ノ豫算ノ款項ニ超過シト云フノ項ハ、即チ豫備費ヲ仕拂ツタモノ、承諾ヲ求ムルト云フコトニ之ヲ解釋シ、ソレカラ豫備費以外ノモノヲ仕拂ツタ折ニハ其豫備ノ外ニ生シタル支出ト云フ方ニマア當ルト云フ、斯ウ云フ様ナ意見デアリマスカ

○政府委員(渡邊國武君) サウデアリマセヌ、第六十四條二項ハ豫算外若クハ豫算ノ款項ニ超過シタル支出ノアツタ時ニハ、後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルト云フ制裁デアツテ、豫備費ガアル間ハ宜イ、豫備費ガナイ間ハ惡イトカ云フ制裁ハ一モナイモノデアアル、斯ウ云フコトヲ申シタノデアアル

○伊藤大八君(九十七番) ソレダガ豫備費以外ノモノヲ仕拂ツタ折ニハ、ドコニ當ル、ドノ文ニ當ルカ

○政府委員(渡邊國武君) 豫備費以外豫備費以内、共ニ憲法第六十四條二項ニ依ツテ承諾ヲ求ムルト云フコトハ、先刻總理大臣モ述ベラレタ通り、即チ其手續ヲ爲シテ居ル

○伊藤大八君(九十七番) 豫算ノ款項ニ超過シ、又ハ豫算ノ外ニ生シタルアツテ、是ハ二ツニ區別シナケレバナラヌ、其二ツニ區別シタル場合デアハ豫備費以内モ豫備費以外ノ支出モ豫算外ニ生シタル支出ト云フノデ、承諾ヲ求ムルトデアアルカ、サウデアナイカト云フコトヲ尋ネマス

○政府委員(渡邊國武君) 此通デアリマス、六十四條ノ二項ニ依ツテ承諾ヲ求メマス

○伊藤大八君(九十七番) ドノ方ニ依ルノカ

○政府委員(渡邊國武君) 六十四條ハ二ツハナイ

○伊藤大八君(九十七番) 二ツハナイガ、孰ノ意味ヲ取ツテ居ラル、カ、豫算ノ款項ニ超過シタ方カ、又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出ト云フノカ、ソレヲ聽クノデス

○政府委員(渡邊國武君) 六十四條ノ二項デ豫算外ニ生シタモノナレバ、ソレニ依ツテ求メマス、豫算ノ款項ニ超過シタモノナレバ、ソレニ依ツテ求メマス

○伊藤大八君(九十七番) 款項ノ超過シタモノト云フデアハナイカ、又豫算外ニ生シタモノナレバ豫備費外デアルト云フ以上ハ、此度ノ支出ノ如キハ豫算外ニ生ズルト云フ、又ハ以下ノ所デ承諾ヲ求メルト云フナケレバナラヌ其義ヲ確カメル

○政府委員(渡邊國武君) サウデアハナイ、豫備費ノ中ニモ豫算ノ款項ニ超過シ、所謂補充費ハ豫算ノ不足ヲ補ツタモノモアル、ソレ故ニ豫備費以外ハ豫算外ト云フコトハナイカラ

○伊藤大八君(九十七番) ゴツタ交ゼニスルノカ

○政府委員(渡邊國武君) ゴツタ交ゼデナイト云フコトハ、會計法ヲ讀メバ分ル

○伊藤大八君(九十七番) ソンナラ尙ホ一應伺ヒマスガ、此六十九條ノ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ル爲メニ豫備費ヲ設クヘシトアル、即チ此六

十九條ノ豫算ノ外ト云フノハ……、先程言ハレテ居ルケレドモ、豫算外ニハ豫備費ハナイ筈デアアル、豫備費ト云フノ制限ヲ附ケタノハドウ云フ譯デアアル、六十四條ノ第二項ニ豫算ノ外ニ生シタル支出ハ豫備費以外ノモノガ籠テ居ルト云ハレテ、ソレト六十九條ノ豫算外ニ生シタモノト豫備費以外ノモノ迄這入ツテ居ルト云フコトヲ言ハレテ居ルガ豫備費以外ト云フノハ此下ニクツツイテ居ル

○政府委員(渡邊國武君) 豫備費ヲ設クヘシトアル

○田中正造君(二十一番) 私ハ大臣ニ質問致シマス、答辯ハ誰ガシテモ宜シイ大臣ノ御書キナスツタモノヲ持ツテ御出ニナツテ御演說ニナリマシタガ、六十四條ノ但書ノ所ノ明文ヲ御讀ニナツテ、豫算ノ外ニ生シタル支出アルト云フコトハ、臨時必要ノ場合ガ出來シタ時ニ用フル場合デアアルト云フコトヲ明ニ明言サレテ居ル、——明言デアハナイ、書イタ物ノ通ニ言フタノデアアル、是ハ必ズ速記録ニ其通載ツテ居ルコトハ、——抹殺ガナケレバ確ニアルノデアアル、非常ノ臨時ノ必要ノト云フコトヲ三ツニ御分ケニナツテ、此二項ノ御講釋ヲナスツタデゴザイマスガ、憲法ト云フモノハ政府ハ勝手ニ文字ヲ加ヘ、必要ノ非常ノ臨時ノト云フ文字ヲ加ヘテ解釋スレバ、ソレハドウモモナルノデアアル、併ナガラ如何ニ大臣ト雖モ憲法ヲ即席ニ修正シテ解釋シテ、非常ノ臨時ノ必要ノト云フ三字ヲドコニ揆ムノデアアルカ、何處ニ其意味ガアルカ、明ニ御答辯アラント云フコトヲ、即チ國武君ノ如キ讀ンデ文字ノ如ク御答辯ヲ願ヒマス

○政府委員(渡邊國武君) 御答シマス、先刻大臣ノ申サレマシタノハ憲法六十四條ノ第一項ノ話ヲ先キニシタ考ヘマス、是非トモ歳入歳出ハ帝國議會ノ協贊ヲ求メルノハ本則デアアル、第二項ハ即チ第一項ノ仕事ガ出來ズシテ、豫算ノ款項ニ超過シ、豫算ノ外ニ生シタル支出トシテ、後日ニ帝國議會ノ協贊ヲ求メルト云フコトハ、臨時非常ノ事デナケレバ應用シナイ、常ノ事ナレバ六十四條一項ニ依ツテ通常ノ協贊ヲ經テ行ク、是ガ豫算ノ本則デアアル、併ナガラ已ムコトヲ得ナイカラ、臨時非常ノ場合ニハ二項ヲ應用スルト云フコトヲ申サレタノデアアラウト思ヒマス、一寸序ニ一言致シマス、先刻委員長ノ報告中ニ斯ノ如キ解釋ニ於テ六十四條ヲ解スルトキハ、何千万圓何億萬圓デモ支出スルト云フヤウナコトヲ以テ御報告ニナツタヤウデアリマスガ、是ハ豫算委員會ニ於テモ精細ニ辯シタ積デゴザイマスガ、決シテサウ云フコトハ出來來ナイ、ソレモ憲法六十二條ニ新ニ租稅ヲ起シ、稅率ヲ變更スルトキハ帝國議會ノ協贊ヲ求メ、ソレカラ又豫算外國庫ノ負擔ヲナルヘキ契約ヲ爲スハ、帝國議會ノ協贊ヲ求メマス、故ニ財源ガナカクシタ時ニハ是非トモ此歲入上ノ關係ニ制裁セラレテ、六十四條ノ二項ガ如何ニ他ニ制限ナシト雖モ無制限ニ何處迄モ行クト云フコトハ出來ナイ、若シ其財源ガナカクシタ時コソ、憲法第七十一條否七十七條ソレニ依ルノ外ハナイデアリマスカラ、六十四條ノ解釋スノ如キ故ニ、何千万圓モ支出スルト云フノハ、全ク間違デアアル

○田中正造君(二十一番) 唯今ノ政府委員ノ私ニ對スル答辯ハ何カドウモ聲ガ細クナツテ聽取レナイ……、今一應更ニ御述ニナルコトヲ希望致シマス、六十四條ノ總理大臣ニ質問シタ答辯ヲ明ニ……

○政府委員(渡邊國武君) モウ大抵明ナ積デアリマスガ、若シ斯ウ云フコトヲ

御考ニナツテ居リハセヌカ、六十四條第二項ハ臨時非常ノ場合ニ用フルト云フマ、臨時非常ノ場合ノ應用ノ事ヲ憲法六十四條ニ直チニ追加シタト云フヤウナ御考デアルカ知リマセヌガ、サウデアアリマセヌ、六十四條ヲ應用スル場合ハ、臨時非常又ハ必要ノ場合ニ限ルト云フコトヲ言ハレタノデ、決シテ欽定憲法ヲ大臣ガ追加スルコトハ出來ヌト云フコトハ、諸君モ御承知ノ通デア

○田中正造君(二十一番) 唯今ノ答辯ハ大臣ノ演説ト、私ノ質問ト渡邊君ノ答辯ト三色ニナツテ居リマスカラ、長クナリマスカラ止メテ置キマス、間違ニモ九ノ話ノ土臺ガ違ッテ居ル、之ヲ問フノハ面倒デアリマスカラ、是デ措キマス

○議長(星亨君) 諸君ニ御注意シマスガ、孰レ政府ト諸君ト議論ガ違ッテ居ル、質問デ議論ヲ闘ハシテ自分ノ論ト同シカラシムルト云フコトハ、餘程六ケ敷イコトデアリマセウカラ、自分ノ解釋ニ任セテ質問ナシニヤツテハ如何デゴザイマセウ

○中野武警君(百九十一番) 私ハ憲法上ノ事ヲ御尋スルノデハナイ、先刻委員長ノ報告ノ中ニ此實際ノ事ニ就イテハ、政府ニ於テ再ビ實地ヲ調査シテ精確ナル明ナル御答ヲシタイト云フコトヲ當局大臣ハ議長ニ告ゲ、而シテ議長ガ之ヲ委員長ニ告ゲ報告スルノヲ、ツレガタメテ待ッテ居ッタト云フコトガアル、果シテ内閣大臣ハ爰ニ出ラレテ居リマスカラ、内務大臣ガ此事柄ニ就イテ深く心配セラレテ、中央政府ヨリ特派吏ヲ派出シテ、此實際仕拂ノ不當デアル、不都合デアルト云フ事柄ニ就イテ調査シテ、而シテ此議會ニ明解ヲ與ヘルト云フ事柄ハ、閣議ニ於テ評議ヲセラレタト、議長ニ告ゲラレタコトデアルカ、又ハ副島内務大臣ト一人デ言フコトデアルカ、而シテ副島内務大臣ハ一向約ヲ履ンデ意見ヲ言ハレナイ、此事柄ハ尤モ幽靈ノ如ク消エテ仕舞フタガ、其源ハドウデアルカ、此事タルヤ大ニ私共ノ心得テ置カヌナラヌコトデアアルカラ、幸イ内閣大臣ハ出席セラレテ居リマスカラ、此事ヲ承リヌ

(農商務大臣河野敏鎌君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(河野敏鎌君) 唯今ノ質問ニ御答ヲ致シマス、斯ノ如キコトハ答辯ノ限デゴザイマセヌ、決シテ答辯ハ致シマセヌデゴザイマス、左様御心得ヲ……

○河島醇君(百六十八番) 何故ニ答辯ヲシナイカ、私モ其委員中ノ一人デゴザイマスガ、何故ニ答辯ヲセラレナイ

○農商務大臣(河野敏鎌君) 政府カラ通知ヲ致シマシテゴザイマス

○河島醇君(百六十八番) 然ラバ宜シウゴザイマス

○中野武警君(百九十一番) 政府ハ答辯ノ限デ無イト云フノハ、私ハ政府委員ガ十人寄ラウガ百人寄ラウガ、其百人ガ悉ク口ヲ揃ヘテ言ハナケレバ政府ヲ信ズルコトハ出來ナイトハ思ハナイ、政府ノ事務官タル内閣員ノ一人ガ言フコトハ、取モ直サズ内閣全體ガ言フコトノ責任ヲ持ッテ居ルモノト思ッテ居ッタ、然ルヲ内務大臣タル副島君ガ言フコトハ無ニスルノデアリマスカ、然ラバ我々モ政府員タル事務官タル人ガ言フコトハ、揃フテ言フテ吳レナケレバ信ズルコトハ出來ヌ、然ラバ内務大臣ノ言フコトハ虚言デアッタカ、無効デアッタカ、外ノ人ハ責任ヲ持タナイノデアアラウカト云フコ

トヲ聽キタイ、責任ヲ持タヌト仰シヤレバ宜シウゴザイマス

○立川雲平君(二百六十七番) 私ハ總理大臣ニ承リタイノデアアルガ、別段總理デナクテモ茲ニ内閣諸公ガ居ラル、カラドナタデモ宜シイガ、總理大臣ハ演説ノ末尾ニ決スル所ガアルト云フコトヲ言ハレハ決スル所ガアルト云ハレルノハ、松方總理大臣ノ例デゴザイマス、現ニ干渉問題ノ決議案ノ時ニ決スル所アリト云ツテ居ラレタガ、我々ハ未ダ決スルノ事實ヲ見マセヌ、立憲國ノ大臣トシテ議場ニ向ッテ、決スル所アリト云ハレタ所デ、何カ決スル所ガ分ラヌ、私ハ信ズル、今日此問題タルヤ若シ議場ガ之ヲ否認シマシタナラバ、内閣諸公ハ責ヲ引イテ辭職ヲ爲サルノデアアルカ、其決スル所ト云フノハ何デゴザイマスカ、承リタイ

○福田久松君(二百八十四番) 私ハ質問ヲセズニ意見ヲ述ベル時ニ意見ヲ述ベロト云フコトデアリマスカ、通告ノ順序ガアツテ其内ニ緊急動議ガ出テ討論ガ終結ニナルト質問ガ出來ナクナルカラ、唯今已ムヲ得ズ質問致シマスガ、今渡邊政府委員ハ申サレノハ、委員會ノ報告即チ豫算ニカ、ツテ居ラナイ支出ガ出來ルトスレバ、税源ガ無クツテ一萬圓モ二萬圓モ千萬圓モ出來ルデハナイカ、財源ガアルニ從ツテヤルト斯ウ云フ解釋デアルガ、今日ノ様ニ金ノ無イ時ハワレデ宜シイ、金ノ無イ時ハ宜シイガ、併ナガラ隨分將來サウ云フコトデ我大藏省ニ幾萬圓幾百萬圓幾億萬圓ト云フ或ハ剩餘金ガ出來ルカモ知レナイ、サウ云フ時今ノ様ニ解釋デ行ッタナラバ、政府ハ財源ガアルカラ使フト云ヘバ、矢張幾億萬圓デモアル丈ハ其解釋通ニ出來ルト云フ解釋ヲシナケレバナラナイ、金ノ無イ時ハ幾ラデモ構ハヌ、ツレデ宜イカ、金ガアル時ハ無間ニサウ云フコトヲサレル憂ガアルト思フ、是ハ一寸ノ間ニ合セノ御答辯デアッタト思フ、一億萬圓デモ二億萬圓デモ金サヘアレバ使フトガ出來ルト云フノカ、ツレ丈ハ一應確メテ置カナケレバナラナイ

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 國庫ノ財政ハ左様ニ一億萬圓モ二億萬圓モ積ンデ置ク必要ハナイノデゴザイマス、剩餘金ガアレバツレヲ以テ協賛ヲ求メル、一億萬圓モ二億萬圓モ積ンデ置クコトハ財政ノ決シテ爲サイルコトデアアルカラ、御安心ニナツテ宜シイト思ヒマス

○石井定彦君(二百二十八番) 政府委員ニ御尋シヤウト思ヒマス、政府委員ニ御尋致サウト思ッテ先刻來度々起立ヲ致シタガ、不幸ニシテ發言ノ權ヲ得マセナカッタガ、漸ク發言權ヲ得マシタ、依ッテ御尋ニ及ビマス、敢テ彼是其多ク御尋ヲ致シマスノデアリマセヌガ、政府委員ニ他ノ議員ヨリ段々質問ヲ致シマシタ所ニ對シマシテ、御答ニナツタ所ハ豫テ承知致シテ居リマス、其御答ノ所デ豫算ノ外ニ生シタルト云フ所ノ外ニト、憲法第六十四條第六十七條會計法ノ第七條第二項此事タルヤ如何ニモ明瞭ナル御答ニナツテ居ラナイヤウニ私共ハ考ヘテ居リマス、其外ノ字タルヤ最モ明瞭ニ御答ガ無ケレバ本案ヲ議スルニ甚ダ困難ヲ生ズルコトデアリマス、抑、此外ト云フ字ニ於キマシテ總テ豫算ト云フ字ガ頭ニ冠ッテ居ル、此豫算ノ外ト云フ字ノハ字面ノ通、豫算ノ外ト云フ御答デ、一向豫算ノ外ト云フコトハ分リマセヌ、此豫算タルモノニ於テハ豫備費ト云フモノハ這入ッテ居ルカ、這入ッテ居ラナイカト云フコトヲ本員ガ御尋シタ限ニ於テハ、此豫算ノ外ト云フコトハハッキ

ラト分ルデアラウト思ヒマス、故ニ此豫備費ト云フモノハ豫算ノ中ニ含蓄シ

ラト分ルデアラウト思ヒマス、故ニ此豫備費ト云フモノハ豫算ノ中ニ含蓄シ

ラト分ルデアラウト思ヒマス、故ニ此豫備費ト云フモノハ豫算ノ中ニ含蓄シ

○波多野傳三郎君(百十八番) 百十八番ハ唯今議長カラ副島内務大臣云々ノ事ニ付イテ報告サレタガ、此席ニ國務大臣政府委員モ夥多列席シテ居ラレテ、而シテ沈黙シテ居ラル、以上ハ、其手續ハ今議長ヨリ報告セラレタル通デアルト、國務大臣政府委員ガ認メテ居ルヤ否ヤト云フコトヲ後日ノタメ、一々念ノタメニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

(無用々々ト呼ブ者アリ)

○議長(星亨君) ツレハ無用ト考ヘマス、ツレハ副島大臣ガ居ラナケリヤ仕方ガナイト考ヘル、ツレハ許シマセヌ

○石田貫之助君(百七十六番) 私ハ憲法ノ講義ヲ承ルノデハゴザイマセヌガ、唯今政府委員ナリ及總理大臣ガ言ハレマシタコトニ就キマシテ質問致シタイ、其事ハ外デモアリマセヌガ、大體此緊急勅令ヲ發セラレマシタノハ向フ十日間テ議事ガ開カレルノニ、ツレヲ待ツコトカ出来ナイト云フコトカ出来ナイト云フテ、該縣知事ノ請求及之ヲ認メテ政府ガ支出シタ金ハ十萬圓、兩縣ニ於テ二十萬圓デアアル、其中デ五萬幾千圓ト云フモノハ、明治二十五年ノ五月七日ニ仕拂ツタト云フコトハ私ハ開イテ居リマスガ、果シテ是ハ間違ヒマセヌカ、此一番緊要ナル十萬圓ノ中デ、我ガ昨年ノ委員ニ於テ十五日間ノ期限内ニ於テ取調中ニ、政府ハ之ヲ國家ノ一大事ヲ委任ニ付スルト云ツテ國會ヲ解散シタ、其十萬圓ノ金ハ二十五年ノ五月七日ニ五萬何千圓仕拂ニナツテ居ルト云フコトハ違ヒアリマセヌガ、ドウカツレヲ承リタイ

(政府委員内務次官白根專一君演壇ニ登ル)

○政府委員(白根專一君) 御答致シマス、多言ハ要ラヌト云フコトデアリマスルガ、少シ述ベマセヌト御分リニナリマスモト思ヒマス……

○石田貫之助君(百七十六番) 其事實ガ間違ツテ居ルカ居ラスカト云フ次デアリ、五萬幾千圓ハ二十五年ノ五月七日ニ支出シタト云フコトハ、サウデアハナイナラナイト云フコトハ宜イノデアアル

○政府委員(白根專一君) ツレデハ唯一點丈ト云フコトデアゴザイマスレバ、其一點ヲ御答致シテ置イテ、後ノ論辯ハ又時機ノ然ルベキ所ニ向ツテ發言ヲ致シマセウ、此五萬五千圓ト云フモノハ、五月九日ニ於テ拂ツタノデアリマスル

○齋藤珪次君(二百七十三番) 白根政府委員ニ一言御聽キ申シタウゴザイマシガ、即チ五萬五千九百幾ラハ五月九日ニ仕拂ツタ其仕拂ツタト云フモノハ今日實際各罹災者即チ全潰レ、或ハ燒ケタ者等ノ其本人ノ手ニ渡シテアルヤ否ヤヲ確メタイ、今日實際渡シテアルヤ否ヤヲ確メテ置キタイ

(政府委員内務次官白根專一君演壇ニ登ル)

○政府委員(白根專一君) 唯今ノ齋藤君ノ御問ニ御答致シマス、是ハ町村ヘ被害ノ多少ニ依ツテ分配ヲ致シタ譯デアリマスルカラ、其町村ニハ渡ツテ居リマスデゴザイマス、併シ其先キノコトハ本官此處デ分リマセヌ

○齋藤珪次君(二百七十三番) 尙ホ一應伺ヒマスガ、今日は銀行等ニ未ダ預ケテ居ルト云フコトハ、政府ニ於テ認メマセヌカ、之ヲ伺ヒタイ

○政府委員(白根專一君) 銀行ニ預ケタト云フコトハ一切存シマセヌ

○鈴木昌司君(九十二番) 先刻河野大臣ダト思ヒマシタガ、御答ニナツタコトニ就イテモウ一應伺ヒマスガ、議長ノ……セラレタコトヲ申サレマシタ

ガ、其時ニハ副島内務大臣後藤大臣ガ列席ノ上デ、今日總理大臣ガ御會ヒ申ス答デアツタガト云フコトマデアツテ……、斯ノ如ク議長……衆議院議長ヲ内閣ニ呼ビ、然モ副島大臣一人ニアラズシテ今一人後藤大臣ガソコニ列席シテ、總理大臣ガ會フ答デアルケレドモト云フコトマデアモ政府委員ハ一向知ラナイ、政府委員ノ一人ガ申サヌト云フノハ……私ハ之ヲ確メテ置キタイ、先刻河野大臣ノ答辯ガアリマシタカラ、茲ニ確メテ置キタイ、——御答ニナリマセヌカ、御答ガナイナラバ宜イ

○中村彌六君(二百二十九番) 私モ一言質問ヲ致シテ置カナケレバナラヌコトガゴザイマス、此實際震災地ニ人ヲ派遣スルト云フコトハ總テノ工事仕拂等ニ疑等アルカラシテ、尙ホ念ニ念ヲ入レテ之ヲ調査スルト云フ政府ノ意デアザリマシタガ、果シテ左様ナコトデアゴザイマスレバ、過日來白根次官ガ此處デ縷々言ツタコトハ皆嘘ノコトヲ述ベタト思ツテ宜イノデアアル自若モ白根次官ガ此處デ喋々述ベラレタコトガ果シテ實際ノコトデアルモノナラバ、今更委員會ヲ開キ日ヲ切ツタルヤウナコトニ對シテ、人ヲ態々派遣スルト云フヤウナコトハ必要ナコトデアゴザイマセウ、シテ見ルト政府自身デハ一方ニハ白根次官ガ來テ其事實ヲ述ベテ居ルガ、實際ハ大ニ自ラモ信ジラレナイ事實ガ澤山アルイ思ヒマス、故ニ其邊ハ政府ガ人ヲ派遣スルト云フコトヲ議長ニ申サレタノハドウ云フ故テ派遣スルト云フコトヲ申サレタカ、一應心得ノタメニ伺ツテ置キタイ、ツレニ依ツテ白根次官ガ長ト饒舌タコトハ嘘八百ト云フコトニナルノデアアル

○田中正造君(三十一番) 此間ニ中村君ノ御質問ニ追加シテ(笑聲起ル)私モ序ニ白根次官ニ——内務次官ニ質問スル、ツレデ此内務次官ニ質問スルト申シマシタナラバ、諸君ハ是ハ餘程妙ナコト、思フダラウト云フ御考モアリマセウガ内務次官ノ答辯ハ實ニ悉ク三文ノ價モナイ答辯ヲスルノデアアル、三文ノ價ノナイ答辯ヲスル者ニ向ツテ尙ホ質問スルト云フナラバ、分ラナイ者ニ向ツテ何ヲ質問スルト云フ御方モアリマセウガ、仕方ガナイ、此處ニ居ル中ハ分ラナイ人間ヲ相手ニシテ質問アリナケレバナラナイ、何ガ分ラヌト云フト、過日私ガ質問シタ時ニ——私ガ質問スル前ニ、齋藤君ノ質問ニ對シテ大層長イ答辯ヲナサレタ、其後ニ私ガ米相場ノ事ヲ聞ケバ是ハ答辯ヲサレナイノデアアル、何ンデゴザイマス、不親切極マル話デアアル、夫ノ震災地ノ有様ハ云々ト言ツテ涙ヲコボス真似ヲシナガラ、——演説ヲシナガラ、其時ノ米相場ガ分ラナイト云フコトハ何處ニアル、此一事ヲ以テモ實ニ不親切極マル話デアアル、又此……ノ支出ト云フモノモ皆是ハ偽デアアル、皆此詐欺デアマルカ、モトモ以テ或ハ欺カレテ居ルノデアアルカ、或ハ承知シテ居ルノデアアルカ、既ニ米相場ヲ知ラザルノミナラス、此事業即チ橋ヲ架ケル道普請ヲシタト云フコトニ就イテ更ニ目論見書ト云フモノガナイノデアアル、未ダ地方カラ來ナイト云フコトヲ陳ベテ居ル位デアアル、目論見書モナイ、且ツ又米相場ヲ知ラヌト云フ位デ、何ラ土臺トシテ夫ノ金錢ヲ使ヒ拂ヒヨシタノデアアルカ、孰レカラ見テモ不親切デアアル、此不親切ト且ツ其實地ニ暗イト云フコトヲ以テ、此答辯ト云フモノハ假令數方言ヲ贅スト雖モ、三文ノ價ナイノミナラズ、皆偽ヲ以テ此議場ニ陳述致シタモノデアアル、斯ク質問サレルノガ殘念デアラナラバ、米相場ヲ知ラナイノハドウ云フ譯デアアルト云フコトヲ、此議場ニ於テ明瞭ニ御答ニナルガ宜イ

〔政府委員内務次官白根專一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白根專一君) 本官ガ前後三時間半モ兩度ニ於キマシテ、齋藤君其外兩君ノ質問ニ對スル説明ヲ致シタル所ガ、何カ副島大臣ガドウ言ハレタトカ、斯ウ言ハレタトカ云フコトヲ以テ、本官ノ説明ヲ以テ嘘八百デアル、或ハ米相場ヲ知ラナイカラ三文ノ直打ガナイ、(此時田中正造君勿論ト大呼セリ)斯ウ云フコトハ本官ハ信ジテ居ル所ヲ以テ茲ニ明言ヲ致シマス、本官ハ夫ノ説明ヲ致シマスルニ附キマシテハ、殆ド數日ノ徹夜ヲ致シタト同様ニ詳細ニ調ベテ、サウシテ本官ノ信スル所ノ説明ヲ致シタモノデアリマス、又政府委員如何ニ多能多技ナリト雖モ、岐卓愛知ト申シマシテモ米相場ト申シマシテ所ガ、米相場ハ各所ニ立ッテ居ル名古屋ノ米ガ一石六圓スルナラバ、三河ノ米ハ幾ラスルカ、ソレヲ御覽ニナリタイト云フコトナラバ、相場表ヲ新聞ヲ、御覽ニナレバ明瞭デアアル、大概是位ノ事ハ田中君モドウカ御分リニナル様ニシタイ、白根專一ガ分ラナイイカ決シテ分ラナイ人デナイ、自身ガ信ジテ居リマス

○田中正造君(三十一番) 議長(此時無用ヤキト呼ブ者アリ) 黙レ——吏黨腐レ議員(無用ヤキト呼ブ者アリ) 議場騒然タリ

○阿部井磐根君(百七十七番) 本員ハ質問ヲ致スノデアアリマセヌ、議會ノ體面ニ就イテ一言ヲ致シタウゴザリマス、本會ノ議ハ靜肅嚴正ヲ缺クコトハ間々アリマスル、併シ大臣其人ヨリ皆サンガ逆上ト云フ一言ヲ掛ケラレマシタハ議會ノ體面上ニ於テ其分ニハ置ケマセヌ、併ナガラ君子モ失言ト云フコトガアリマス、失言トアラバ後ハ追ヒマセヌ、實ニ失言ニアラズ、真ニ然ルコトナラバ本員等大ニ覺悟スル所アリマス、敢テ質問致シマス

○栗谷品三君(百九十三番) 本員ハ唯今百七十七番ヨリ河野大臣ニ質問ト云フコトガアリマシタガ、本員ノ如キハ隨分逆上シテ居リマス、アツカマシウ分ラヌコトヲ六十四條ヲ先刻ヨリ長ト聞イテ居ル本員ノ如キハ、實ニ逆上シテ居リマスデゴザリマス、隨分逆上セテ居イト云フテ逆上シテ居リマスガ、年ニモ似合ハナイ百七十七番ハ妙ナコトヲ言ハレマセヌガ、本員ハ逆上シテ居マ

○安部井磐根君(百七十七番) 河野大臣ニ質問ヲ致シマス、(此時逆上議員ヲ退場セシムベシト呼ブ者アリ) 真ニ我々議員ヲ逆上ト見做サレタノデアリマスカ、又失言デアアルカ、此ニツテ承リタイ(贊成ヤキト呼ブ者アリ)

○村松龜一郎君(百十五番) ドウシテモ大臣ハ此説明ヲナサラネバナラヌダラウト考ヘマス凡ソ日本帝國ニ於ケル立法部ニ於テ言葉ヲ使フニ政府ノ大臣ハ申スニ及バズ、總テ慎重ナル言葉ヲ使フテ最モ信切ニ事ヲ議セネバナラヌダラウト思フ、然ルニ苟モ議員ニ向ッテ冷評ヲ下シテ逆上シタナンゾト云フ口上ヲ用ヒ若クハ議員ノ方デモ默レ馬鹿野郎ト云フガ如キ車夫馬丁ノ如キ言葉ヲ使フニ至ッテハ、實ニ慨嘆ニ堪ヘヌ譯デアアル、依ッテ私ハ之ヲ責ムルニ先ヅ政府ヨリスルノデアアル、即チ政府ノ大臣我々陛下ノ信任セラレ

下ノ御信任ヲ受ケテラレタル所ノ大臣ガ此陛下ノ御信任ニ向ッテ此議員ニ向ッテ、斯ノ如キ失言ヲセラレマシタニ至ッテハ、ドウシテモ大臣ニ於テ其理由ヲ辯明セラレ辯明シ能ハズンバ、一言茲ニ謝サレンコトハ、實ニ國家ノためニ内閣大臣ニ即チ河野大臣ニ請求スルノデアアル

○早川龍介君(二十七番) 唯今何番デゴザイマシタカ、先ヅ之ヲスルニハ向

フカラスルガイ、ト云フ様ナコトハ頗ル其當ヲ得ナイ、人ヲ責ムルニ己レ慎ンデ始テワレ人間ノ秩序ガ定マルモノデアラウ、コチラデ云フノハ暴言勝手次第、出鱈目放題ヲ言フテモ一向構ハズ、之ニ向ッテ一言デモシタラ慎ムガイ、ト云フ様ナコトハ、サウ云フコトヲスルヨリハ是迄往々馬鹿野郎トカ何野郎トカ云フ言葉ハ屢々聞イテ居ル、ソレ等ヲ速記録ヲ見テ一々答メレバ際限モナイコトデアラウ、故ニ後來必ズ雙方共ニ斯ノ如キコトハ議場ノ體面ニ關ハルカラスノ如キコトハ必ズシモナカラムコトヲ希望スルト云フ注意位ニ止メテ置イタナラバ宜カラウト考ヘル、然ラサレバ際限ガナイ、己ヲ捨テテ人ヲ責ムルト云フコトハ譯ノ分ラヌコトデアアル

○議長(星亨君) 諸君ニ注意シマス、議長ハ斯ウ思フデス、河野大臣ノ言葉ハ幾分カ穩當ナラズト考ヘル所ガアリマス、併シ今日ノ大ナル問題ニ就イテハ隨分雙方ガ論ノ熱スル所ニ至ッテハ隨分論ヲシナケレバナラヌ所ガアルカラ、其中ニ穩當ナラザル所ガアツタ所ガ、ソレヲ以テ階ク責ムルト云フコトハ餘リ面白クナイガ、何シロ議長ハ穩ナラザル言葉ト云フコトハ認メテ居リマス、併ナガラ之ヲモ尙ホ河野大臣ガ穩ナラザルト云フ御説明ナラバ格

格、穩ナラザルモノト認メテワレ宜シイ、雙方色々ノ事ガアルノダカラソレデ宜イト云ヘバ、諸君ハ議事ニ進行ナスツタラ宜シカラウ

(宜シイ宜シイノ聲起ル)

○安部井磐根君(百七十七番) 今一言御差許ヲ請ヒマス、本員等モ即チ議員ノ一人デ、議員自ラ竊ニ大ニ恥ル所ガアリマス、其體裁ノ儀ニ就イテハ併ナガラ議院ニ在ル大臣ニシテ、此ノ如キ語言ヲ發スルコトガ其儘ニナリマシタモノナラバ、長ク速記録ノ汚點トナル、決シテ其分ニハナリマセヌ、且ツ又議長モ穩ナラズト御聞ナサレタナラバ、何シテ御差押ナサラヌ、大臣ノ語ト雖モ御答メニナスト宜シイ

○議長(星亨君) 差押ヘルトカ押ヘヌト云フコトハ議長ノ權内デアアル、併ナガラ議論ノ熱スル時ニハ隨分言葉ノ激ニ到ルノハ、免レ得ナイ話デアアル

○安部井磐根君(百七十七番) 退激ニ涉ッテ發シタノハ即チ失言デアアル

○議長(星亨君) 穩ナラズト云フ丈デ承知ガ出來ナケレバ、諸君ハ何トデモスルガ宜シイ、議長ハ國家ノためニ思フニ、サウ云フコトヲ以テ議事ノ進行ヲ妨ゲルノハ餘リ好マシカラヌト思フカラ、ソレハ諸君ニ注意シマス、河野大臣モ自ラ言ッタコトヲ以テ是ナリ、チットモ間違ナイトハ思ハレナイコトデアリマセウカラ、コハラデ諸君モ國家ノためニ議事ノ進行ヲナスツタラ宜カラウト思フ

○安部井磐根君(百七十七番) 議長ハ仲裁ノ様ナ言葉ガアリマスガ、是ハ失言デアアルカ、直ニ言ハレタノカト云フコトハ河野大臣ニ敢テ問フ所デアリマス、問ハレテ答ヘザルコトヤアル、是非トモ伺ヒタイ

(答ヘベシ答ヘベシト呼ブ者アリ)

○加藤淳造君(二百四十五番) 百七十七番ニ贊成ヲ致シマス、速ニ御答ヲ願ヒマス

○鈴木萬次郎君(三十八番) 此事ハ議院カラ請求シテ失言デアルト云フコトヲ河野大臣ニ求ムルト云フコトデゴザイマセイデモ、咄嗟ノ間ニ河野大臣ガ發シタ所ノ言デゴザリマスカラ、自身ニ失言デアルト云フコトハ了承シテ居ラル、コトデアラウト思フ、我々ガ茲ニ決議或ハ贊成ヲ求メテ請求ヲセ

モ、大臣自ラガ失言タト云フコトヲ言ハレラウト思ヒマスカラ、我々ハ言ハレルノヲ待ツテ居リマス

○工藤行幹君(百六十六番) 此事ニ付イテ本員ハ質問ヲシタイ

○議長(星亨君) 此事ハモウ私ハ許サヌ、ソレデ諸君ハサウ云フコトガアルナラ、政府ニ向ツテ質問ニナルノガ宜シイ

○工藤行幹君(百六十六番) 議場ニ向ツテ先決問題トシテ一ツ出シタイ、(モウ宜シミト呼ブ者アリ) 本員ノ事カラ起ツタノデアアルカラ、私ガ一言致シタイ

○議長(星亨君) 此議事ガ終ツタ所デ、或ハ明日デモ宜シイカラ諸君ガ議場ノ神聖ヲ破ツタト云フナラバ、即チ諸君ハ質問ナリ其他何ナリシテ建言ナリヲ以テヤツタラ宜シイ、今日ハ是デ議事ヲ進行スル方ガ宜シイ

(此時發言ヲ求ムル者多ク議場騒然)

○議長(星亨君) 議長ガ宣告シタ以上ハ許サヌ

○工藤行幹君(百六十六番) ソレハ御尤デアアリマスガ、默シテハ居ラレマセヌカラ、此事ニ付イテ一言……

○議長(星亨君) 此事ニ付イテハ許サヌ百七十一番

○工藤行幹君(百六十六番) 唯今本員ノ事カラ、此事ガ起リマシタカラ……

○議長(星亨君) 他ノ問題ナラ此順序ニ依リ……

○工藤行幹君(百六十六番) 唯今百七十七番ノ事ニ付イテ私ハ述べタイノデアリマス

○議長(星亨君) 其事ハイカヌ、モウイカヌ

○工藤行幹君(百六十六番) イカヌト言ツテモ此事ガ起ツタ以上ハ發言ヲ求ムルニ何ノ差支ガアル、御許ヲ希望致シマス、——暫時 スカラドウカ許サレンコトヲ希望致シマス、(角利助君演壇ニ登ル)

○角利助君(百七十一番) 今日ノ議事ニ入ル前ニ當リマシテ、一ツノ先決問題トシテ私ガ緊急動議ヲ提出致シマス、ソレハ本問題ハ憲法ノ疑義ヨリ生シテ來ツテ大ナル關係ヲ持ツテ居リマス、此憲法ノ意義タルヤ必ズ一ツアツテ二ツナイモノデアラウト思ヒマス、政府ガ憲法六十四條ニ依ツテ支出セラレ得ルモノト解釋シ、又一方ノ議論デハ左様ノ意味ハナイト云フ議論ヲ有シテ居リマス、必ズヤ憲法ノ意義ナルモノハ斯ル併立スベキカラ、然ルニ政府ハ憲法ハナイス、一ツはナレバ必ズ一ツ非ナルニ相違ゴザイマス、然ルニ政府ハ憲法六十四條ニ依ツテ金額ヲ仕拂得ルモノト見、又其意見カラシテ六十四條第二項ノ末文ニ依ツテ本會ニ向ツテ事後承諾ヲ求ムル議案ヲ出シテゴザイマス、又今日議事ガ進ミツ、アル、此議案ヲ六十四條ノ效力ニ依ツテ我々ガ受取ツテ議事ノゴザイマス、然ル時ニハ此承諾ヲスルト云フコトモ承諾ヲセヌト云フコトモ、共ニ六十四條ノ效力ヨリ今日我々ノ手ニ受取ツテアル所デアリマス、然ル故ニ若シ茲ニ果シテ六十四條ニ依ルベカラザルモノデアルト、委員長ノ報告ノ如ク憲法ノ精神ニ背イタモノデアルト云フ議論カラ考ヘマスト、到底此議案ハ議スベキモノデアナイト思ヒマス、何故ナレバ此事柄ハ憲法

ニ背イタモノト見ルナラバ、六十四條ニ依ツテ政府ガ求ムルノガ間違デア

ル、又六十四條ニ依ツテ出シタナラバ、ソレヲ出シテ來タ、議案ヲ本會デ議

スルノガ間違ツテ居ル、間違ツテ居ルノミナラズ、其事柄ニ向ツテ承諾トカ

不承諾ト云フコトハ、共ニ是レ 大本ノ六十四條ニ依ツテ來ル筋道デアリマ

ス、然ル故ニ此議案ノ承諾不承諾トノ事ハ、決議スル前ニ當ツテ、果シテ此

事柄ハ政府ガ支出シタノハ憲法六十四條ニ違反デアアルカ否ト云フコトヲ決

スルノガ、第一番ノ先決問題デアラウト思ヒマス、ソレデ果シテ六十四條ノ違

反ノ中ニアルモノト見極メガ附イタナラバ、然ル 後六十四條ニ依ツテ政府ガ提

出シタナラバ、サナクシテ大本タル憲法ニ背イタ處置ヲ爲シ、憲法ニ背イタ議案ヲ

出シタナラバ、此議會ハ憲法ニ背イテ議スルト云フコトハ、私ノ取ラヌ所デ

此問題ニ入ルノ前ニ於キマシテ、憲法ノ上カラ果シテ違反デアアルカ違反デナ

イカト云フコトヲ決シタナラバ、總テノ議論ト云フモノハ利刀ヲ以テ竹ヲ割

クカ如クニ決スルデアラウト思ヒマス、唯爰ニ於キマシテ委員長ノ報告ノ如

キ趣意デ決シタナラバ、憲法ノ精神ニ背イテ居ルカラ、不承諾ヲシタト云フ

ノデアアルカ或ハ憲法ノ點ハ少クモ政略上即チ仕拂上ノ都合デ不承諾ト云フ

トニナツタト云フコトノ差別ガ別リマセヌ、此事タルヤ今日起ツタ議論デアリ

マスケレドモ、又後來何時ノ年ニカスル場合ニ遭遇セントモ圖ラレマセヌ、

然ル以上ハ今日飽ク迄憲法ノ精神ヲ確ムルノ方法ヲ執ルト云フコトハ、今日

ノ議論ノミナラス後來ニモ最モ必要ナコトデアラウト考ヘマスト、故ニ私ハ

本問題ノ承諾不承諾ヲ議スル以前ニ當ツテ、憲法問題ヲ決スルト云フコトヲ

必要ト認メマス、一言意見ヲ述べマス

(誤解々々贊成々々ト呼ブ者アリ)

○牛場卓造君(二百七十四番) 一寸質問致シマス、唯今ノ御説ニ依リマスル

ト云フト、此問題ハ憲法ニ果シテ適合シテ居ルヤ否ヤ、若シ憲法ニ適合シテ

居ラヌナレバ此問題ハ議スベキモノデアナイ、ソレデ先ヅ第一番ニ憲法ニ適

ルヤ否ヤ極メナクレバナラヌ、斯ウ云フコトデアリマスガ、今日此議シ

テ居ルコトハ何ノタメデアリマスカ、此事ガ果シテ憲法ニ適フテ居ルヤ否

ヤト云フコトニ至ツテ、此問題ハ承諾ヲ與ヘルカ與ヘザルカト云フコトヲ決

スルデアラウト思ヒマス、其邊ガ少シ分リ兼ネマシタガ、其前ニ此憲法ノ事

ヲ先ヅ極メテ掛ルト云フ必要ハナイ、此問題ハ畢竟ドウカト云ヘバ、諸君モ

御同意ノ事デアラウト云フ必要ハナイ、此問題ハ畢竟ドウカト云ヘバ、諸君モ

テ國民ニ對シテ斯ノ如キ事變ニ當ツテハ、此金ヲ出サレタノハ適當デアアル

決シテ不適當デアアルト云フコトハ恐ラクゴザイマス、唯憲法ニ適スルヤ

○牛場卓造君(二百七十四番) 分リマシタ、ソレデ矢張一緒ニナリマスデゴザイマス……

○議長(星亨君) ヲレデ宜シイ、宜シイ、是ハ此賛成ガアリマス、ケレドモ議長ハ先決問題ト認メナイ、若シ之ヲ先決問題ト見ルナラバ議場ニ諸ノ外ハナイ、ナゼ認メナイカト言ヘバ、承諾ヲ政府ガ求メテ居ルノダカラシテ、或ハ其結果憲法ニ背イテ事實ニ於テ背ク、其他色々ノ理由ガアルガ、ソレナコトハ構ハヌ、即チ承諾カ不承諾カト云フコトデゴザイマス、先決問題トハ認メマセヌ、併ナガラ諸君ニ於テ疑ガアルナラバ(此時議長ノ宣告ノ通テ呼ブ者アリ)即チ先決問題デナイ、サウスルト順ニ因ッテ本題ニ掛リマス、即チ二十二番——尙ホ御注意申シマスガ、今日随分先程カラ勢ヲ見テ居ルニ随分大ナルコトデアラウト考ヘマス、重大ノ事モアリマス、願クハ此事ハ虚心平氣ニ諸君ガ雙方ノ事實ヲ盡シテ討論ニナツタ方ガ宜カラウト考ヘマス、成ル丈討論終結杯ト云フモノヲ餘リ擔キ出サナイ様ニ願ヒタイト思ヒマス、今日ハ夜ガ明ケテモ諸君ガ同意ナラバ議シ終リマス積リデアリマス、其積デ急カヌデ、討論終結ヲ急ニ出シテ賞ヒタクナイ、モウ既ニ六時ニ五分計リ前デゴザイマスカラ、詰リ演說中ニ又言フノモ何デゴザイマスカラ、六時ニ爲レバ延ベマス積デゴザイマス

(異議ナシト呼ブ者多シ)
(狩野揆一郎君演壇ニ登ル)
○狩野揆一郎君(二十二番) 私ハ此岐阜愛知ノ震災事件ト云フノハ日本政府ノ財政ノ上カラ見マシテハ、頗ル多額ナ金デアルト云フコトヲ考ヘテ居リマシタ、議會ノ開會以前本年ノ四月岐阜愛知ニ三重其他ノ諸縣ヲバ漫遊ヲ致シマシテ、此震災ノ事實ヲバ聊カ調査ヲ致シテ參ッタルデアアル、私ノ丁度參リマシタノハ齋藤珪次君田中島雄君等ガ巡回セラレタ後ツタノデアアル、而シテ此ノ震災ノ地ニ參リマシテ私共ガ感覺ヲ惹起シタノハ、政府ノ見ル所トハ全ク相反對致シマスルト云フ結果ヲ生ジマシタノデアアル、勿論此強震ノ地トゴク輕震ノ地ガアルデアアル、ゴク輕震ノ地ニ至リマシテハ、殆ト無害ト云フ様ナ地デアアル、此無害ト云フ様ナ地ヘ向ヒマシテ、震災費ヲヤリマシテ堤防ヲ拵ヘタト云フ様ナコトハ頗ル過當ナル事柄ガ多イデアアル、ソレ故ニ過日來齋藤珪次君等ト質問致シテ置キマシタガ、此質問ハ此方ガ斯ウデアルト云ヘバ、政府ハサウデアナイト云フ丈デ、詰リ推シ問答ニ止マル話デアアル、私ハ考ヘマスルノニ、是ハ内閣ノ諸公ハ此震災ト云フコトニ就キマシテ、松方伯自ラ御巡迴ニナリマシテ、多少此慘狀ヲ御覽ニナツタニ相違アリマス、併ナガラ私共ガ考ヘマスル所ニ因リマス、邪推デハアリマスケレドモ、現政府ハ一種ノ政略ト云フ様ナ趣意デハナカッタカト思フデゴザイマス、ナゼナレバ我々ハ御承知ノ如ク多年政費ノ節減ト云フコトヲ努メテ民力ヲ休養シタイト云フコトハ、我々ノ豫テ言フテ居ル所デアアル、當議院ノ一體ノ傾向日本ノ輿論ト云フモノハ政費節減民力休養ト云フコトニ傾イテ居ルデアアル、然ルニ現政府松方内閣ハ此政費節減ニ就キマシテハ絕對的ニ御反對ニナルデアアル、然ラバ日本全體國民ノ輿論ニ聊カ御違ヒニナツテ居ルト私ハ思フデゴザイマス、然ルノニ昨年此震災ノ地ニ向ヒマシテ多額ナル所ノ金ヲ出サレタト云フモノハ、私共ノ邪推スル所デ考ヘマスルト云フト、政府ハ嘗テ此民力休養ト云フコトニハ反對デアアル、併ナガラ人民ガ斯ノ如

キ所ノ災害ニ遭フタ時ニハ責任ヲ負フテ自ラ多數ノ金ヲ出スト云フコトノ即チ勇氣ヲ御示シニナツテ、御人望ヲ買ヒナスコトデアラウト私ハ思フテゴザイマス、ソコデ此憲法ノ問題ト云フコトニ就キマシテハ、六十四條ノ第二項ガ政府委員ノ答辯ニ因リマスルト、唯如何ナル問ヲシテモ唯豫算外デアアル、豫算外デアアルト云フ御話デアアル、法律ハ是ハ銘々ノ解釋ニ由ルモノデゴザイマスカラシテ、此事ハ幾ラ推問答ヲ致シマシテモ、駄目デゴザイマス、即チ私共ハ六十四條ト六十九條ハ關聯シテアルモノデアアル、憲法ニ背反シタ金ヲ遣ッタモノデアアルト考ヘ、深ク是ハ論及スルニ及バヌ、既ニ此事ハ十分皆様ノ御考ガ御定リニナツテアルデアラウト私ハ信ズルデアアル、而シテ此緊急勅令ガ發セラレタ當時ノ事ヲ考ヘ、今日ノ有様ヲ聊カ御話スレバソレデ此緊急勅令ト云フモノハ、認可スヘカラシト云フ事實ガ確ニ舉ルコトデアアルト思ヒマスレバ、簡單ニ其事ヲバ御話ヲ致シマス、ソレデ昨年ノ委員會ニ於テ質問シタル所ニ依リマシテモ、堤防ノ費用ト云フモノハ開會ヲ待ツコトガ出來ルカ、震災救濟費ト云フモノニ就イテハ飢餓ニ迫ツテ居ル人民ガアル、之ヲ救ハシケレバナラヌカラ、待ツコトガ出來ナイデアアル、ソレカラ委員長ノ報告シタル如ク福岡富山ニ發シタモノトハ、日限ガ違ツテ居ルト云フ、ソレモ暫ク置キマシテ、ソコデ緊急勅令ノ最モ主眼トスル所ノモノハ、罹災救濟費用デアアル、罹災救濟ノ費用ハ二十万圓デアアル、其二十万圓ノ金ハドウ云フコトニナツテ居ルカト云フト、一日モ待テナイ、救濟費二十万ノ金ガ先刻石田君カラシテ質問シタル如ク、先月九日ニナリマシテ五万五千餘圓ノ金ハ支出シテ居ル、殆ト過半數十萬圓ノ過半數ノ支出五月九日デアアルト云フ事實ガアツタノデアアル、其他又二千八百圓ト云フノハ尙ホ唯今未配達ニナツテ銀行ニ止ツテ居ルト云フコトヲ政府ガ言フデアアル、一日モ待テレヌト申シマスルモノガ、半以上ハ五月九日ニ配當シタ、ソコデ縣廳ハ五月九日ニ配當ヨシマシタガ、ソレガ郡役所ニ行キ、町村ニ行キ、罹災人民ハ配當スル時ニハ、今日マダ其配當ヲ受ケナイト云フ結果ガアル、是ハ一ツ證據ガアルデアリマス

○折田兼至君(百五十八番) 今辯者ガ辯論中デアリマスガ、一言議長ニ向ツテ申上ゲマス、御案内ノ如ク議場モ大變離席者ガ多クナツテ居リマスガ、餘リ續イテ長時間ニヤツテ居ルカラ事爰ニ至ツタノデアアルト思フ、議長ノ御告ゲデ或ハ三十分ナリ一時間ナリ休憩ヲサレテ、新ニ開會サレルヤウニシテハ如何デアリマセウ

○議長(星亨君) 宜シイ、三十分休憩スルコトニ致シマス、三十分休憩致シマス、即チ六時半マデキス

午後六時四分休憩

午後六時五十二分開議

○議長(星亨君) 諸君、是ヨリ前會ニ引續キ會議ヲ開キマス、二十二番(狩野揆一郎君演壇ニ登ル)

○狩野揆一郎君(二十二番) 前刻ニ引續イテ、申シマスデ、唯今申シタルガ如ク其震災救助費ノ二十万圓ト云フモノ、使拂一日モ差置クコトノ出來ナイ片時モ猶豫ガ出來ナイ金デアルト云フノガ、即チ五月九日ニナリマシテ五方餘圓ト云フ金ヲ使ツテ居ル、今尙ホ二千八百餘圓三千圓近イ金ヲマダ配當ラシ

ナイノデアル、ソコ其五方餘圓ノ金ハ縣廳カラ郡役所ニ廻シタノデゴザリマセウガ、今はハ町村ニ行渡ラヌ所ノモノデ、其證據ヲバ申上ゲマセウ、岐阜縣ノ渥美郡ト申シマス所ノ東加納町西加納下加納ト申シマス所ニハ戶數ノ目安ガ——配當ノ目安ハゴザイマスケレドモ、之ニ下渡ス金ガ七百四十四圓七錢五厘ノ金ガアルノデアル、今尙ホ之ガ郡役所ニ——此金ヲ岐阜ノ第五銀行ニ預ケマシテ、其預切符ヲバ町村ニ渡シテアル、併ナガラソレハ根ニ使ハナイト云フ命令ヲ町長ガ一般人民ニ下シテ置イタ事實ガアルノデアル、ソレハ茲ニ即チ此村ノ宮部玉三郎ト云フ人ガ此町村代理ト問答ヲ致シタル書類ガアリマス、其問答ノ結果トシテ茲ニ即チ役場ノ用紙ニ書キマシタモノガ茲ニゴザイマス、夫ノ金ハ確ニ郡役所カラ下渡シテ郡長ハ安ニヤルナト云フコトヲ言ハレタ問答ガアル、其問答ノ結果トシテ茲ニ確ニソレ丈ノ金ハ下渡シテ市役場ニ在ル見認印ノアル、即チ役場ノ用紙ニ書イタモノガアルノデアル、此問答ハ讀ミマスル必要ハナイヤウデスカラ、是ハ讀ミマスマイガ、斯ノ如ク既ニ一日片時モ差置キ難イ金額ガ未ダ町村ノ罹災人民ノ救済ヲ受クベキ資格ノアル人民ニ渡サヌ、人民ノ手ニ金ガ落チナイト云フ事實ノアルハ、如何デアアル(速記録ニハ載セテ置クガ宜シイト呼ブ者アリ)ソレカラ此安八郡——岐阜縣ノ安八郡ハ人口ハ七万三千程ノ人口デアアル、而シテ此罹災ノ救済ヲ受クベキ人民ガドノ位アルカト云ヘバ、此處ハ最モ強震ノ地デアアルカラ、殆ト七万人モアルデアアル、然ルニ是等ハサツパリ救済ノ道ガ立タヌト云フ様ナ偏頗ナ處置ガアル、此安八郡ノ救済ノ場所ニ這入ッテ居ル者ハ、僅ニ四五十人はハドツ云フコトカト云フニ、掛リノ人ガ拒ミ、或ハ資格ガアルトカナイトカ云ッテ手續ノ面倒ナルガ爲ニ罹災人民ガ茲ニ這入ッテ救助ヲ受クルコトガ出來ナイト云フ事實モアツタデアアル、斯ク論ジマスレバ此震災ノ救助ハ或ル部分ニハ必要デアツタガ、或ル部分ニハ必要ナイ、唯今申ス如ク或部分ニ對シテハ未ダ以テ其金ヲ遣ラヌト云フコトナレバ、是ハ一日片時モ差置キ難イモノデアアツタヤ否ヤト云フ疑ガアル、ソレカラ堤防ノ工事、堤防ノ工事ハ果シテ十日間埃テルカ埃テヌカト云フトニ就キマシテハ、諸君モ御承知デアラガ、昨今ニ至ッテ稍ク工事が落成シタト云フコトデアレバ、是レ以テ十日ヤ二十日日ヲ延べルコトノ出來ナイ筈ハナイト云フ事實ハ確デアアル、加之ノミナラズ此堤防ト云フモノハ私ハ諸縣ノ堤防ヲ巡迴シマシタケレドモ、私ハ復舊工事ト云フ事業ハナクシテ、凡テ増築或ハ新設甚シイモノニ至ッテハ堤防モ三本モ五本モ築イタ様ナ恐シイ幅ノ廣イ堤防ガ出來タ、アノ地方ヲ踏査シ經過シタ方ハ御承知デアラウト思フ、ソレカラシテ先日此齋藤君等ガ質問致シマシタリ、又委員會ガ質問致シタリ、スルト云フト、煉瓦石造ノ開門是ガ最モ復舊ノ工事デナイト私ハ申シテ居ル、然ルニ政府ハ強チ復舊々々ト云ッテモ是ハ往カナイ、却テ經濟ガ便デ、或ハ竣工ガ早イト云フ結果ガアルト申スコトデアアル、其新舊ノ比較表ヲ得マシタ、是ハ頗ル御參考ニナルト思フカラ、其一ニヨバ——不當ノ辯明デアアル

ト云フコトヲ説明シテ置キマセウ、多藝郡ノ釜ノ段ト云フ所ノ煉瓦構造ノ水門、是ハ政府ノ辨明ニ依ルト二万九千七百四十八圓九十五錢ト云フモノハ復舊ニ係ル工事デアアル、復舊ニスルト是丈ノ金ガ掛ル、二万九千七百四十八圓九十五錢、其内譯ヲ申シマスルト一万四千八百二十八圓ガ復舊所ノ費用デアアル、尙ホ其内譯ノ一万四千九百二十圓九十五錢ハ假締切ノ費用デアアル、假締切ト云フノハ樋管ヲ拵ヘルタメニ前後ノ水ヲ支ヘル締切デアアル、ソコデ煉瓦ノ水閘ノ費用——水門ノ費用ト云フモノヲ併セルト、二万九千餘圓ニナル、差引二百圓餘ハ即チ費用ガ減スルト云フ計算デアアル、本員等ノ考デハ此假締切ノ費用ノ多額デアアル、一万五千圓ノ僅外抜ケナイ、是モ亦疑ナキ能ハス、而シテ煉瓦ノ水門ヲ拵ヘマスニモ、其通テ締切ガナケレハナラヌ譯デアラウト思ヒマス、頗ル譯ノ分ラヌ答辯デアアル、譯ノ分ラヌ調査デアルト言ハサルヲ得ヌ、其他ノ事ハ暫ク申シマセヌデ置キマセウ、ソレカラ私ガ此地ヲ漫遊致シマシテ著シク感覺ヲ起シタノハ何デアアルカ、色々説明ヲスルニハ二百四十七號ノ方ニ議論ガ岐レマスカラ省キマスガ、此二百四十七號ニ係ッテ岐阜愛知兩縣ニ於キマシテ震災ノ輕重ト云フモノト、其工事ノ支給トノ比較ヲ取レバ、施政殆ト平等ヲ得ナイ譯ノ分ラヌ工事ヲシタ、震災ハ甚ダ薄クシテ大變ナ金ヲ貰ッテ居リ、震災ガ著シク強震ニ遭フテ金ガ少イト云フコトハ確デアアル、即チ震災地方ニ於テ非常ニ人民ガ紛々擾々トシテ非常ナル困難ヲ惹起シテ居ルト云フノハ、之カタメト私ハ言ハザルヲ得ヌ、ソレカラ又政府ハ如何ナル所ノ御考デアツタカ、最モ著シイ此施政上ニ於テ平等ヲ缺イタト云フ事述ガアルノデアアル、ソレハ何デアアルカト云フト、愛知縣ノ海西郡海東郡ト云フ所ハ三重縣ノ桑名郡ト木曾川ヲ隔テ、居ル所デアアル、此地ヤ愛知縣ト少シモ震災ヲ蒙ツタ上ニ於テ輕重ハナイ、家モ潰レル堤防モ陥落シテ居ル、チツトモ差異ガナイ、又此岐阜縣ノ下石津郡是モ又一寸向フニ三重縣ノ桑名郡ト土壤ヲ接シテ居ル所デアアル、地面ヲ接シテ居ル所デアリマスカラ、川モ何モナイ所デアアル、此下石津郡ト三重縣ノ桑名郡ト比較シテ少シモ震災ノ差異ガ無イノデアアル、——無イ筈デゴザイマス、地面ガ斯ウ(手ヲ以テ其形狀ヲ示ス)續イテ居ッテ家モヒツタリシテ居ルカラ、此處ニ害ノナイト云フコトハナイ、然ルニ震災ノ度ハ愛知ト三重トヲ震災地トシテアツテ、其堺ヲ出レバ如何ナル災害ガアツテモ國庫ガ金ヲヤラヌト云フコトハ、頗ル疑フ點デアアル、同シ日本ノ人民デアツテ同シク明治政府ノ下ニアル人民デアツテ、一方ニハ多額ノ金ヲヤリ多額ノ救済ヲスルニモ拘ラズ、此一方ノ人民ニ向ッテハ毫末モ恩典ガナイト云フコトハ、如何ナル所ノ御考デアツタカ、抑、政治上ノ事ガ平等ニ行カヌデアツタト云フコトヲ私ハ斷言スルノデアアル、先日來政府委員ニ此事ヲ質問シタ所ガ、三重縣ノ桑名郡ノ震災ハ愛知ノ管轄ト接シタ所デ比較スレバ、少シモ差ハナイケレドモ、三重一縣ノ力ガアルカラ一縣ノ力トシテ三重ヲ補助スルノ必要ガナイ、三重ハ三重ノ一團體ヲ以テ救フ義務ガアル、然ラバ三重ハ之ヲ補助スルト云フ必要ハナイト斯ウ

云フ辯明デアリマス、益、私ハサウ云フ辯明ヲ聽キマシテ、又益、疑ヲ生ズルノデアアル、是ハ何デアアル、此辯明ニ依リマシテ始テ此愛知岐阜此二縣ニ金ヲヤリマシタコトガ過當デアアルト云フ材料ガ出マシタ、桑名郡ハ——三重縣ノ桑名郡ノ災害ハ一縣ノ經濟ニ屬スベキモノデアアルカラ、人民ヲ扱フコト難イノデアアル、一方ハ政府カラ大變ナ金ヲドク支出シタカラ、非常ナル幸福ヲ受ケタ若シ是ガ三重縣ト比例ヲ取リマシタナラバ三重縣ハ地方ノ經濟ニ屬スルカラ人民ニヤルモノハヤラヌト云ヘバ、三重縣ノ人ハ死ンデ仕舞ハナケレバナラヌ、三重縣ハ毀レタ家ヲ建テ堤防モ陥落シテ居ル所ヲ修繕シテ居ルト云フコトデアリマシタナラバ、岐阜愛知ニ金ヲヤッタノハ過當デアルト言ハナケレバナラヌ、過當デナイト云フナラ三重縣ノ人民ハ死ンデ仕舞ハナケレバナラヌ、モウ一步進メテ論ズレバ愛知三重ハ大キナ縣デアアル、殊ニ愛知縣ハ最大大キナ縣デアアル、然ルニ震災ノ地ヲ見レバ此三重愛知ノ管轄ノ廣イ中ニ僅カ一小部分ノ災害デアアル……管轄半バニ達シナイ、地圖ヲ御覽ニナレバ分ル、昨年政府カラ出サレタ參考書ガアリマス、今年モ出シマシタガ、ソレヲ御覽ニナツテモ分ル、岐阜愛知全縣デアハナイ、一小部分ノ被害ト私ハ斷言スル、是ハ決シテ嘘デハナイ、其金額ヲヤッタモノハ幾ラカト云フト、各地有志者ノ慈善家ノ義捐金、少々デハゴザイマスケレドモ、小學校ニ金ヲヤルトカ云フモノヲ併セルト殆ト八百万圓近イデアアッタ、ソレカラ最モ此工事ハ大層金ヲヤッタカラ工事ハ能ク出來テ居ル、併ナガラ此工事ハ實際ニ就イテ見レバ甚ダ不完全ナ工事デ金ノ半分モ出來ナイト云フコトヲ私ハ明言スル、又金額ノ甚ダ過當ナル證據モ澤山アル、私ガ嘗テ岐阜縣ノ常置委員諸氏ニ遇ツテ聽イタ、——佐久間覺也ト云フ人ニ遇ツテ話ヲ聽クト御前ノ方ハ土木費ハ何程デアアルト云フコトヲ聽イタ所ガ、平日ハ地方稅ヨリ支辨ス、土木橋梁ヲ併セテ毎年五万圓前後デアアルト云フコトデアアル、是ニハ堤防ノミデハアリマセヌ、橋梁ヨリ縣道モアル、勿論此五万圓ノ中ニハ町村ノ負擔モ關聯シテ居ルト云フコトヲ聞キマシタゴザイマスガ、何シロ地方稅ノ經濟トシテ年々五万圓ヲ以テ道ヲ拵ヘ、堤防ヲ造ツタノデゴザイマス、然ルニソコヘ持ッテイッテ如何デゴザイマス、百四十万ト云フ金ヲ分配シタノデアアル、使ヒヤウノ無イ金デアアッタト思ヒマス、私ハ嘗テ此千葉縣ニ居リマス者デアアツテ、千葉ニハ利根川ト云フモノガアツテ、隨分此堤防ニハ關係ガアリ、堤防ノ工事ニ就キマシテハ扱ッテ居リマス、(ドウカ要領式ヲ簡單ニ願ヒマスト呼ブ者アリ)堤防ノ事ヲヤツテ見マスト、ドウシテ容易ニ堤防ニ使

フコトハ出來ヌト云フコトハ明ナル事實デアリマス、唯今前申シマスルガ如ク我内閣諸公ハ一ノ政略トシテ金ヲヤッタモノトシカ、ドウシテモ以上論ジ來リマシタ所カラ考ヘマシテモ、ドウモ私ハ思ハレナイ、民力休養ト云フヤウナコトデアハナイ、必ズ人民ノ危急ノアル時ニハ救フト云フ考ヲ以テ居ルト云フコトノ、一種ノ政略カラ出タモノデアアルト私ハ斷言スル、然ルニ此結果ヤ如何デゴザイマセウ、唯今岐阜縣……、岐阜縣デハ或ハ齋藤君ニ某常置委員ガ岐阜常置委員會ノ話ヲ漏シタト云フテ、此人ニ勸告シテ其人ハ遂ニ職ヲ辭スルト云フヤウナコトヲ聞キマシタ、又某ノ郡民ガ郡役所ニ追ッテ來テ非常ナル騷動ヲ爲シタト云フコトモアル、又陳情委員デアルトカ云フモノガ出來ルト、陳情委員ヲ撃ツトカ撃ツタトカ云フコトモ聞イテ居リマス、(簡單簡單分リマシタト呼ブ者アリ)簡單ト仰シヤレバ私ハ何時マデモ立ッテ居リマス、(謹聽々々ト呼ブ者アリ)内閣諸公ノ政略ト云フモノハ、此政略ニ反シテ却テ紛擾ヲ來シテ、施政平等ヲ得ナイタメニ怨ノ府トナリ、之カ延イテ天下ノ——緊急勅令ト云フモノハ天下ノ輿論トナツタト云フコトハ意外ノ結果デアアツテ、内閣ニ對シテハ私ハ實ニ御氣ノ毒デアアルト斷言シテ此壇ヲ下リマス

○平林九兵衛(百九十六番) 緊急ニ發言ヲ得タイ、先決問題デスカラ至急御許ヲ願ヒマス……、外デモゴザイマセヌガ、此事ニ付キマシテハ千葉縣ノ狩野君、先達テハ埼玉縣ノ齋藤君ガ委シク御演說モゴザイマシタ、且ツ内務次官ノ御答辯モゴザイマシタガ、何分千葉縣及埼玉縣ノ兩縣デスガ、何シロ此岐阜愛知ニアツテ御調ニナツタノハ二十日位ノ日限デアリマス、二十日位ノ日限デ岐阜愛知——尾張三河ノ三箇國ヲ此廣イ所ヲ二十日位デ御調ニナツタ所ガ、委シイ御調ガ出來ルモノデアハ決シテアリマセヌ、然ルニ岐阜愛知ニハ十八人ノ選出議員ガアリマス、此十八人ノ議員ハ之ニ對シテマダ一言ノ演說ガアリマセヌ私ハ此……

○議長(星亨君) 簡單ニ先決問題ノ事ヲ言ッテ貰ヒタイ

○平林九兵衛君(百九十六番) 簡單ニ言ヒマス、私ノ望ム所ハ順番モゴザイマセウガ、岐阜愛知ノ十八人ノ中ニ先キニドウカ演說ヲ……

(無用々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 二百七十六番……即チ岐阜愛知ノ人デゴザイマス

(大野龜三郎君演壇ニ登ル)

○大野龜三郎君(二百七十六番) (御早ク願ヒマスト呼ブ者アリ)私ハロソ

ソロヤリマス、(河島醇君手品遣ヒ見タヤウニモジクセズト早クヤツテ貫ヒマセウト呼ブ)私ハ委員ノ報道トハ反對デアリマシテ、此件ハ無論承諾スベキモノデアルト云フ考デアリマス、(憲法ニ論及スベシト呼ブ者アリ)處デ委員ガ承諾スベカラザルモノト云フニ就イテ憲法上ノ理由ト、事實上ノ理由ト二ツノ理由ヲ示シテ居リマスガ、私ハ憲法上ノ理由ヲ論スルニ先ツテ事實上ノ理由ヲ述べル積デアリマス、處デ此件ニ就キマシテハ先月ノ九日デアリマシタガ、齋藤珪次君ガ政府ニ向ツテ質問ヲサレマシタ、其際ニ質問ノ要領ヲ述べラレマシタ、處ガ其質問ニ於テハ大變ノ誤ガ多イ、處ガ其誤ガ多イニモ拘ラス、齋藤君等ガ實地岐阜愛知兩縣ニ出張ヲ致シテ、實地ヲ取調ヘタト云フ故ヲ以テ諸君ノ中ニモ幾ラカ之ヲ信用シテ、ソレガタメニ事實上此件ト云フモノハ承諾スベカラザルモノト云フヤウナル感覺ヲ懷イテ居ルヤニ考ヘテ居リマス、故ニ私ハ此委員ノ報道ノ理由ヲ論ズルト同時ニ、此齋藤君等ノ誤モ尙ホ併セテ正ス考デアリマス、併ナガラ私ハ一時喝采ヲ博シ、或ハ或ル爲ニスル考デ事ノ虛實ヲ論ゼズ、又詰ラヌコトヲ巨大ニ御話スルノデアアリマセヌ、實地私ガ眼ニ見、或ハ自ラ信用シテ居ル所ヲ述べテ、諸君ニ御話ヲ致ス考デアリマス、ソレ故ニ私ハ選出地ガ岐阜縣デアアル故ニ、他縣ノ事ハ置イテ先ツ我選出地ノ極ク實地ニ見、尙ホ取調ベタ 岐阜縣ノ事ニ就イテ述べル考デアリマス、聞ク所ニ依リマスレバ齋藤珪次君等ハ此岐阜愛知兩縣ノ震災ノ景況ヲ取調ルタメニ二十日トカノ日數ヲ費ヤサレタト云フコトデゴザイマスガ、併ナガラ私ガ聞ク所デハ岐阜縣ニ御出ニナツタノハ四月九日デアツテ、四月ノ十四日ニ出立シテ御歸リニナツタカラ、岐阜縣ニ居ラレタノハ僅カ一週間前後デ、其内實地ヲ跋渉サレタノハ三日バカリデ四日ト云フモノハ岐阜ニ居ラレテ、實地ヲ跋渉シタ日數ハ僅少ナモノデアアル、處デ此岐阜縣ノ震災地ト云フモノハ如何ナルモノデアアルカト云ヘバ、此全ク震災被害ノ場所ト申シマスルノハ、東西三十四里ニ互ツテ居ル所デ、中ニ三日ヤ四日デ實地ガ見ラル、モノデナイ、加フルニ齋藤君等ガ見テ歩カレタ所ハ、岐阜縣ノ加茂可兒土岐惠那迄御出ニナツテ名古屋へ御歸リニナツテ、厚見郡ノ開門ヲ見テ羽栗ノ竹ヶ鼻ト云フ所デ、實地ヲ跋渉シタ所ハ僅デアアル、所謂齋藤君ガ實地ヲ見タ如ク言ハレタ所ト云フモノハ、其實實地ヲ見ラレテ居ラス、故ニ實地ノ調査ト對照致シマス、餘程誤ガ多イノミナラズ、實ニ笑フベキコトガ澤山アルノデアアル、斯ク重大ナルコトヲ僅カノ日數デサウシテ大震災後半年モ過キタ所ノ後デ見タ想像デ以テ此堂々タル帝國議會ニ於テ述べラル、ハ、

實ニ私ハ慨嘆ニ堪ヘマセヌ、然ルニ私ハ震災前ヨリ致シマシテ、現ニ常置委員モ其職務メテ居リマシテ、震災ノ件ニ就イテハ實地其事務ニ當ツテ居ル、震災後カラ致シマシテ、第二期帝國議會ノ開ケル時迄ハ何時モ家ニ寢タコトハナイ、全ク此タメニ奔走シテ實地其事ニ當ツテ居ッタ者デアアル、故ニ齋藤君杯ノ僅カノ日數デ調ヘタ事トハ餘程違ツテ居リマスカラ、左様御承知置キヲ願ヒタイ

ソコデ先キニ齋藤君ガ玆デ八箇條ノ質問ヲサレル時分ニ、唯今申シマス通非常ニ誤ガ多フカッタ、故ニ私ガソコデ答ヘルコトガ出來タナラバ、直チニ答ヘル積デアッタ、併シ齋藤君ノ質問ハ政府ニ向ツテ質問スルノデアアル、故ニ已ムヲ得ズ斯様ナル誤ガ天下ニ流布サレタト云フコトデ、規則ガ許サヌカラ涙ヲ吞ンデ今日迄忍ンテ居ッタ、處デ齋藤君ガ斯ク誤ノ多イ演說ヲサレテ政府ガ之ニ直チニ答辯ヲサレルデアラウト私ハ考ヘテ居ッタ、處ガ政府ハ此答辯ニ十數日ヲ費ヤシタ、大變ニ答辯ニ餘計ナ日數ヲ費ヤシタガタメニ何カ怪シム傾デアルト云フコトガアッタ、故ニ私共所謂震災地人民ハ政府ニ向ツテ此答辯ガ遷延シタノハ不滿デアアル、併シ内務大臣ハ書面デ答へ、尙ホ白根政府委員ハ三時間餘ノ演說デ、之ニ細カト計數或ハ法律上ノ理窟ヲ以テ答辯ヲサレマシタガ、併シ何分遺憾ナルコトハ私ガ申ス迄モナク、今回ノ震災ハ實ニ前古未曾有ノ震災デ、中ニ新聞デ見タリ話テ聞イタリシテ、實地ヲ知ルコトノ出來ル様ナモノデナイ、處ガ政府委員白根君ハ事ハ精密ニ述べラレタガ、何分實地ノ慘狀ヲ見テ居ラレヌカラ、理窟ト計數ハ十分ニ御答デアリマスガ、其狀況ヲ十分ニ話ガ出來ナカッタカラ、ソレガタメニ此意ガ徹底シナイ様ニ考ヘタ、總テ事ヲ斷ズルニハ片言ヲ聞イテ致シマスト誤マルコトガ多イ、ドウカ諸君ニ於テモ虚心平氣デ私ノ言フ所ヲ聽キ、尙ホ齋藤君ノ述べル所ヲ御聽キ下サツテ十分ニ公平ナル心ヲ以テ、御判斷ヲ願ヒタイ、ソレニ尙ホ十分ノ御注意置キヲ願ヒタイノハ、先キニ總理大臣モ言ハレタ如ク遠サカルモノハ疎シ、ドウモ震災當時ト今日トハ大變實際ヲ御覽ニナツタ所ガ形狀ガ違ツテ居ル、一般ニ人ノ感情モ違ツテ居ル、ドウカ斯ル非常ノコトニ就イテ考フルニハ、非常ナル考ヲ以テ考ヲ定メラレンコトヲ希望致シマス、(本問題ニ入ルベシト呼ブ者アリ)

齋藤君ノ演說ノ中デ重ナル箇條ヲ殘ラズハ申シマセヌガ、一番世間デ疑ノ多イ一番肝腎ノ事ヲ述べテ、尙ホ委員ノ陳述竝ニ狩野君ノ今迄述べラレタ所ヲ駁スル積デアリマス、第一齋藤君ガ述べラレタ所ハ、此緊急勅令ノ二百五號デ

以テ、岐阜愛知兩縣ニ下付サレタ金、其金ニ就イテ昨年政府委員ガ委員會デ述ベタ所デハ、此金ハ雪融ケ前ニ仕拂ヲセネバナラヌト云フタ、然ルニ實地ヲ見レバサウ云フ譯デナイ、大變未ダ仕事ガ出來テ居ラヌト云フ斯ウ云フトヲ言ハレタ、是ハ即チ先キニ申シマスル通、緊急勅令ノ分ニ亘ッテ居ルノデ、齋藤君杯ハ實地行カヌカラ疑ガ出來タノデ、此金ノ仕拂ハ政府委員カラ十分答辯セラレマシタカラ、私ハ金ノ數ニ就イテハ申シマセヌガ、併シ齋藤君ノ言フガ如ク、之ヲ緩漫ニ附シタトカ云フコト色々ノ事ヲ申スガ、金ノ事ヲ云フヨリモ是ハ岐阜縣ノ地勢ト、ソレカラ人情ト云フモノヲ茲デ御話ヲ致シマスレバ、果シテ是ハ緩漫ニ附シタカ、緩漫ニ附シ得ベキモノデアアルカト云フコトハ、十分御了解ト考ヘマスカラ、私ハ先ツ岐阜縣ノ地勢ト人情トヲ御話シテ諸君ノ御參考ニ供スル考デアリマス、豫テ御承知モアリマセウガ岐阜縣ト云フモノハ非常ナル水害地デアアル所デ、今度震災ノ一番甚シカッタ所ハ西南ノ河ノ多イ所デ、一番土地ノ低イ所デアアル、此西南ノ低イ所ニ於テハ、長良川揖斐川木曾川ト云フ三ツノ大イナル河ガアツテ、ソレニ支流ガアツテ其支流ノ數ハ四十三川カラアル、其澤山ナル河デアツテ一面ニ取巻イテアル所ノ其河ト云フモノガ、近來ニ至リマシテハ山方ノ土砂ガ非常ニ流レテ來テ、川底ト云フモノガ一般ノ平地ヨリ高クナツテ來タ、故ニ若シ一朝ニシテ堤防ガ破壊致シマシタ時分ニハ、財産モ生命モ丸デ忽チナクナツテ仕舞フ所ノ土地デアアル、所謂震災ヲ餘計受ケタ人民ト云フモノハ僅ニ堤防ニ依ッテ財産ヲ守リ、生命ヲ保ツテ居ル所ノ人民デアリマス、故ニ岐阜縣ノ人民ガ堤防ヲ重ンズル考ト云フモノハ、連モ他府縣ニハ斯ク堤防ヲ重ンズル箇所ハ私ハ決シテナイト云フテモ差支ナカラウト思フ、然ルニ今回其堤防ト云フモノハ昨年十月二十八日ノ震災ニ依リマシテ、或ハ龜裂シ、或ハ頽レ、或ハ甚シキニ至リマシテハ、平地ヨリモ下ニ陥落ヲシタ所ガアル、此際ニ當ツテ唯今申シマス通、其堤防ヲ頼ミニシテ居ル所ノ人民ハ如何ナル感情デアツタト思召スカ、想像ナシ下スタナラバ、十分分ルデアラウト思フ、處デ此緊急勅令ヲ發セラレテ百五十万圓ノ金額ヲ下ダラル、ヤ否ヤ、知事ガ直グニ常置委員ノ急施會ヲ開イテ、直グニ堤防修繕ノ準備ニ掛リマシタ、處デ唯今申シマス通其時分ト云フモノハ、生命ヲ守リ財産ヲ守ル所ノ堤防ハナクナリ、實ニ當惑シテ居ル所ニ其金ガ下ツテ來タカラ、一般ノ人民ノ喜ビト云フモノハ實ニ蘇生ヲスルノ思ヲ爲シタノデアアル、處デ其當惑シテ居ル所ニ金ガ下ツタカラ、一般ノ人民ハ親ニ別レ子ヲ失ヒ、又澤山ノ死者負傷者ガアルニモ拘ラ

ス、其葬式モセズ、病人ニモ構ハズ、夫ノ寒天ニ晝夜少シモ寢ナイデ、緊急工事ニ從事シテ居ルト云フコトハ其當時實際ヲ經歷シタ人ハ御承知ト思フ、私ハ實際ノ事務ヲ執ラヌ常置委員デアリマシタケレドモ、其當時暫クノ間ハ岐阜縣ニハ殆ド晝夜ナシト云ツテモ宜イ位デアアル、之ヲ嘘ト思召スナラバ、其際實地岐阜縣ニ來タ所ノ新聞記者其他實地跋渉シタ人ニ御聞キナスツタラ、私ノ言フコトハ偽デナイト云フコトガ十分分ルデアラウト思フ、人民ハ斯クノ勢ヲ以テヤリマシテ決シテ緩漫ニ附シテハ居ラヌ、唯今申シマス通此堤防ヲ若シ知事ガ緩漫ニ附スルト云フヤウナコトナラバ、人民ハ沸騰シテ連モ纏リノ附クモノデアアリマセヌ、其事情ヲ知ラズニ又實地其場合ヲ見ズニ僅カ輕震ナ土地ヲ見テソレモ震災後半年ノ後ニ行ッテ見テ、緩漫ニ附シタトカ何ントカ言ハル、ノハ、實ニ被害地人民ニ於テハ遺憾千萬デアアル、併ナガラ先キニモ政府委員ノ言ハレタ通り護岸工事ト樋管工事ト云フモノハ實際十分ニ出來テ居リマセヌ、何故出來テ居ラヌカト申シマス、護岸工事ト云フモノハ所謂堤防ノ根固メ工事デアアル、根固メ工事ト云フモノハ平水以下ノ時デナケレバ十分ノ仕事ハ出來ヌト云フコトデアリマス、處ガ昨年以來此雨雪ガ甚シカッタノデ始終水ガ多イタメニ根固メ工事ハ十分出來ナカッタ、ソレガタメニ護岸ト云フモノハ出來テ居ラヌノデアリマス、ソレカラ樋管ノ後レタノハ、水ガ多クテ樋管ヲ入レマス時ニハ、先キニ狩野君デアリマシタガ、假据ノタメニ金ヲ使ヒ過ギテ居ルト云フ疑ガアリマシタガ、實地樋管ヲ低イ所ニ入レヤウト思フト假据ニ就イテ非常ナ費用ヲ要スルモノデ、水ガ出テ仕樣ガナイ、其節ハ雨ガ降ツタカラ餘計水ガ出テ仕事ガ運バヌノデ、政府委員モ十分ニ述ベラレタ如ク、木材ヲ始メ總テノ材料ノ供給ガ十分ニナイカラ後レタノデ、所謂樋管ト護岸ガ手後レニナツタケレドモ、土工ニ屬スル工事ハ緩漫ニ付シテハ居ラヌ、付シヤウト思ツタ所ガ人民ガ承知セヌ、セヌ管デアアル、ソレデ以テ稍ク生命財産ヲ維持シテ居ル所デアリマスカラ、實地ニ於テ到底緩漫ニ付スルト云フコトハ出來ナイノデアアル、此處マデ御話シタナラバ、齋藤君ノ第一ニ大キナ聲ヲシテ責メラレタコトガ十分分ルダラウト思ヒマス

ソレカラ今度ハ委員ノ事實上ノ事ニ就イテ御話シ致シマス、(ソレキリデスカト呼ブ者アリ)マダアリマス委員ノ事實上ノ...勅令第二百五號ノ發布ハ十一月十一日デアアル、而シテ此第二帝國議會ト云フモノハ二十二日ニ召集セラレテアツタ、僅カ其間ト云フモノハ十數日デアアル、此間位ハ決シテ待テヌ

モノデナイト云フ事實上ノ反對デアッタガ、是ハ亦誠ニ議員諸君ニ於テハ取
調ノ粗漏ニシテ震災地ノ被害人民ニ對シテ如何ニモ無情千萬ナル調査ト言ハ
ナケレバナラナイ、若シ震災地ノ人民ガ斯様ナル報告ヲ聞キマシタラバ、
如何ナル感情ヲ起スデアリマセウカ、私ハ其際ニ當ツテ居リマシタカラ、如
何ニ委員ガ政府ヲ攻撃シヤウトシマシタ所ガ、斯ル無情ナル報告ハヨモヤモ
マイト思フテ居リマシタ、處ガ是等ノ報告ハ實ニ私ハ意外千萬ナ話デ、ヨモ
ヤ斯様ナル報告ヲシヤウトハ實ニ夢ニモ思ハナカッタ

○**拆田兼至君(百五十八番)** 本員ハ委員ノ一人デアリマスガ、委員ノ報告ヲ
能ク讀ムテ議論シテ貰ヒタイ

(無用ケケノ聲起ル)

○**大野龜三郎君(二百七十六番)** 十分調ベタカラ此議論ヲスルノデアアル、唯
今申シマス通ノ委員ノ報道ハ事實上ノ理由デアアル、處ガ今私ガ事新ラシク申
スマデモナク、昨年ノ地震ト云フモノハ内外認メテ古今未曾有トスル所デア
ル、是ハ世論ノ認メテ居ル所デアアル、處デ此岐阜縣ハ愛知縣トハ餘程違ツテ
岐阜ニシロ、大垣ニシロ、笠松、竹ヶ鼻ノ市街ハ實ニ家屋ハ皆ナ燒ケテ仕舞ツタ、
燒ケタト申シマスト一般ノ火災ノ様ニ思召ス御方ガアルカモ知レマセヌガ、
此際ト云フモノハ實ニ震災ノ人民ハ怨ト云フモノガ少シモナカッタ、命サヘ
アレバ宜イト云フ考デアッタ、ソレデ其炎焰四方ニ漲リ、手前ノ家屋ノ方
ニ延燒シテ來ルニ、一ノ財ヲ取出サウト云フ考ノアル者ハナカッタ、唯僅ニ
身ヲ以テ免カレサヘスレバ宜イト云フ考デアッタ、又甚シイ所ニ至リマシテ
ハ、實ニ倒レタ家ノ下ニ在ツテ四方火ニ取圍マレ、叫喚シツ、見殺シタ者ガ
澤山アル、甚シキニ至ツテハ一戸擧ゲテ燒死シタト云フ様ナコトガアル、
是ハ市街地ニ於テノ御話、又被害ノ甚シイ村落ニ至リマシテハ、幸ニシテ火
災ヲ免カレマシテモ、非常ナル有様デ、全村一戸モ立ツテ居ル家ハナイト云フ
様ナ事デ、實ニ澤山ノ人命ヲ失ヒ、其際ト云フモノハ實ニ……ガ無カッタ、
且又豫テ諸君御承知デアリマセウガ、其震源地デアッタ岐阜縣根尾谷ト云
フ所ハ長サガ二十里餘リノ谷デアッテ其兩方ニ山ガアッテ、真中ニ根尾
川ト云フ川ガアル、——其兩側ニ山ガアッテ其處ニ這入ルニハ唯一條ノ道カ
アルバカリ、其人民ハ材木ヲ斫ツテ賣ルノト、養蠶ヲ致シテ其金ヲ漸ク毎日
ノ食料ヲ買ツテ生活ヲ致シテ居ル人民デアアル、處ガ今回ノ震災ニ因リマシテ
其根尾谷ハ震源ニ當リマシテ、ツレガタメニ家屋ノ全キモノハ一軒モナク、
甚シキニ至ツテハ家屋ト共ニ數丈ノ崩レノ下ニ陥ツテ何處ニ家ガアリ、何處

ニ人間ガ居ルカ知レナイト云フ様ナ有様ノ所デアアル、處デ其根尾谷ノ這入り
口ト云フモノハ一筋ギリノ道デコ、カラ漸ク食物ヲ買入レテ居ル、所謂其道
ハ根尾谷ノ人民ノ命ノ道デアアルガ、其道ト云フモノハ崩レテ、少シモ往復ガ
出來ナイト云フ様ニナリ、食物ヲ得ルコトガ出來ナイ場合ニナツテ打棄テ置
キマシタラ、根尾谷ノ人民ハ震災ニ加フルニ饑渴ノタメニ死セナケレバナラ
ヌト云フ場合デアッタ、實ニ此當時ノ事ヲ思フテ見マスルト、今デモ身ノ毛
ガゴダツ様ナ心持ガ致スノデアアル、處ガ此二百五號即チ百五十萬圓ノ救濟費
ト河川堤防費ト云フモノヲ政府カラ下付サレタタメニ、稍ク其金ヲ以テ今ノ
市街地ニ於テ、マルデ命バカリヲ以テ免カレタ人民、又ハ根尾谷アタリノ道
ガ崩レテ十分糧ヲ運ブコトガ出來ナイ所ハ餘計ノ金ヲ費ヤシテモ食物ヲ持
テ行ツテ、稍ク之ヲ繋ギタコトデアアル、若シ委員ノ言フガ如キ通例ノ方法
ヲ以テ、第二議會ノ開ケルヲ待チ、所謂二十二日召集ノ會議ニ付シテ、ソレ
ヲ貴族院ニ廻ハシ、サウシテ通常ノ手續ヲ以テシタラバ、是等ノ人民ハ震
災ノタメニ非常ノ大害ヲ受ケタ上ニ尙ホ饑渴ノタメニ死ンデ仕舞ハナケレバ
ナラヌ、處ガ幸ニシテ政府ハ政府ノ職分ヲ盡シテ、此緊急勅令ヲ以テ金ヲ下
付サレタガタメニ、ツレガタメニ稍クコ、等ノ人民ハ命ヲ繋グコトガ出來
タ、此一點ヲ見マシテモ委員等ノ調査ト云フモノハ、實ニ此非常ナルコトヲ
調査スルニ此平和ナル考ヲ以テ致シマシタカラ、斯様ナル無常ナル理由ガ出
テ來タノデアアルト私ハ考ヘル、斯ウ私ガ申シマシタラバ、ソレハ成程救濟
費ハ其通必要デアッタデアラウ、併シナガラ堤防費ニ至ツテハ何モ議會ノ開ケ
ルノヲ待ツテヤッタ所ガ決シテ差支ナイト思フ、斯ウ云フ議論ガ出テ來ルカ
モ知レヌト思フ、之ニ附イテハ尙ホ私ハ十分論ズル積デアアル、又理由カアル前
キニ申シマスル通、此岐阜ノ一番震災ノ甚シイ所ノ地方ハ、所謂堤防デア
テ、僅ニ財產生命ヲ維持シテ居ル所ノ土地デアアル、處ガ其震災ノタメニ堤防
ハ破壊シテ實ニ哀レナル有様ニナツタカラ、人民ト云フモノハ實ニ非常ナル
感情ヲ起シテ來ツテ、逆モ通常ノ場合ヲ以テ論ズルコトハ出來ヌノデアリマ
ス、若シアノ堤防モ仕様ガナイ、政府ガ議會ニ掛ケテシナケレバ逆モ始末ガ出
來ヌ、サウ云フ迂濶ナ處分ヲ致シマシタラバ、此人民ハ如何ナル舉動ヲ爲
スカモ知レナカッタ、處ガ幸ニ政府ガ其機ヲ見テ百四十萬圓ノ堤防費ト、十萬
圓ノ救濟費トヲ下付サレタガタメニ人民ハツレニ頼ツテ始テ安堵致シタノデ
アル、若モ此委員諸君ガ言フ如ク通常ノ手段ヲ以テヤリマシタラバ、如何
ナル珍事ガ生スルカモ知レナカッタノデアアル、ツレカテ是デ齋藤君ノ第一

ノ疑問トツレカラ委員ニ事實上ノコトハ、是ハ十分御了解デアラウト思フ、ツレカラ又齋藤君ガ演説ノ中ニ岐阜縣廳ガス様ナ金ヲ銀行ニ預ケテツレテ定期預ケニシテ、サウシテ利足ヲ取ツタ、是ハ大變不都合デアルト云フコトデアッタ、是ハ成程私モ一應聞キマシタ時ニ、是ハ如何ニモ不都合デアルト思フテ、ツレ故ニ私ハ之ニ就テ十分ノ調査ヲ致シマシタ、是ハ調査ヲ致シマシタ所ガ全ク前ニ政府委員白根君ノ言ハレタ通、全ク十六銀行其他四銀行ニ預ケタニ違ナイガ決シテ定期預ケニシタノデハナイ、別段預ケニシテ利子ガ附イテナイ、之ニ就テハ私ハ十分其命令書マデ寫ヲ持ツテ來テ居リマスカラ、是ハ決シテ齋藤君ノ言フ如キ定期預ニシタモノデナイト云フコトハ、十分言ヒ得ルコトデアアル、既ニ之ガ唯今申ス通り定期預ニシタノデナイト見レバ、私ハ此所爲ハ決シテ非難スベキコトデナイト思フ、ナゼナレバ諸君モ工事ヲナサルニ御承知デアリマセウガ、總テ工事ヲ渡スニ初メニ仕事ヲ爲サナイ、中ニ殘ラズノ金ヲ渡スモノデナイト五分出來ニ附イテ三分トカ七分出來ニ附イテ三分トカ云フノガ、一般ノ通則デアリマス、シテ見レバ此澤山ノ金ヲ連モ縣廳ニ溜メテ置キマシテモ劍呑デアアル、故ニ銀行ニ預ケルト云フコトハ甚ダ安全ナル所爲デ、決シテ非難スベキコトデナイト私ハ考ヘル、ツレカラ又此次ニ齋藤君ガ最モ力ヲ極ハメテ論ゼラレタ所ハ、此百五十萬圓並ニ二百八萬圓ノ金ヲ縣會ノ決議ニ付セナイデ、唯一部ノ常置委員ノ急施會ニ付シタ、是ハ最モ不都合デアアル、斯ウ云フコトデアッタ、コ、ラノコトモ平和ノ時ノ考デ考ヘマシタラ甚ダ不都合デアアル、私ト雖モ若シ平和ノ時ニ於テ縣知事ガ斯ノ如キコトヲ致シマシタナラバ、何處マデモ反對スル考デアアル、併ナガラ此岐阜ノ場合ト云フモノハ、決シテ平和ノ時ノ考ヲ以テ論ズベキコトデナイ、若シ此常置委員ノ急施會ニ付シタ時分ノ岐阜ノ一般ノ情況ノ半分デモ、御覽下サツタナラバ、決シテ斯様ナル考ガ起キマイト思ヒマス、實ニ私ハ半年餘モ過ギタ岐阜ノ有様ヲ以テ、此事件ヲ論ゼラル、ノハ返ス返スモ私ハ残念千萬デアアル、齋藤君ノ言ハレタ如ク、此百五十萬圓ノ金ヲ十日ノ緊急勅令ヲ以テ十五日ノ急施會ニ付シタ、我々ガ其時ニ當ツタノハ夜ノ十一時過、漸ク其急施ガ決シタ、ツレカラ臨時會ハ同月十九日ニ開イタ事實デアアル、少シモ違ハナイ、二百八萬圓ノ金ニ對シテハ一月九日デアリマシタガ、急施會ヲ開イテ臨時會ハ一月三十日ニ開イタ事實デアアル、少シモ違ハナイ、併ナガラ此事情ヲ能ク御話シマシタナラバ、斯クシタノハ決シテ其不都合デナイ、所謂其取扱ハ當ヲ得タモノデアルト云フコトハ十分御了解ニナ

ルダラウト考ヘマス、(縣會議員ガ政府ニ向ッテ建議シタ……ト呼ブ者アリ)ツレハ一部ノ不平ナ奴ダ——此震災ニ於キマシテハ唯今申ス通り、實ニ岐阜ノ震災ノ甚シキ所ハ山モ壊レ、堤防モ頽レ、家モ倒レテ燒ケタ所モアル、人心洶々トシテ其歸スル所ヲ知ラヌト云フテモ決シテ差支ナイト思フ、是ハ十分ノ事實デアアル、岐阜アタリテ屈指ノ財產家デモ此有様デハ此土地ニ居ッタ所ガ、恢復ノ目的モ十分附カヌカラ、所換ヲシヤウト屈指ノ財產家デスラ斯様ナ考ヲ起シタ、現ニ或ル部分ノ人民ハ連モ此處ニ居ッタ所ガ、將來見込ガ立ヌカラ、相率ヒテ北海道ニ移住シヤウト迄考ヲ起シタ有様デアッタ、當時ノ有様ハ連モ私ガ茲デ御話シマシタ所ガ、實地ヲ形容スルコトハ出來マセヌ、此時分ニ當ッテハ其土地ノ牧民官タル者ハ十分其考ヲ廻ラサナケレバナラヌ、私ノ考デハ斯ル場合ニ於テハ少シ違法ノコトデモ、自ラ責任ヲ帶ビテツレ位ノ人心ヲ慰撫スルコトハセンナラヌト思ヒマス、況ヤ岐阜縣知事ハ其事務ニハ決シテ違法ノ事ハシテ居ラヌ、若シ此時分ニ唯今齋藤君等ノ御説ノ如ク十九日ニ臨時會ガ開ケルカラ、ツレ迄待ツテ居ッタ所ガ、遅クハナイト云フヤウナ取扱ヲシタナラバ、其被害ノ人民ハ如何ナル有様ニナルカ、又如何ナル舉動ヲスルカ、其臨時會時分ノ事情ヲ能ク調ベラレタナラバ、此事ハ地方官ノ所置ハ決シテ不都合ハナイ、是ハ實地其所ヲ見、實地其所ヲ知ツテ居ルガ、却テ人心ヲ慰安スルタメニ牧民官ガ正當ナ職務ヲ盡シタト云ツテ差支ナイト思ヒマス、ツレカラ二百八萬圓ニ對シテ成程一月ノ九日ニ急施會ヲ開イタニ相違ナイ、是モ大變至急ヲ要スル、——急施會ヲ開イテ、直グニ其日ニ著手シタ、三十日ノ臨時會ハ其時分ニハ開カレルト云フ豫定ハナイ、決シテ開カレルト云フコトガ知レテ居ッテ、齋藤君ノ御説ノ如ク故ラニ常置委員ニ付シタト云フ譯デアナイ、斯ル場合ニハ私ハ曩ニモ申シタ通り、其地方ノ牧民官タル者ハ少シ違法ノ事デモ變ニ應ジテ、之ヲ處サナケレバナラヌト思フ、況ヤ常置委員ノ急施會ヲ開クト云フコトハ差支ナイコトデ、是ハ私ハ相當ノ職務ヲ盡シタモノデ、違法ノ所爲デナイト思フ、故ニ若シ委員會ノ言フ如ク、又齋藤君ノ言フ如ク是ハ第二期ノ帝國議會ノ開クノヲ待ツテ、其會ニ付シ、ツレカラ其金ヲ縣會ニ付シテ通常ノ手續ヲ以テヤルト云フコトヲシタラ、實ニ人民ハ震災ニ加フルニ曩ニ申シタ通り饑渴ノタメニ死シ、如何ナル珍事ヲ起スカモ知レヌ、今日甚ダ申スノハ如何デアルガ、現内閣ヲ倒シテ其位置ヲ保タウト云フ様ナ人ガ斯様ナ機ニ應ジテ人心ヲ慰撫スルコトヲ知ラヌヤウナ者デハ、内閣ノ位置ヲ取ツタ所ガ、連モ其民心ヲ維持シテ行クコトハ

覺束ナカラウト私ハ思ヒマス、(拍手)ソレカラ愛知岐阜縣ノ震災救濟費ノ支出方ガ被害ノ度合ハ岐阜ノ方ガ重クシテ愛知ノ方ハ低イ、然ルニ其度合ガ違ッテ居ル、是ハ不都合ダト云フコトデアリマシタガ、之ニ就イテ曩ニ白根政府委員ガ概略述ベラレマシタガ、是モ實地ヲ見ラレナイカラ、マダ十分デナイ、故ニ私ハ重複ヲ願ミズ述ベル考デアリマス、愛知ト岐阜ハ先キニ申ス通り、大變事情ガ違フ、先キモ申ス通り、岐阜ハ初メ重立ッテ市街ガ大半燒失シテ、實ニ人民ハ無一物ニ成ッテ居ル、チットモ食フ物モ何ニモ無イ、逆モ是等ノ人民ニ向ッテ金ヲ配ッテ行ッテ所ガ、物價ハ非常ニ騰貴シテナカナカ人ヲ雇ニモ雇ヘナイ、買フト云ッテモ買フモノガナイ、是等ノ人民ヲ助ケルニハ又ソレ相應ノ方法ヲ設ケナケレバナラヌ、ソレガタメニ岐阜ニ於テハ此緊急勅令ヲ發セラル、ヤ否ヤ、震災救濟本部ヲ岐阜ニ置キ、又被害ノ甚シキ所ニハ支部ヲ置イテ、ソコニ教育所ト療治所ヲ設ケテサウシテ、其直轄救濟ノ事務ヲ執ツタ、故ニ唯今金ヲ割ッテヤルノト大變趣ガ違ッテ居ルソレカラ先刻來狩野君ナドガ遅ク金ヲ割ッテヤルノト云フニ就イテ大變御講釋ガアリマシタガ、是ハ十分御話シマスレバ、確カ三月三十一日デス、所謂二十四年度中ハ其事務ヲ縣廳ガ直轄テ持ッテ居ツタ、ソレカラ後ハ町村ニ付託シタ、故ニサウ云フ都合ダカラ、此邊ハ其愛知ト岐阜トノヤリ方ノ違フト云フコトハ仕方ガナイ、實地同ジコトニ致シマシテハ、其效ガ奏セナイ、斯ク致シマシテ始テ其效ヲ奏シタノデアル、此邊ハ被害ノ狀況ガ異ナルニ從ッテ、其方法ヲ異ニセンナラヌト云フコトハ、御承知ヲ願ハナケレバナラヌ、ソレカラモウ一ツハ最モ私ハ辯ジニヤナラヌ、齋藤君ガ震災救濟費ヲ配付スルニ縣知事ガ私意ヲ以テヤツタ、此時ハ總選舉ノ時デアツタ故ニ、之ヲ使用シテ色々縣知事ガ策ヲ設ケタ、且ツ此政策ヲ用ヒタノハ岐阜縣第六區即チ加茂可兒土岐惠那ガ最モ甚シカッタ、ソレカラ此時分ニ若シ吏黨ヲ選舉シタナレバ、五百ヤ七百ノ金ヲ取ルコトハ何デモナカッタ、又加茂可兒土岐惠那ニ於テハ縣廳ノ技手ハ一人モ出張シナカッタ、是ハ郡吏ヤ町村ノ奴等ガ机上ニ於テ宜イ加減ノ目論見ヲシタト云フコトデアツタ、是ハ實ニ冤罪ノ甚シキコトデアリマス、斯様ナコトヲ致シマシテハ、岐阜被害地ノ人民ハ國家カラノ多額ノ恩惠ヲ受ケテ斯様ナコトヲシタト云フテハ、實ニ他ニ對シテ相濟マヌ、之ニ就テハ私ハ十分論ズル考デアル、第一齋藤君ニ問ハナケレバナラヌノハ、此政策ヲ用ヒタノハ岐阜縣ノ第六區ニ最モ甚シカッタト云ヘバ、其外ニモアルト謂ハナケレバナラヌ、ドコニソナ處ガアルカ、此事ニ就テハ斯ク齋

藤君ガ斯様ナ疑ヲ抱カレタノハ、抑、理由ノアルコトデアル、此中ニハ政黨ニ關係ノアル方モ澤山アリマスカラ、御承知デゴザイマセウガ、岐阜縣ハ政黨ニ關係シテ居ル人間ハ極テ少イ、僅ニアリマスノハ比較的アリマスノハ、東濃所謂六區加茂可兒土岐惠那ノ四郡デアル、處デ此處ハ所謂政黨ニ關係シタ人ガ非常ニ競争ヲ持ツタ、處ガ不幸ニシテ政黨ニ關係シタ人ハ失敗シタソレガタメニ齋藤君ガ御出ノ時分ニワザ／＼其人ガ案内シタリ、或ハ其人ノタメニ奔走シタ人杯ガ案内ヲシテ歩イテ、サウシテ其時分ノ不平話ヲ致シタノヲ齋藤君ハ實地其地理モ御承知ナク、實地ノ狀況ヲ御存知ガナイカラシテ、其事ヲ丸デ信用ヲナスツタ、實ハ斯様ナルコトヲシタノハ齋藤君ノ罪デハナイ、其處等ヲ案内ヲ致シテ色々ノコトヲ話シタ者ノ罪デアルガ、併シ齋藤君モ斯様ナル粗末ヲ調査ヲシテ、此堂々タル帝國議會ヘ報道サレタト云フ責ハドウシテモ免カレヌ、ソレカラ此類ニ先日來八釜敷イノハ此土岐惠那ノ二郡ト云フノモノハ參考書ニハ金額ガ少ナイ、然ルニ實地今日支給スル所ハ多イ是ハ縣知事ガ偏頗ノ處爲ヲシタ所ノ一ノ證據デアルト云フコトヲ、先日來カラ議論ガ大變八釜敷イ、之ニ就テハ十分其事情ヲ述ブル考デアル、先刻モ申ス通り此岐阜縣ノ地震ト云フモノハ、加茂郡ノ西ノ方カラ武儀郡ノ西南ノ端カラ西ノ方カ一番強カッタノデアル、ソレカラ東ニ赴クニ從ッテ地震ハ順ニ輕クナツタ、處デ此際ト云フモノハ遠ニ震災ノタメニ澤山ノ吏員ヲ増スト云ハ譯ニハ參リマセヌ、且又増サウト云フタ所ガ其時分ニハ人間ノ慾モ何モナイ、唯命サヘアレバエイト云フ考デ、ナカ／＼人ヲ雇フコトモ出來ヌ、ソレデ縣廳初メ總テ十分手ヲ盡シタト云フモノハ、震災ノ最モ甚シイ所ノ土岐ノ方ニ手ヲ盡シテ居ルデ、サウシテ震災ノ輕イ東ノ方ヘ手ヲ盡スコトハ出來ナシタ、ソレハ實際デアル、現ニ私ハ實地目撃シテ居ルコトヲ話シマスガ、斯ク縣廳ガ一番重イ所ヘ手ヲ盡シタト云フ有様デ、土岐可兒惠那ノ郡長杯ハ輕イ所ハ手ヲ盡サヌタメニ不公平ナル處置ヲスル、此方ノ土地ニ於テモ被害ガアルニ、吏員モ派出セズ、手當モシテ呉レヌト云フテ縣廳ヘ追ッテ來タ位デアル、實際其時分ニハ非常ナル有様デ、比較的ニ輕イ所迄モ手が著カナンダ譯デアル、實際ニ就テ話セバ負傷人ニ就テ申シテモ、一番死シタ奴ハ仕様ガナイカラ、ドウナトシテ生返ルト云フ様ナ奴ハ手ヲ盡シテヤツタト云フ様ナ有様デ、其時分ノ形狀ト云フモノハ、逆モ私ガ此處デ申シタト實際十分ニ意ヲ徹スルコトハ出來ナイ、斯様ナル都合デアアルカラシテ東ノ方ニハ實際手カ届カナイカラシテ、調ガ行届カヌ、從ッテ參考書ニモ載ッテ居ラヌ所ガ日ヲ

經テ、十分手が廻ル様ニナツテ調ベタ所ガ、又未ダ調ベ漏レノ所ガ出テ來ルシ、且ツ先ニ政府委員ノ言ハレタ如ク此地震ト云フモノハ、一時ニ止シテナク、實際十月二十八日ノ地震ノ後ニ數度劇震ガアツテ、ソレガタメニ家ノ倒レタ所モアル、現ニ私ノ近傍ニ於テハ後ノ地震ノタメニ一尺以上モ土地ノ陷落シタ所ガアルノデス、連モ東京杯ニ居ッテ平和デ考ヘルトハ、大變違フモノデアアル、此等ノ目論見ト云フモノハ、水害杯デ一遍ノ水ガ出テ害ヲ蒙ツタ、其後ヲ目論ムモノトハ格ガ違ッテ地震ノ害ハ今日ニ於テモ時々震動ガアル様ナ都合デ、實ニ其後ニ至ッテモ大變害ヲ蒙ツタノデアアル、連モ通常ノ水害ノ目論見杯ヤ平和ノ考デハ連モ實際ノ狀況ハ分ルモンヂヤナイ、ソレカラ齋藤君ガ唯今吏黨ヲ選舉サヘスレバ七百圓ヤ八百圓ノ金ハ呉レル、現ニ土岐郡山ノ内村ハ堤防費トシテ七百圓取ツタト言ハレマシタ、此事ニ就イテ白根政府委員ハ答辯フセナシタ故ニ、私ハ此事ヲ調ベテアルカラ、答辯致シマスガ、決シテ此事ハ堤防費トシテ取ツタノデナイ、此山ノ内村ニ溜池ガアル、溜池ガ三ツアル、其堤防ガ崩レタカラ復舊費トシテ二百五十九圓四十六錢五厘ト云フモノヲ支出シタ、ソレカラ用水ノ堤防修繕費ニ八十八圓二十錢、ソレカラ用水堤防ノ石垣ガ崩レタカラ、其復舊ノタメニ七圓四十二錢、ソレカラ川ノ堤防ノタメニ三百七十五圓三十八錢、斯ウ云フモノニ支出シタモノデアリマス、決シテ堤防費トシテ七百圓ノ金ヲタマヤツタト云フ様ナサウ云フ不都合ナ仕拂ヲシテナイ、ソレカラ今一ツ可兒土岐惠那ノ三郡ニハ一ノ技師ヲ出張サセナシタ、是ハ極ク僅ナルコトデア答フル程ノ價值ハナイケレドモ、齋藤君ガ一ノ理由トシテ質問サレマシタカラ、私ハ御答致シマス、先キニ政府委員モ答ヘテ置カレマシタガ、現ニ長崎技師ハ可兒郡ヘ出張シ、ソレカラ友成ト云フ技師ハ土岐惠那ノ兩縣ヘ出張シ、其他技師ハ澤山測量ヲシタリ、計畫シタ、又監督シタコトモアル、併シ之ニ就イテ實際ノ話ヲシマシタガ、連モ今度ノ金ノ先キノ百五十萬圓ト後ノ二百八萬圓ト都合三百數十萬圓ノコトデア、ナカノ一々立派ナ技師ガ出テ測量シテ目論見ヲスルト云フコトハ到底實地出來ヌノデス、ソレガタメニ單ニ小サイ工事デ復舊ニ止マル所ノ仕事ハ町村役場デ下目論見ヲシテ郡役所ニ於テ調査ヲシテ、ソレヲ又縣廳ヘ持ッテ行ッテ調査シテ差支ナイモノハ許シ、若シ復舊工事ヲ豫シマヌヨリハ、模様替ヲ致シタ方ガ却ッテ安ク上ルトカ、ドウシテモ模様替ヲシナクテハ復舊ノ目的ガ達シ得ラレヌト云フ様ナ所デナケレバ技師ヲ出サヌ、連モ手ノ廻ルモノデナイ、是迄申シタナラバ唯今齋藤君ノ第五デアツタカノ疑問ハ十分分ル

デアラウト思ヒマス、ソレカラモウ一ツノ第七デアツタカ、其第七ノ方ハ政府ハ復舊工事ニ名ヲ藉ッテ新設増工若クハ模様替工事ヲ爲サシメタト云フコトデアアル、斯ウ云フコトデアアルガ、是ハ先キニ白根政府委員ガ十分之ニ就イテ一々是ハ數ガ確カ十五年バカリアツタト思ヒマスルガ、之ニ就イテ一々辯明ヲサレマシタカラ、私ガ申ス迄モナイコトデアアルカ、併シ此等ノコトニ於キマシテモ齋藤君ハ實地ヲ見ズニ之ヲ調査サレマシタカタメニ、大變ナ間違ガ出來テ居ッテ實地ヲ見マスルト、實ニ笑フベキコトガ澤山ニアル、——マア併シ此十五ノモノヲ一々御話ヲ致シマシテハ大變長クナリマス話デ、且ツ要領ハ既ニ政府委員ガ答ヘラレマシタカラシテ、之ニ就イテハ一々答ヲ致シマセヌガ、實地聽イテ見マスルト、隨分御案内ヲ致シタ人モ實地ヲ知ラヌカラシテ、方角違ヒノ方ヘ案内ヲシテ妙ナ話モ聽イテ居ル、又現ニ此頃其土地ノ人民ガ來テ大變間違ヘラレテ怒ッテ居リマスルノハ、羽栗郡ノ馬島ノ開門デアツタガ、是ハ新設シタト云フコトデアツテ、是ハ決シテ新設シタノデハナイ、現ニ是ハ二十二年デアツタカ、組合費ヲ以テ石造開門ヲ作ルト云フコトニ致シマシテ、地方稅カラソレニ補助ヲ致シマシタ、ソレガタメニ現ニ私ハ常置委員ノ資格ヲ以テ見分ニ參ッテ、尙ホ成功後廻ツタコトモアル、ソレガタメニ人民ハ斯クナイコトヲ言ハレテ、實ニ堪ヘラレヌト言ッテドサク、地方カラシテ其時分ノ土功會ノ議決書ヲ持ッテ來テ、其時開門ノ出來タ寫真マデ持ッテ來テ、之ヲ斯様ナ無實ナコトヲ言ハレテハ慨嘆ニ耐ヘナイカラ、議場ニ披露シテ齋藤君ノ誤デアルト云フコトヲ傳ヘテ吳レト、(此時一葉ノ寫真ヲ示ス)此通り寫真ヲ持ッテ來テ、決議書マデ持ッテ來ヌ位デアアル、是ハ手輕イコトデアリマスガ、齋藤君ガ合渡川ノ橋ハ從來民設デアツテ、橋梁賃ヲ取ッテ居ツタ、處ガ今度ノ震災ニ附イテ金ガ貫ヘタカラ、復舊シテヤツテ之ヲ板橋ニ改メヤウト云フ計畫ヲシタト大變長ク言ハレマシタガ、是ナドハ實地ノ御調ガナイノデアアル、齋藤君ノ演說ニハ橋ノ長サガ千二百間アル、而モ土橋デアルト言ハレタガ、千二百間ト云フノハ町數ニ直スト二十町デゴザイマス、岐阜縣ニ二十町ノ河幅ノアル河ハ一ツモナイ、而モ二十町ノ土橋ガアツタラ、世界ノ奇觀ニナルダラウ、(拍手スル者アリ)此位粗末ナ調デアリマス、ソレヲ以テ堂々タル此議會ニ於テ事實ヲ調ベタ如ク報道セラレ尙ホ政府ニ質問サレタノハ實ニ齋藤君ノタメニ取ラヌ所、尙ホ帝國議會ノタメニ能ク慎マナケレバ體面ニ關スルコト、思フ、ソレカラ之ヲ復舊費ニ附イテハ此位御話ヲシタラ、齋藤君ノ誤ノ多イト云フコトハ十分分ルダラウ

ト思ヒマス、ソレカラモウツ一番私ガ辯シテ置カナケレバナラヌコトハ、震災土木費ニシテ正當ノ支出ヲナストキハ、必ズヤ殘餘ヲ生スベシ、果シテ然ラバ政府ハ之ヲ如何ニセントスルカト如何ニモ剩餘金カアルヤウニ思召スヤウデアリマス、之ニ就イテハ私ハ實際其調査ノコトニモ關係致シテ居リマシタカラ、十分ニ此手續ヲ御話申ス考デアリマス、此金ヲ所謂先キ二百五十万圓下付ニナリ、其次ニ第二ノ請求ノ時ニハ私共ハ常置委員トシテ多少ノ調査ヲ致シマシタ、處ガ其調ハ先刻御話申シタ根尾谷ノ土砂停止費ヲ除イテ……之ヲナセ除イタカト云フト、其時分ハ雪ガ降りマシテ非常ニ山ガ崩レマス、ナレドモ行ケマセヌカラ、之ヲ除イテ尙ホ三百二十万圓ト云フモノガナケレバ、到底復舊ガ十分ニ出來ヌト云フ位デアツタ、處ガ縣知事ハ非常ナ節略ヲシテ、二百八万圓ノ請求ヲ致スト云フカラ、ソレハ逆モ出來ナイ、平常ナラ村費、或ハ地方稅ヲ以テ補フコトガ出來ル、ケレドモ斯ル場合ニハ出來ヌカラ三百何十萬圓ヲスルガ宜イト言ツタケレドモ、其事ハ縣知事ハ肯キマセヌ其位ナ狀況デゴザリマスカラシテ、今日ニ於テハ實際各都市カラ要求スル所ノ復舊費ノ總額ヲ合セレバ、五百何十萬圓ト云フモノニナリマス、併シソレヲ縣廳ニ於テ十分復舊費ニ附イテ節略セネバナラヌト認メタモノデモ三百何十萬圓、殆ト私共ノ調ベタ所ト符合スル位デ、決シテ餘剩金ノアルト云フヤウナモノデハ決シテナイ、ドウカ共邊ハ十分ニ御承知置キテ願ヒタイモノデアリマス(最ウ宜シイト呼ブモノアリ)コ、迄御話ヲ致シタラバ、齋藤君ノ辯駁ハ十分デアアル、先刻狩野君ガ此件ニ附イテ大變御議論ガアリマシタカラシテ是モ簡單ニ私ガ知ル所ヲ以テ辯駁致シマス、狩野君ハ實地調ベタト言ハレマシタガ、實ニ驚入ツタル調ベヤウデ政府ガ斯ル多額ナ金ヲ出シタハ政策上ノタメ人望買ニヤツタ仕事デアアル斯ウ云フ議論デアリマシタガ實ニ堂々タル代議士ガ御調下サツテ之ヲ以テ人望買ト仰シタルハ恐入ツタル調ト言ハナケレバナリマセヌ、何トナレバ先刻申シタ通り此金デ十分ニ仕事ガ出來ヌノデアリマス、之ヲ以テ人望買トハ不感服ノ至デアリマス、ソレカラ安八郡ニ七万有餘ノ人ヒガアツテ、其人間ノ中救済ヲ受ケタ者ガ五十八トカ六十人トカシカナイト云フ御話デアツタガ、是モ實際御調ガ行届カヌノデアリマス、先ニ申シタ岐阜ニ救済本部ヲ置キマシテ、大垣カラ安八郡ノ大垣カラ……ノ中ニモ支部ヲ置キ、今尾ト云フ所ニモ置キマシテ、十分被害人民ヲ救済シテ居リマス、ソコノ救済所ナドハ十分盛ント言ツテハ可笑シイケレ

ドモ、大變ナ人間ガ養ハレテ決シテ二十八ヤ三十八ノ安八郡ノ者ガ二十八三人シカ受取ラヌト云フハ、實際御調ガ足ラヌモノト思フ、ソレカラ狩野君ガ實地ヲ見タ所ガ先ノ堤防ナドニ於テハ、從前ヨリハ三倍或ハ四倍ニナツテ居ル所ガアル、斯ウ云フ御話デアツタガ、ソレハドコノ堤防ノ費用ガサウナツテ居ルカ、若シ理事者ガ從前ヨリ三倍四倍ニシタト云フナラバ、其隣接ノ人民ハドウシテモ承知スルモノデアハナイ、實地其事ニ當ツタ者ナラ、ソレナ事ノ出來ルカ出來ヌカハ十分知レル譯デアアル、若シアツタラ吟味スベキモノデアアルカラ、ドコデアアルト云フコトヲ御示ヲ願ヒタイモノデアアル、ソレカラ多藝郡ノ釜ノ段ノ石造閘門ニ就イテモ、費用ガ餘計掛ツタガ怪シイト云フ、怪シイダケデ何ノ證據モナイ、私モ怪シイ斯ヤウナ論ヲ言ハレルノハ、先キニ申ス多藝郡釜ノ段ト云フノハ水害地ノ最モ水害地デアリマス、コ、等ノ工事ニハ非常ノ費用ヲ費シマス、締切通ニハ……此等ハ岐阜縣ナドノ土木工事ニ當ツタ者ナラバ言ハナイデモ十分御承知ダラウガ、總テ皆其事ハ精シク御調ヲ願ヒタイ、ソレガタメニ體面ヲ汚スヤウナコトガアル、以上述べマシタ通デ、是丈御話ヲシタナラバ政府ガ第二帝國議會ノ開クルヲ待タズシテ支出シタノモ、縣知事ノ所爲モ決シテ不當ヂヤナイコトハ十分分ラウト思ヒマス、是デ事實上ノ辯論ハ十分と思フ、ソレカラ憲法上デアリマスガ、之ニ就イテハ先キニ大變御議論モアリマシタカラ、敢テ八釜敷ク云フニ及ビマセヌガ、若シ、是丈ノコトヲ云フテ壇ヲ下ラウト思ヒマス、若シ委員ノ説ノ如ク取扱ツテ憲法モ斯様ニ狹イ解釋ニシタナラバ、豫備費ノナイ時分ニ斯様ナ非常ノ出來事ガ生シタ時分ニハ、通常ノ手續ヲ履ンデ議會ノ協賛ヲ經テヤラナケレバナラヌト云フタラ實ニ大變ナ人命ヲ殺サナケレバナリマセヌ、決シテ憲法ニハ斯様ナル狹隘ノ規定ハシナイ、ソレガタメニ政府ガ見ルガ如ク六十四條ノ第二項ヲアノ通りニ解釋ヲ致シテモ決シテ差支ガナイ、若シアノ解釋ガ違ヒマシタナレバ、國家將來ノタメニ斯ノ如キ災害ガアツタ時ハ、其人民ハ非常ノ不幸ヲ蒙ルカラ、政府ノ解釋ハ決シテ差支ナイト私ハ考ヘマス

○山田泰造君(百十三番) 今事實ニ就イテ御陳ベニナリマシタガ、ソレハ何處デ御調ニナリマシタカ、(無用々々ト呼ブ者アリ)無用デハナイ、何處デ調ベテ御陳ベニナリマシタカ

○大野龜三郎君(二百七十六番) 私ハ實際岐阜縣ノ人間ダカラ、實地アツタ所ヲ以テ陳ベマシタ

○山田泰造君(百十三番) 御自分ノ調べタ所ヲ以テ申サレマシタカ

○大野龜三郎君(二百七十六番) 左様……
(討論終結ト呼ブ者アリ)

(山田東次君演壇ニ登ル)

○山田東次君(百三番) 只今登壇セラレマシタ方が大變ニ此岐阜縣ノ地震ノ慘狀等ヲ御話ニナリマシタガ、是ハ前登壇者ガ陳ベラル、通り、非常ノ震災デ其慘狀ト云フモノハ言ハン方ナシテゴザリマシタラウ、我々ハ決シテ此事ヲ嘘ダトハ申サナイ、成程前登壇者ガ仰セラル、通ノ慘狀デゴザリマス、又政府ガ二百二十五万圓ノ金ヲ支出シタ金ガ多カッタトハ申サヌノデアリマス、要スルニ唯今ノ演説ト云フモノハ齋藤君ガ政府ニ對スル質問ノ駁撃タルニ過ギナイノデ、委員會ノ報告ニ對スル駁撃トハナツテ居ラヌ、即チ政府ガ此所爲ヲナシタ所ノモノヲ承認スベキモノカ、承認スベカラザルモノカト云フコトノ十分ナル駁撃ニハナツテ居ラヌト考ヘマス、私ハ委員會ノ報告ニ贊成スル者デアアル、憲法六十四條ノ第一項ニ「國家ノ歳入歳入ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ」トアリマス、以上ハ七十條ノ場合ヲ取除ケテハ總テ政府ガ支出スル所ノ金ハ帝國議會ノ協贊ヲ總テ經ナケレバナラヌ、協贊ヲ經ナイ金ハ政府ハ一文モ使フコトハ出来ナイ、而シテ六十四條ノ第二項ハ手續ヲ示シタモノデアアツテ「豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」ト云フ手續ヲ規定シタノデアアル、此支出ハ何處カラ金ヲ持ツテ來ルカト云フニ、即チ六十九條ノ金ハ——此金ハ「必要ノ費用ニ充ツル爲メニ豫備費ヲ設ケルゾ」ト云フコトヲ六十九條ニ書イタコトハ明カナルコトデアアル、内閣諸公ニ於テモ虚心平氣ニ考ヘラレマシタラバ「然リ」ト答ヘラル、ニ違ヒナカラウト考ヘマス(拍手スル者アリ)先刻政府委員渡邊君ハ自分ノ問ニ對シテ六十四條ノ第二項ノ「豫算外」ト云フ文字ト六十九條ノ「豫算外」ト云フ文字ト同性質ノモノデアアルト答ヘラレタガ、是カ同性質ノモノナレバ、即チ六十九條ト六十四條第二項、ハ關聯シテ居ルモノデアアルト云フコトハ政府委員自ラ自サレテ居ルノデアル、政府委員ガ自分ニ對シテ答ヘタル所ガ誤デアアルナレバ別段、其言ガ誤ラヌトシタナラバ、政府委員即チ渡邊國武君ハ本員ニ向ツテ答ヘラレタ所ハ、即チ六十四條ノ第二項ハ六十九條ト關聯シテ居ルト答ヘラレタ同一ノコトデアアル、

若モ政府ノ解釋ノ如ク第六十四條第二項ノ此豫算外ノ支出ト云フノハ豫備費以外ノ金ハドノ金デモ剩餘金——國庫ノ金デアレバ此金ヲ政府ガ支出スルコトガ出来ル、帝國議會ノ協贊ヲ經ズシテ支出スルコトガ出来ルト致シマシタナラバ、第六十九條即チ憲法第六十九條ハ何ノタメニ設ケタノデアアルカ、第六十九條ヲ設ケナイデモ、第六十四條第二項ニ依ツテサツサト支出スルコトガ出来ル道理デアアルカラ、豫備費ヲ憲法ノ上ニ設ケテ置ク必要ハナイ、政府ガ解釋ノ如ク第六十四條第二項ニ依ツテ豫備費ノ以外ノ金ヲ支出スルコトガ出来レバ、憲法第七十條ハ何ノタメニ設ケタカ、之ヲ置カヌデモ第六十四條第二項デ必要ノ場合アレバドツツト支出スルコトガ出来ルナラバ、即チ第七十條ニ「公共ノ安全ヲ保持スル爲緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハザルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」ト云フ條文ハ全ク空文ニ屬スル憲法制定者ガ此ノ如キ空文ヲ書クト云フコトハ想像スベカラザルコトデアアル、又事實ノ上カラ言フテ第六十四條第二項ノ精神ハ果シテ政府ノ解釋スルガ如ク無制限ニ豫備費以外ノ金ヲ出スコトガ出来ルト致シマシタナラバ、政府ハ猥ニ款項ヲ超過させ、或ハ色ノ金ヲ協贊ヲ經ズシテドツツト出スコトガ出来ルカラ、豫算ノ組織ト云フモノハ全ク破壊サレテ仕舞フノデアアル、此ノ如キ次第デアアツテ、是ハ政府ノ所爲ハ憲法上無論第六十四條第二項ニ依ツテ支出スル權利ノナイト云フコトハ明瞭デアアル、之ヲ公平ナ眼ヲ以テ讀ンダナラバ一點ノ本員ハ疑ナキコト、信ジテ居ル、又事實ノ上カラ見マシテモ、決シテ之ヲ救フノ道ガナイト云フコトハ出来ヌノデアアル、先刻松方總理大臣ハ若シ此金ヲ出サナケレバ如何シテ此人民ヲ救フベキカト言ハレマシタ、之ヲ救フノ道ハ十分出来タノデアアル、第二豫備金ハ勅令ヲ發スル當時三十万圓アツタト云フコトハ政府委員ガ委員會ニ於テ答ヘタコトデアアル、而シテ委員會デ答ヘテ居ルノニ二十万圓バカリアツタナラバ、此議會ガ開ケル間マデ救助ヲ爲シ得ラレタモノデアアルト言フコトヲ答ヘラレタ(此時井上角五郎君今少シ名説ヲ出シ給ヘト呼ブ)此ノ如ク三十万ノ金ガアツタナラバ此三十万ノ金ヲ以テ十分議會ノ協贊ヲ經テ二十四年度ノ追加豫算案トシテ議會ニ提出シテ、此協贊ヲ經テ二百二十五万圓ヲ仕拂フト云フコトニ附イテハ綽々トシテ餘裕ガアツタニ拘ラズ、政府ガ竝ニ出デズシテ之ヲ議會ニ謀ラナイデ、二百二十五万圓ノ金ヲ仕拂ツタト云フコトハ救フノ道ガアツタノニ、其手續ニ依ラズシテ、此不當ノ所爲ヲ爲シタモノデアアル、故ニ私ハ委員會ノ報告ノ如ク憲法上ヨリ論ズルモ、事實上ヨ

リ論ズルモ、此政府ノ所爲ヲ承認スベカラザルモノデアルト云フノ説ヲ述ベマシテ、諸君ノ御賛成ヲ請フ(此時井上角五郎君有リ難タウ簡單デト呼ブ)終リニ臨ンデ、井上君ニ答ヘマス(ソレニ及バヌト呼ブ者アリ)ソレデハ其積リ

○議長(星亨君) 百七十七番止メマスカ

(大垣平次君二百七十八番討論終結ト呼ブ)

(安部井磐根君演壇ニ登ル)

○安部井磐根君(百七十七番) 本員ハ本案ヲ可トシマシテ、即チ之ヲ承諾スル者デアリマス、之ヲ承諾シマスル理由ヲ述ベマスルニ先ツテ、審査特別委員會ノ報告ヲ見マスルト、承諾スベカラズト云フ理由ノ一項ニ「六十九條ニ規定セル豫備費支出ノ場合ニ限り憑據スヘキモノナレハナリ」ソレカラ二項目ニ至ッテ「云々豫備費以外ノ支出ハ總テ此箇條ニ依ラサルヘカラス 明治二十三年度剩餘金ヲ行政官ノ專斷ヲ以テ支出スルハ豫備費設置ノ精神ニ背キ云々」トアリマス、此六十四條ヲ按シマスルニ、其一項ハ通常ノコトヲ申シタモノデ、二項ニ至ッテハ即チ非常ナル方ヲ指シタモノデアリマス、ソレカラ六十九條ノ避クベカラザルノ費用ニ至ッテハ、是ハ豫備費ヲ設クルタメニ掲ケタ條目ト察セラレマス、ソコデ此解釋ノ如キハ尋常ナル相當ナルコトデアリマス、併シ物ニハ變通ト云フモノモ自ラアル道理デアリマス、況ヤ此憲法ノ如キ僅々七十六條ノ箇條ヲ以テ此アルトアラユル事件物件ヲ處置スルト云フニハ、深ク考フル所ガナケレバナラヌモノト信ヲ措カレマスデアリマスルカラ、縱令茲ニ明條ガナクトモ禁セザル限り、又憲法ノ精神ニ背ケサル限リハ運用活動スヘキモノデアアルマイカト存スルガ本員ノ趣意デアリマス、(鈴木萬次郎君七十條ハドウシマスカ) ソレデ憲法ヲ——此事件ヲ按ジマスルニ、斯様ナ支出ヲ致スコトガ憲法ニ正條アルヤナシヤト言ヘバナイノデアリマス、正條モナケレバ適條モナイ、然ラハ此處置ヤ違憲デアアルカト云ヘバ違憲トモ思ハレマセヌ、敢テ禁シタ所カ見エマセヌ、然ラバ此處置ハ何ト申シテ宜カラウト云ヘハ、即チ憲法規定以外ノ行爲ト云フ外ハアリマセヌデ、憲法規定以外ノ行爲ト云フノハ、即チ憲法ノ精神上ヨリ按シ來ラナケレバナラヌト信シマス、ソコデ憲法ノ精神デ云フトキニハ、豫備費ヲ設ケテスルノ備モナシ、又公共安然ノ保持モアル總テ憲法ノ精神ト云フモノハ、今ノ文字上ニ現レテ居ル、ソレヲ奉遵シテ其處置ヲ爲シタモノト見レバ、敢テ非トスベキコトデアリマスマイシ、併ナガラ正條ガナイカラヌト云フトキハ、例ヘ

バ此程ノ干渉事件決議デアリマス、アンナ決議ヲ爲スコトハ何ノ條目ニモ見エナイ、見エナイケレドモ、憲法ノ精神ハ許シテアル、上奏案モ出來レバ建議モ出來、法律モ立テルト云フデアリマスカラ、矢張議會ノ意見ヲ定メルト云フコトハ出來ルカラアノ議決ヲ致シマシタ、又一旦議決シタ以上ハ我衆議院ノ精神トシテ將來マデ凜乎シテ危懼スベキモノハアノ議決ニアル、併ナガラ正條ハナイ、ソレカラ此審査案ニ實地ノ理由ノコトガアリマセヌガ、如何ニモ實地ノコトハ過日齋藤君ノ演説モアリ、白根政府委員ノ辯明モアリ、孰ガ非カ孰ガ是カ、本員等ハ或ハ疑ヒ或ハ信ズルト云フヤウナコトデアリマス、此ハ是レ別ノ問題デアリマス、矢張本案ヲ可トシテ此事實ノコトニ至リマシテハ監督權ノ方ニ屬スル、——本案ヲ決スルハ豫算議決ノ方ニ屬スルモノデ、全ク事ハ二ツデアリマス、矢張憲法ヲ解スルハ成ル丈宥大ニ依リマシテ、矢張之ヲ可トシマシテ又實地ノ不都合ガアルニ於テハ、是ハ一步假サズ調査モ致サナケレバナラズ、攻撃モ致サナケレバナラヌ、是ガ即チ議員ノ分ヲ盡スノデアリマス、斯ク見マスルガ故ニ、之ヲ贊成スルノデアリマス、一體本員ハ明治政府ノ舉措ニ於キマシテハ、悅服シ兼ネマス、奮服シ兼ネルノミナラス、不服ナルコトモアリ、不滿ナルコトモアリマス、又不快ナルコトモアリマス、併シ此事件ニ就イテハヨウモ果斷決行ヲセラレタ、申スモ如何ノコトナレドモ現政府ニシテハ、能クモ斯様ニシテ吳ラレタト本員ハ心得ルノデアリマス、若モコソナ事ヲシテ後ニ不都合ガ出來テハナラナイカラ、今日ノ餘モ經テハ議會ガ開ケルカラ、ソレヲ俟ツテ居ルト云フヤフウナコトヲ言ハレテハ、何分同胞兄弟ノ慘狀ノタメニ何トモ忍ハレナイ所デアリマセヌガ、是ハ先ツ上出來ノコト、本員丈ハ心得マス、(鈴木萬次郎君慌テタシタト呼ブ)モウ長クハ述ベマセヌ、唯贊成ノ意ヲ述ベ置キマス

○議長(星亨君) 百四十三番

○井上角五郎君(七十六番) 討論終結ノ動議ヲ出シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 新井君

○井上角五郎君(七十六番) 討論終結ノ方ガ早く出テ居マス

○議長(星亨君) 議長ノ耳ニハ達スルノガ遅カッタ

(新井章吾君演壇ニ登ル)

○新井章吾君(百四十三番) 此緊急勅令ノ問題ハ先刻來諸君ガ既ニ御述ニナツタコトデゴザイマスルカラ、私モサウ委シクハ演説シマセヌ、極ク簡單ニ

自分ノ意見ノ在ル要領ヲ述ベマス積デゴザイマス、デ私ハ委員會ノ決議ト同シク此緊急勅令ハ承諾セズト云フノ意見ヲ以テ居ル者デゴザイマス、此事ハ前段ニ述ベラレタル諸君ノ如クニ或ハ事實ヲ長タラシク述ベテ、斯ウ云フ事實ガアツタトカ無カツタトカ云フコトヲ以テ述ベラレタガ、私ハ此問題ハ事實ヲ以テ争フベキデハ無ク、斯ノ如キ事實ノ争ハ私ノ言フ所ノ承諾不承諾ニハ一向關係ノ無イコトデアラウト思ヒマス、實ニ理論上實際上ニ於テ承諾不承諾ヲ決スルノハ、固ヨリ委員會同一ノ意見デゴザイマスガ、私ノ事實上ニ於テ承諾シナイト云フコトハ、前段ニ述ベラレタル所ノ諸君ノ如キ事實ニアラズシテ、緊急勅令ヲ發布セラレタル所ノ當時ノ事實ヲ言フデゴザイマス、私ハ先ヅ此勅令ヲ發シテ震災ニ逢フタル所ノ人ミヲ政府ガ救ハレタル所ノ、大體ノ事柄ト云フモノハ善イコトデアアルカ悪ルイコトデアアルカト云フコトヲ考ヘマスレバ、是ガ惡ルイト私ハ申スノデハゴザイマセヌ、誠ニ斯ノ如キ不幸ナル所ノ者ヲ救フト云フコトハ、最モ同胞タル者ノ爲スベキコトデアアル、當然ノ義務デアアル、故ニ政府ノ爲シタルハ宜シイ、併シ政府ガ爲シタルハ誠ニ結構ノコトデアアル、ケレドモ爲スベキ所ノ手續ヲ爲サズシテ爲シタルハ其罪ヲ私ハ問ハナケレバナラヌト思ヒマス、然ラバ政府ハ如何ナル手續ニ依ツテ此事ヲスレバ宜シイカト申シマスルニ、憲法ノ命ズル所ニ從ツテ爲スガ宜シイノデゴザイマス、然レバ爰ニ憲法解釋論ガ起ラナケレバナラヌ、山田東次君モ憲法解釋論ヲセラレタヤウデゴザイマスガ、私モソレト同一ノ意見デアアル、即チ今回政府ガ同意ヲ求メラレタ所ノモノハ憲法六十四條ニ依ツテ、同意ヲ求メラレタノデゴザイマス、故ニ此六十四條ノ解釋ト六十九條ノ解釋トヲ致セバ、此問題ヲ承諾シナイト云フコトノ議論ハ明ニ分ルダラウト思ヒマス、此六十四條ト云フモノハドウ云フ事ヲ規定致シタカト云ヘバ「國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ヘシ」トアル、毎年帝國議會ノ協贊ヲ經タモノデナケレバ、此政府ハ支出ヲスルコトガ出來ナイト云フ精神カラシテ六十四條ヲ置イタルデアアル、然ルニ爰ニ豫算ト云フモノハ神様ノスルコトデモナイ、人間ノスル事デアアルカラ、時トシテ不足ヲ生ズルコトモアル、或ハ豫算ニ設ケテ置カナイ所ノ事件モ生ジテ來ル、必要モ起ツテ來ルサウ云フ場合ニハ如何ニスレバ宜シイカト云フノデ、此第二項ガ設ケテアル「豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算ノ外ニ生シタル支出アルトキハ後日帝國議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス」ト書イテアル、是ガ即チ縱令協贊ヲ經ナイ、費用デモ國家必要ノ事ガアツタナレバ、即チ政府ハ前トニ支出致シテ置イテ、他日

帝國議會ノ承諾ヲ求メナケレバナラナイ、サウスレバ協贊ヲ經タコトニナルト云フノデ、第二項ヲ設ケタ、併シ第二項ノ精神ニ依ツテ他日協贊ヲ求メルニ就イテ……、之ヲ支出スルノハ相當デアアルガ、既ニ豫算ニハ金ガ無イ豫算外ニ生シタル費用デアアル、之ヲ支出スルニハドウ云フ金ヲ以テ行ツタナラハ宜シイカト云フタメニ、其困難ヲ避ケルタメニ六十九條ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、「避クヘカサル豫算ノ不足ヲ補フ爲メニ又ハ豫算ノ外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ」是ガ即チ六十四條ノ支出ノ財源ヲ示シタモノデアアル、故ニ六十九條ト六十四條ノ關係ハ丁度表ト裏ノ關係ガアルノデゴザイマス、六十九條ヲ取除イテ六十四條ハ用ヲ爲サナイ、六十四條ヲ取除イテモ六十九條ハ用ヲ爲サナイ、此六十九條ト六十四條ハ相待ツテ一ノ效用ヲ爲スモノデアアルト私ハ解釋致シマシテゴザイマス、然ラバ諸君、此岐阜愛知ノ震災事件ノ費用ノ如キ支出ハ之ヲ支出セントスルナラバドウ云フ憲法上ノ條項ニ依ルノガ相當デアアルカト考ヘテ見レバ、豫備費ガアルナレバ豫備費ヲ以テ之ヲ支出スルヨリ外ハ致方ハナイノデアアル、即チ憲法第六十四條ノ精神ニ依リ、此豫備費ヲ以テ支出スルト云フコトガ相當ノコトデアアル、然ルニ豫備費ニ於テ不足ヲ告ゲ、震災事件ノ費用ニ應ズルコトガ出來ナイト云フ場合デアツタナラバ、ドウスルカト云フノニ、是ハ豫備費ト云フ臨時ノ費用ノ金ガ無クナツタト云フ場合デアツタナラバ、臨時會ヲ召集致シテ協贊ヲ經ルヨリ外ニ途ハ無イモノデゴザイマスデ、若シ此臨時會ヲ召集スル暇ガ無イ、臨時會ヲ召集スルノニハ日數モカ、ルコトデ、長ク時日ヲ費スコトガ出來ナイト云フ、誠ニ焦眉ノ急ナルコトデアアルトシタナラバ如何ニスルカ、此所ニ至ツタナラバ憲法ノ正條外デアアル、憲法ハ之ヲ認メテ居ラヌノデアアル、斯ノ如キ場合デアツテ支出セントスレバ、豫備費ニハ金ガ無クナツテ居ル、之ヲ救ハントスルニハ如何ニセンカト云フニ、是ハ即チ憲法政治ノ弊害トシテ斯ノ如キ緊急ノ需ニ應ジテ處置ヲ爲スコトガ出來ヌト云フノガ代議政體ノ本色デゴザイマス、今ノ内閣諸公其他ノ人ミト云フモノハ、此專制政治ト云フモノニ養成セラレテ來ツタ者デアアルカラ、何デモ彼デモ政府ガ爲サントスルコトハ仕様トサヘ思ヘバ、出來ナイコトハ無イト云フ腦髓ガアルカモ知レナイ、ケレドモ如何ニセン代議政體ト云フ法律政治憲法政治ニナツタ以上ハ憲法ヤ法律ノタメニ束縛セラル、ガ故ニ、此憲法ヤ法律ヲ遵奉スル以上ハ非常ナル善事ヲ爲サントシテモ出來ズ、非常ナル惡ヲナサントシテモ爲スコトガ出來ナイ、是レ即チ代議政體憲法政治ノ他ノ政治ニ優ツテ妙ナル所デアリマス、斯ノ

如キ微妙ナル所マデモ……、人ノ心ト云フモノヲ察シテ法律ヤ憲法ト云フモノハ到底規定スルコトガ出來ヌ、故ニ此ノ如キ臨時會ヲ召集スル暇ガナイト云フ場合デハ、誠ニ不幸ナル人民ニ對シテハ氣ノ毒デアアル、ケレドモ憲法政治ノ許サヌ所デアレバ、如何セン之ヲ傍觀スルヨリ外致シ方ガナイノデゴザイマス、是レ即チ私ガ憲法ノ解釋ヲ斯ノ如ク致スノデアリマス然ラバ政府ハ斯ノ如キ處置ニ出デズシテ六十四條ニ依ツテ豫備費ヨリ支出シヤウト云ツテモ豫備費ガ、無イカラ剩餘金カラ支出シタイト云フガ、九テ六十四條ノ正條ヲ誤解シタ所カラ、或ハ故意ニ解釋ヲ曲ゲテ來タノカ、其處ハイザ知ラス、兎ニ角私ノ意見ト反對ノ解釋ヲ以テ行ク様ニ見タナラバ、政府ノ處置ハ憲法ニ違反シテ居ルト思ヒマス、又之ヲ事實上カラ考ヘテ見レバ臨時會ヲ召集スル暇ガナイ、故ニ憲法違反ノ處置デアアル、ケレドモ是非非常ノ事ダカラ已ムヲ得ズ此處置ヲシタト外存シマセヌガ、或ハ事實上臨時會ヲ召集スル暇モアツタト思ヒマス、ソレハ委員會ノ報告ニモアツタ様デアリマスガ、既ニ僅カ十日ヲ經レバ通常會ガ開ケルコトニナツテ居ル、然ルニ政府ハ之ヲ俟タズシテ臨時會所デハナク、此帝國議會ヲ開カズシテ、俄ニ處置ヲシタノハ、チト不穩當ノ處置デハナイカト思ヒマス、故ニ事實上カラ考ヘテモ此緊急敕令ヲ承諾スルコトハ出來ナイト云フ譯デアリマス、併ナガラ諸君先刻私ハ冒頭ニ述ベマシタ如ク、政府ハ此罹災人民ヲ救フタノハ誠ニ結構ナル事ヲシタ云フノデアアル、併ナガラ其行爲ハ稱讚スルケレトモ、其結構ナル事ヲシタ手續ガ間違フテ居ルカラ、其段ハ大ニ責メナケレバナラス、譬ハハ茲ニ飢餓ニ迫ツテ首ヲ縊ラウトスル者ガアル、其首ヲ縊ラウト云フ者ヲ救ツタト云フ志ヤ嘉ミスベシ、金ヲ與ヘ食ヲ與ヘテ其飢餓ニ迫マル者ヲ救フタノハ宜イガ、其レハ己ノ金ヲ以テシタノナラ宜イガ、他ノ人ノ金ヲ奪ヒ取ツテ人ヲ救ツタト云フナ、ドウデゴザイマス、是ハ餘リ極端ナ譬ヘデアリマスガ、之ヲ救フト云フコトハ宜イガ、其救フ手續ニ於テ大惡事ヲ爲シタノデアリマス、是ト同様ナ此大困難ヲ救フタノハ稱讚スル所デアアルガ、之ヲ救フ手段即チ憲法ニ背イタノハ内閣大臣タル者ガ、其責ニ當ラナケレバナラヌト云フコトヲ、又内閣諸公ニ忠告致シマス、斯ノ如キコトニ責ヲ負フコトハ立憲國ノ大臣トシテハ恥ツベキ事デナイ、何ゾ露々トシテ赤目ヲ張ツテ反對スルニ及バヌ、決シテ世人ニ向ツテ耻チザル所デアアル、憲法ニ背イタ迪モ其行爲ハ宜シイコトデアルカラ、何ノ耻ヅルコトガアリマセウ、己レノ行爲ノ善ナルコトハ天下是認スル所デアアルカラ、コジツケ解釋杯ヲセズシテ、其責ニ任ゼラレンコトヲ

希望シマス

○東尾平太郎君(百九十九番) 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○議長(星亨君) 討論終結ノ動議ガ出テ贊成モアリ、隨分長クモナリマシタカラ、決テ採ラウト思ヒマス、——討論終結ノ動議ニ同意ノ方ハ起立

起立者 多數

○議長(星亨君) 多數ト認メマス、討論終結ニ決シマシタ、是ヨリ決テ採ラウト思ヒマスガ、是ハ記名投票ニシテ決テ採リマス

○井上角五郎君(七十六番) 承諾スル者ガ白デゴザイマスネ

○議長(星亨君) 後トテ御報道シマス——諸君ニ御注意申シマスガ、承諾ト云フ即チ可トスル者ガ白イ札デゴザイマス、不承諾ノ人ガ青イ札ニナリマス、承諾ガ白、不承諾ガ青、——投票ヲ執行致シマス、尙ホ念ノタメニ承諾ガ白、不承諾ガ黒、(笑聲起ル)黒デナイ、青——是ヨリ氏名ヲ點呼シマス

(町田書記官氏名ヲ點呼ス)

○石原半右衛門君(二百十七番) 放棄

○議長(星亨君) 開票致シマス

(書記官投票ヲ點檢ス)

○議長(星亨君) 投票ノ結果ヲ報道致シマス

出席總數 二百八十三

可トスル者 百四十六

否トスル者 百三十六

是レデ承諾ヲ與ヘルコトニ決シマシタ、

○井上角五郎君(七十六番) 本員ハ引續イテ此次ノ議事日程ヲヤリタイト考ヘマス、前ノ問題ト左迄議論ノ違ツタコトハナイカラ……

○議長(星亨君) 散會ヲ致シマス、——今日ハモウ散會、明日ノ議事日程ヲ

(水野書記官長朗讀)

午後一時開議

第一 愛知岐阜富山福岡四縣下土木費補助トシテ明治二十四年度豫算外支出ノ件(政府提出)(特別委員)

第二 私設鐵道買收法案(政府提出)

第三 明治二十五年年度歳入歳出總豫算追加案

第四 郵便聯合國郵便切手類保護法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

第一讀會ノ續

第一讀會ノ續

第一讀會ノ續

第一讀會ノ續

第一讀會ノ續

第一讀會ノ續

第一讀會ノ續

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 海上衝突豫防法案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 府縣制第二十七條修正法律案(島田三郎君三名提出)

第一讀會(前會)

第一讀會ノ續キ(特別委員)

第九 地租條例修正案

○議長(星亨君) 散會致シマス
午後九時二十二分散會

衆議院速記録第十九號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
四〇六	下	二	界劣	界劣	四〇九	上	四三	此事	民事
四〇九	上	三六	「特別法ヲ」下 「以テ」ヲ加フ		四一九	下	一二	聞	開

